

「第5次唐津市男女共同参画基本計画」策定のための

職員意識調査結果

《報告書》

令和6年3月

唐津市

目 次

I	調査概要	1
	1. 調査の目的	1
	2. 調査の方法	1
	3. 回収結果	1
	4. 数値等の基本的な取扱いについて	1
II	調査結果	2
	1. 属性	2
	2. 結婚や家庭生活について	4
	3. 教育・子育てについて	18
	4. 仕事と生活について	23
	5. 人権尊重について	52
	6. 男女共同参画について	77

I 調査概要

1. 調査の目的

「第5次唐津市男女共同参画基本計画」の策定に当たり、その資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査の方法

- (1) 調査対象
市職員
- (2) 調査対象者数
1,272人
- (3) 抽出方法
全員
- (4) 調査方法
Webアンケート
- (5) 調査期間
令和5年11月14日～12月8日

3. 回収結果

- (1) 配布数 1,272
- (2) 回収数 929
- (3) 回収率 73.0%

4. 数値等の基本的な取扱いについて

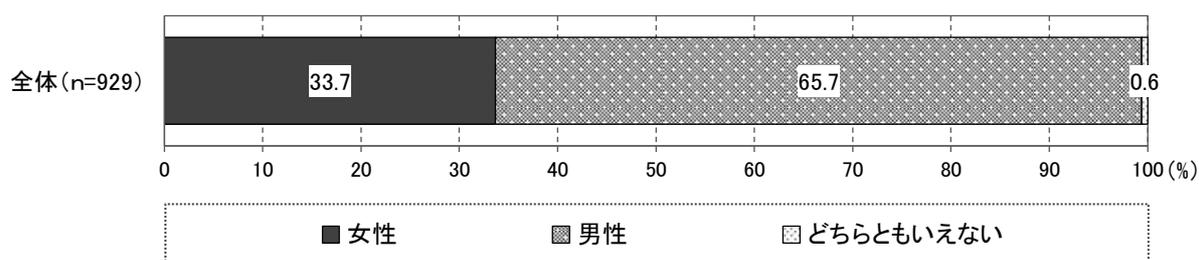
- ・比率は全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が100%を上下する場合があります。
- ・基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。(回答者総数または該当者数)
- ・質問の終わりに【複数回答可】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であるため、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ・文中、グラフ中の設問カテゴリー(選択肢)の文言は、一部簡略化する場合があります。
- ・文中、グラフ中の数値や選択肢の文言は、一部省略・簡略化してあります。また、割合が0%であった箇所の数値は基本的に省略しています。
- ・質問の選択肢は、基本的に「 」で表していますが、選択肢を2つ以上合わせて数値を示す場合は“ ”で表してあります。

Ⅱ 調査結果

1. 属性

Q1 性別

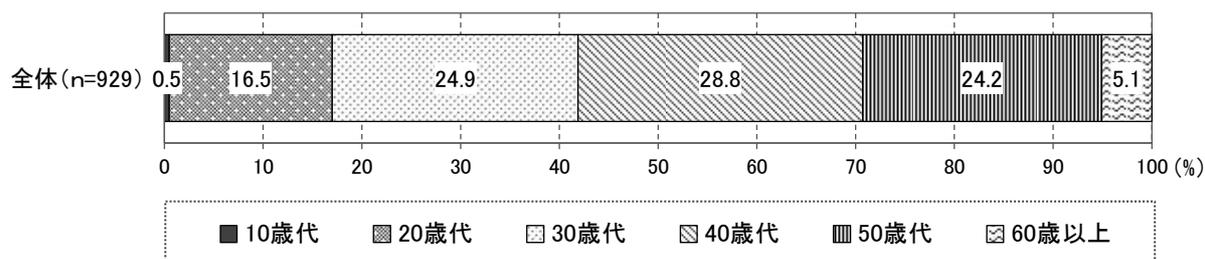
「女性」が33.7%、「男性」が65.7%となっています。
前回調査とは変わりありません。



Q2 年齢（年代）

「40歳代」が28.8%と最も高く、次いで、「30歳代」(24.9%)、「50歳代」(24.2%)の順となっています。

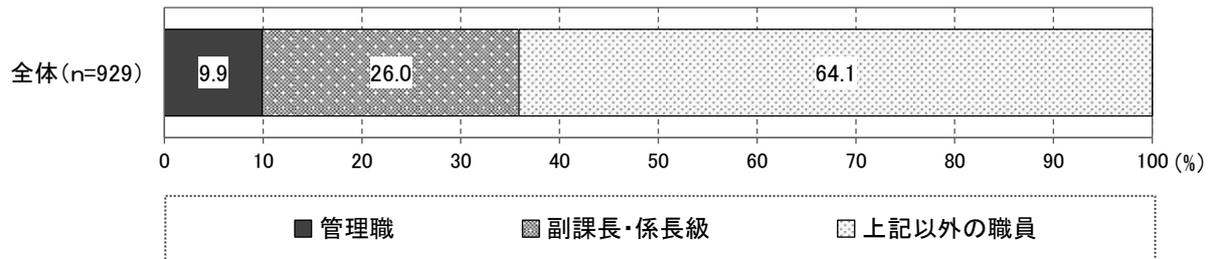
前回調査と比べると、30～40歳代が高くなっています。



Q3 現在の職級は

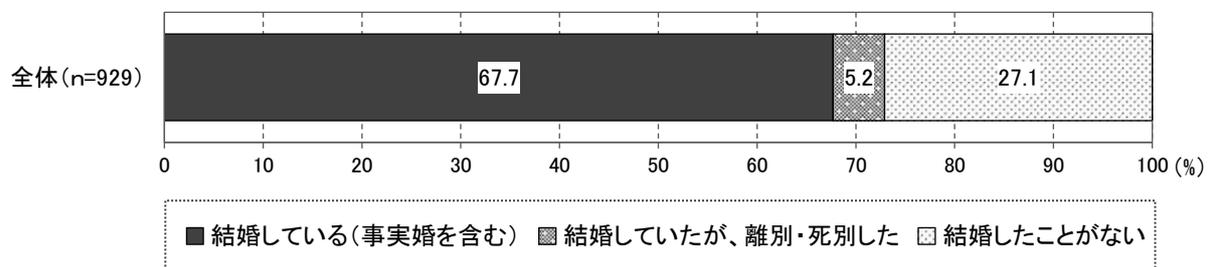
「上記以外の職員」が64.1%と最も高く、次いで、「副課長・係長級」(26.0%)、「管理職」(9.9%)の順となっています。

前回調査とは変わりありません。



Q4 結婚していますか。

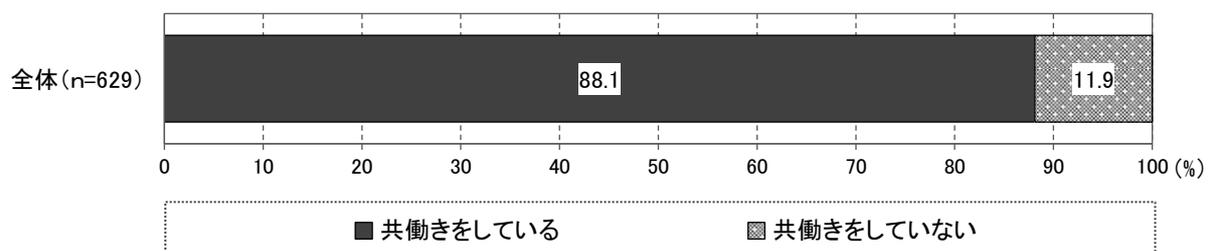
「結婚している(事実婚を含む)」が67.7%と最も高く、次いで、「結婚したことがない」(27.1%)、「結婚していたが、離別・死別した」(5.2%)の順となっています。



Q4-1

◆Q4で「1. 結婚している」と回答した方。
あなたと配偶者は、共働きをしていますか。

「共働きをしている」が88.1%、「共働きをしていない」が11.9%となっています。



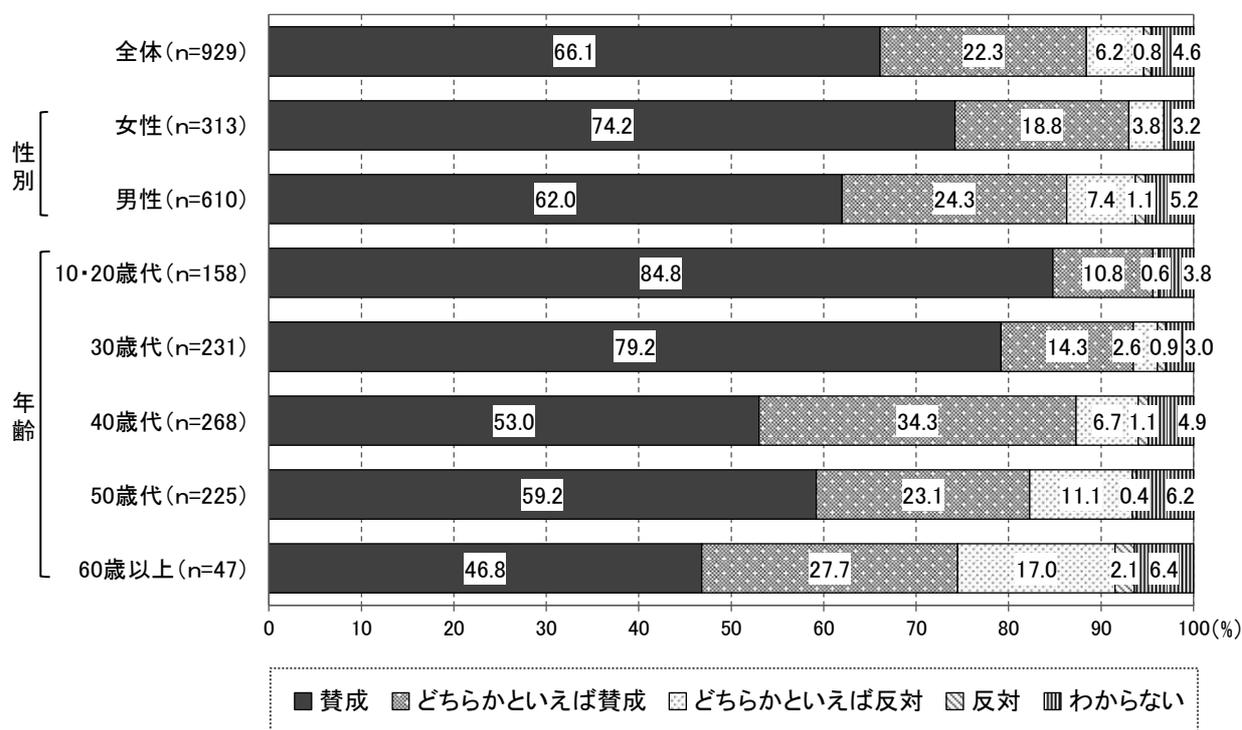
2. 結婚や家庭生活について

問1 あなたの考えに近いものは何ですか。

(1) 結婚は個人の自由なので、結婚してもしなくてもどちらでもよい

全体では、「賛成」が66.1%と最も高く、次いで、「どちらかといえば賛成」(22.3%)、「どちらかといえば反対」(6.2%)の順となっています。

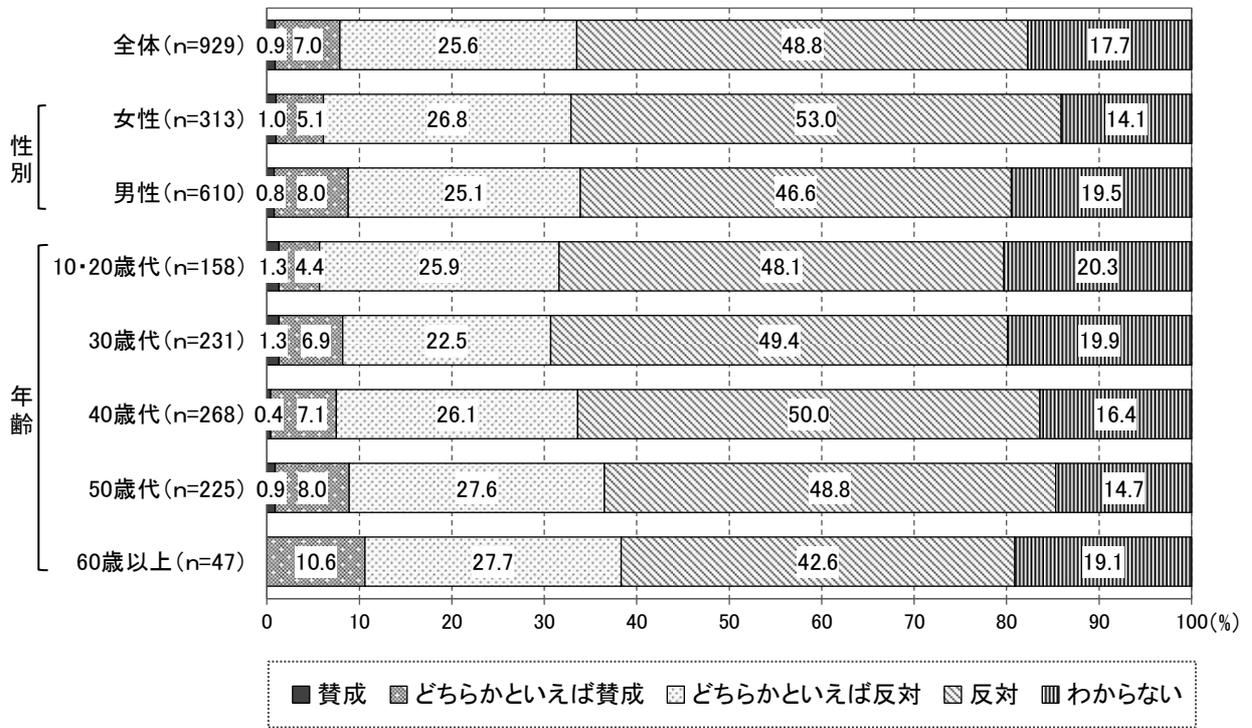
性別では、女性が男性より「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた「賛成率」が高くなっています。



(2) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

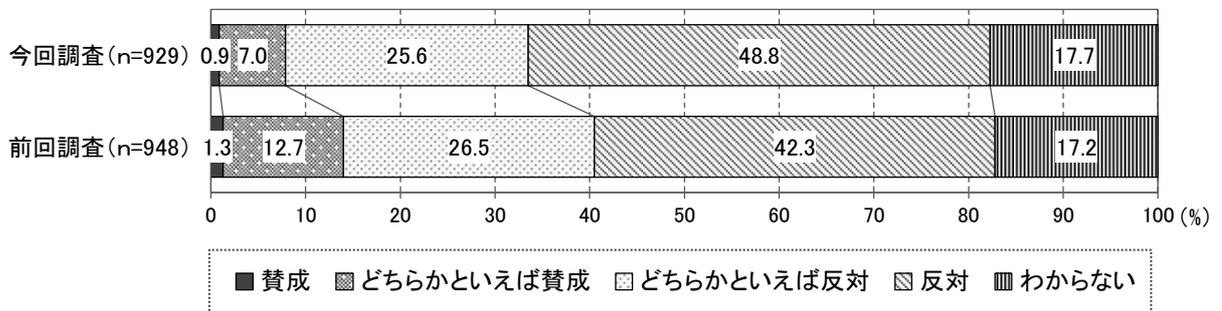
全体では、「反対」が48.8%と最も高く、次いで、「どちらかといえば反対」(25.6%)、「わからない」(17.7%)の順となっています。

前回調査と比べると、「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせた「反対率」が高くなっています。



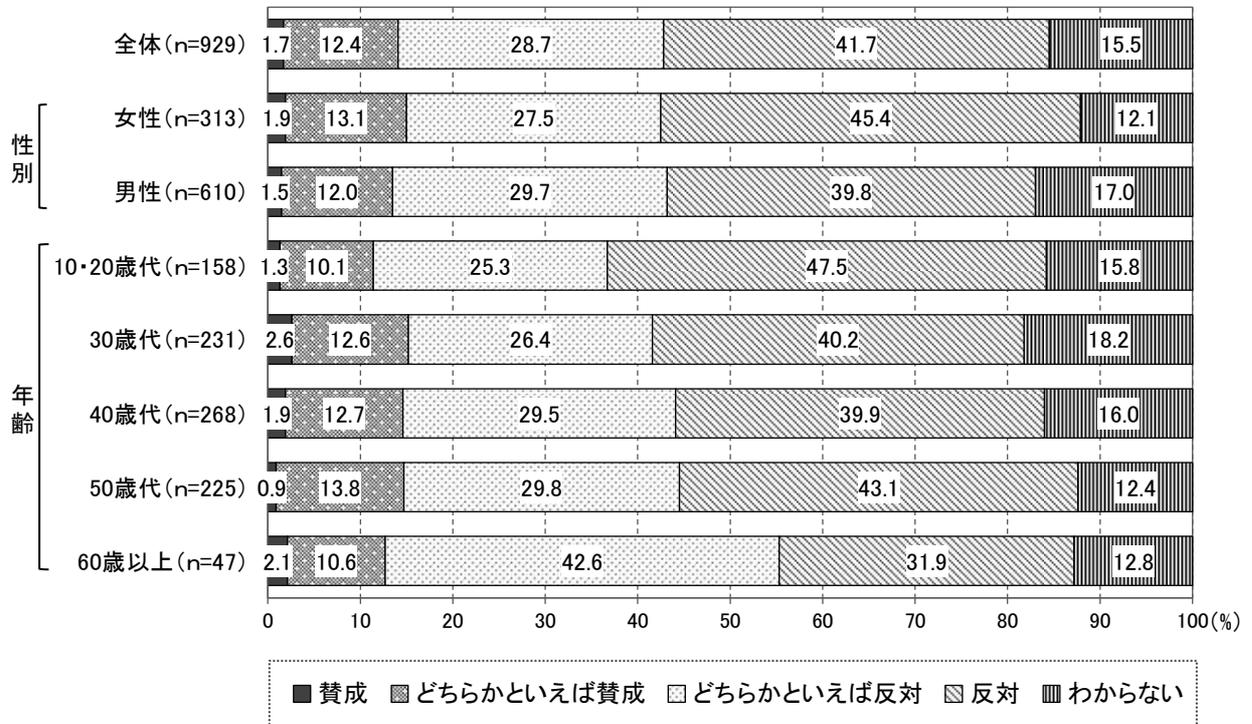
◆前回調査との比較 (成果指標に関する設問)

【前回調査】平成30年度男女共同参画社会づくりのための市職員意識調査



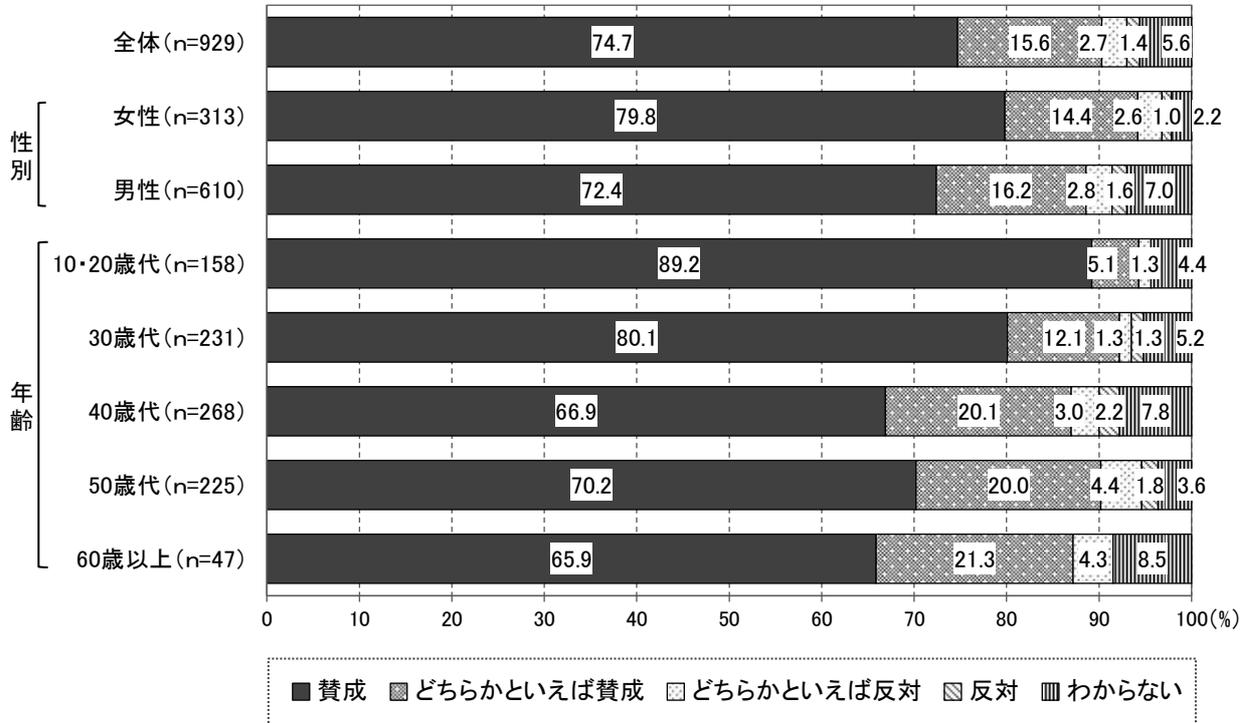
(3) 女性は結婚したら自分のことより、夫や子どもなど家庭を中心に考えて生活した方がよい

全体では、「反対」が41.7%と最も高く、次いで、「どちらかといえば反対」(28.7%)、「わからない」(15.5%)の順となっています。



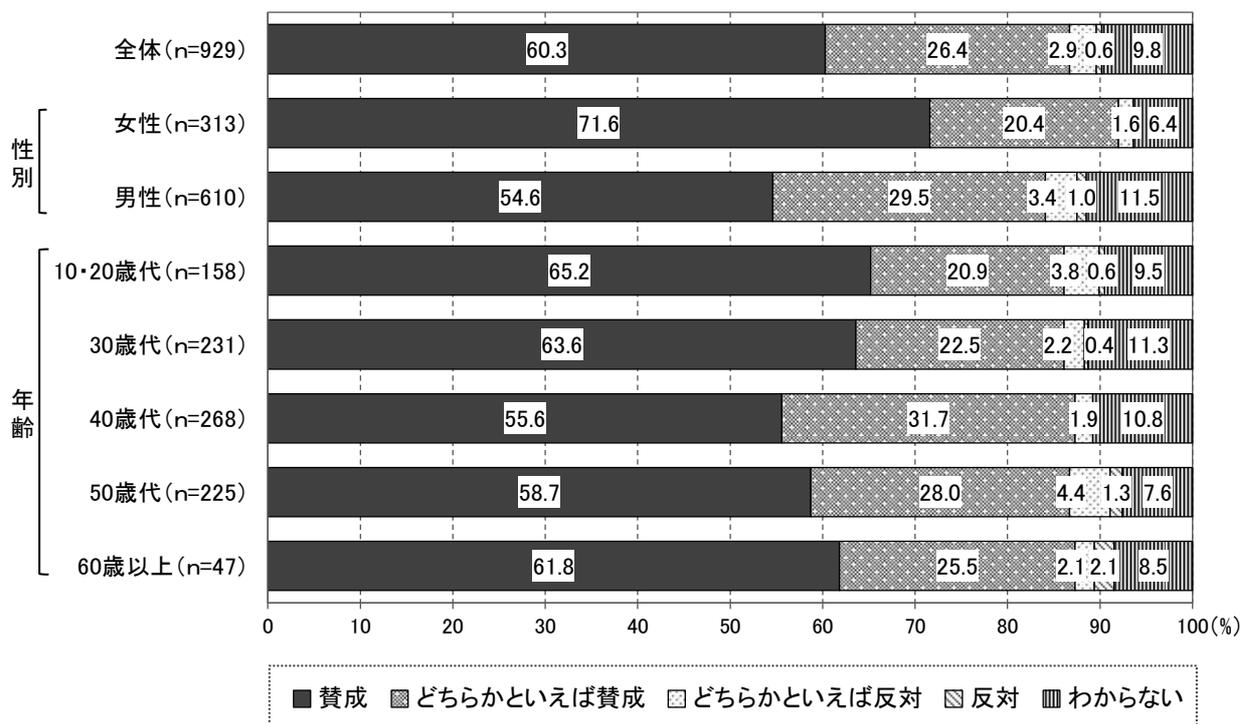
(4) 子どもを持つか持たないかは夫婦で決めるべきである

全体では、「賛成」が74.7%と最も高く、次いで、「どちらかといえば賛成」(15.6%)、「わからない」(5.6%)の順となっています。



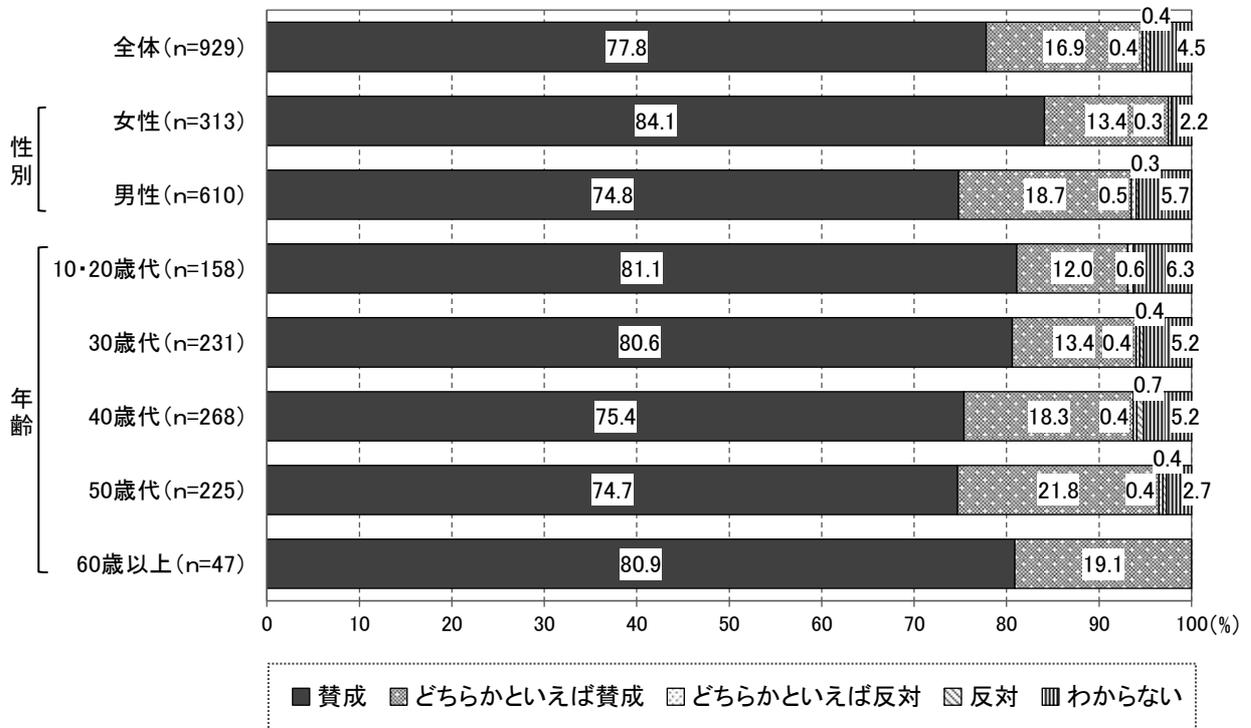
(5) 結婚生活の継続が困難な時は、離婚もやむをえない

全体では、「賛成」が60.3%と最も高く、次いで、「どちらかといえば賛成」(26.4%)、「わからない」(9.8%)の順となっています。



(6) 男性も女性もどちらも仕事と家庭を両立できるとよい

全体では、「賛成」が77.8%と最も高く、次いで、「どちらかといえば賛成」(16.9%)、「わからない」(4.5%)の順となっています。



問2

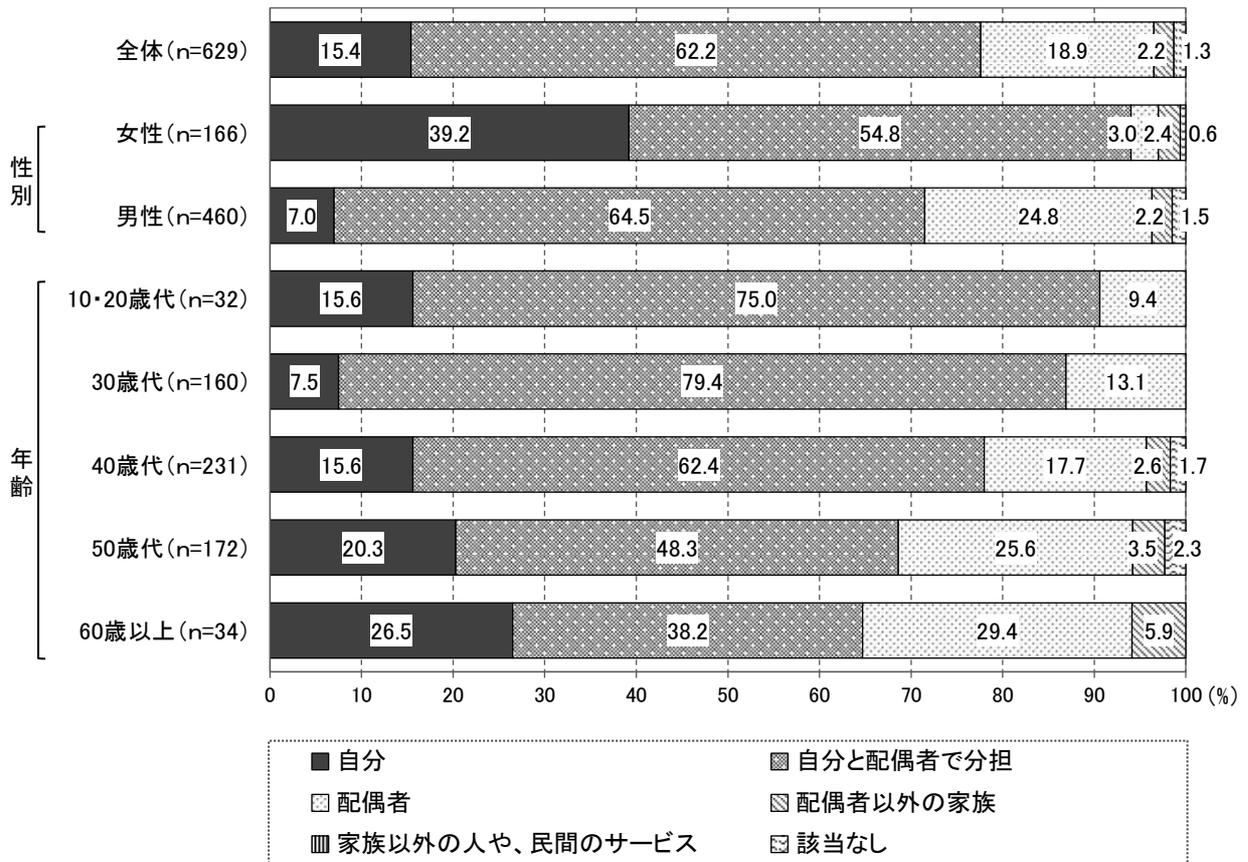
◆結婚している人（事実婚を含む）のみ。

あなたの家庭で、生活に必要な家事などは、おもに誰の役割ですか。

(1) 掃除・洗濯

全体では、「自分と配偶者で分担」が62.2%と最も高く、次いで、「配偶者」(18.9%)、「自分」(15.4%)の順となっています。

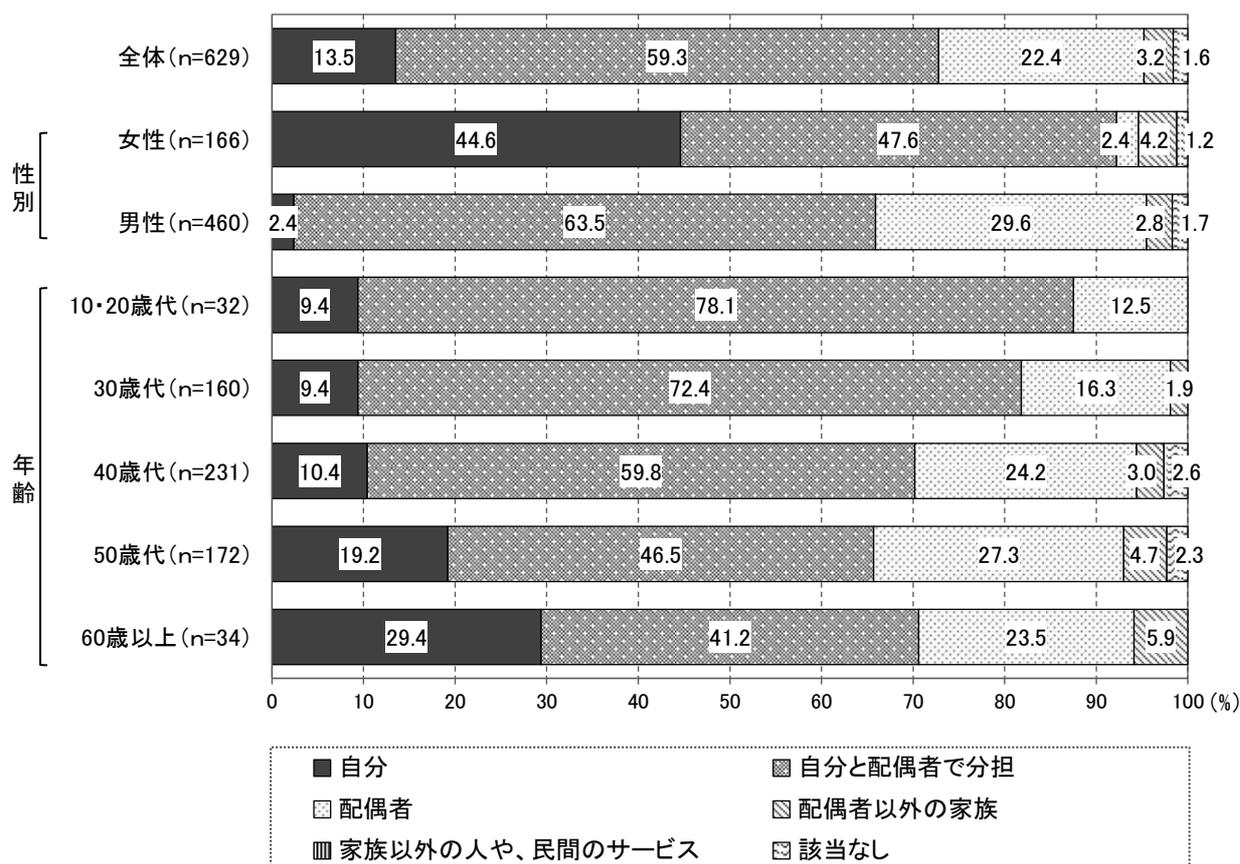
性年齢別では、10・20～40歳代の男女ともに「自分と配偶者で分担」が最も高くなっています。



(2) 食事の準備・後片付け

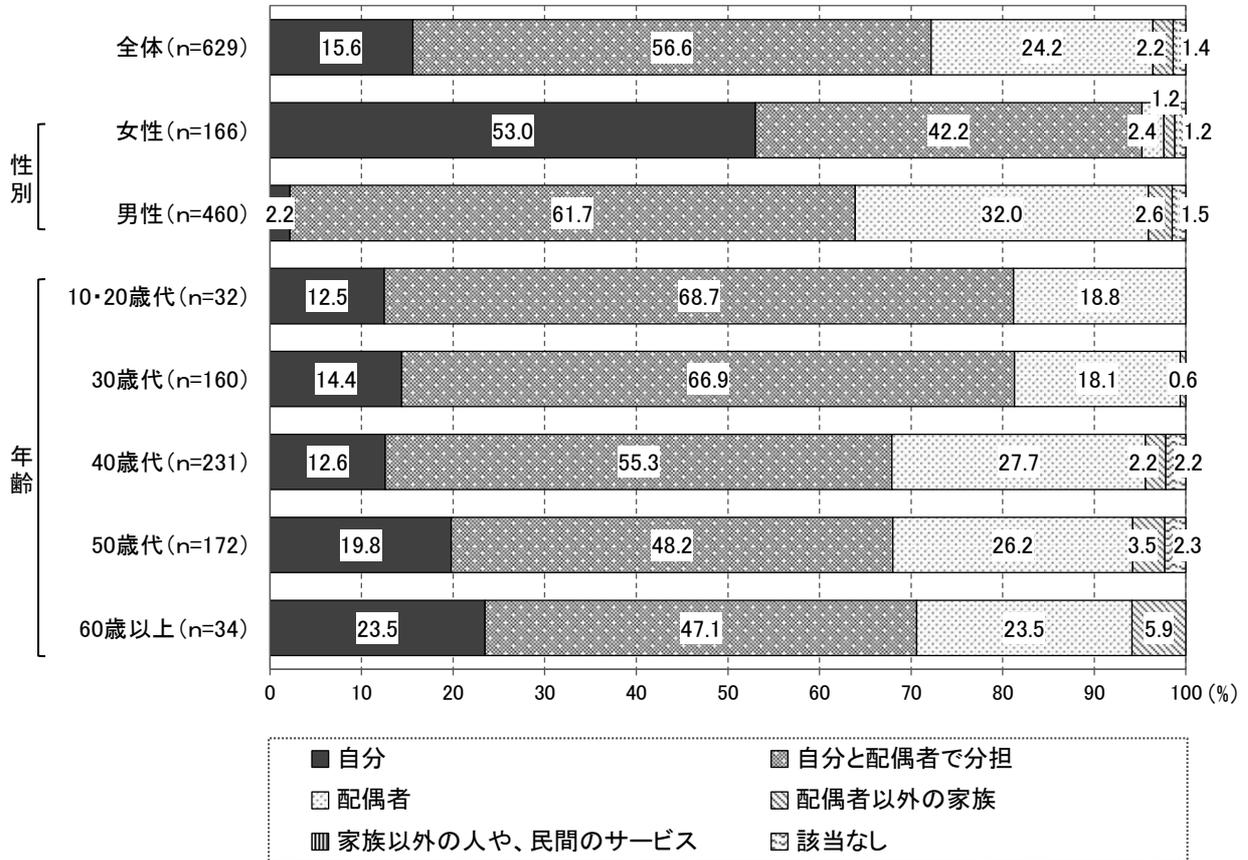
全体では、「自分と配偶者で分担」が59.3%と最も高く、次いで、「配偶者」(22.4%)、「自分」(13.5%)の順となっています。

性年齢別では、10・20～40歳代の男女ともに「自分と配偶者で分担」が最も高くなっています。



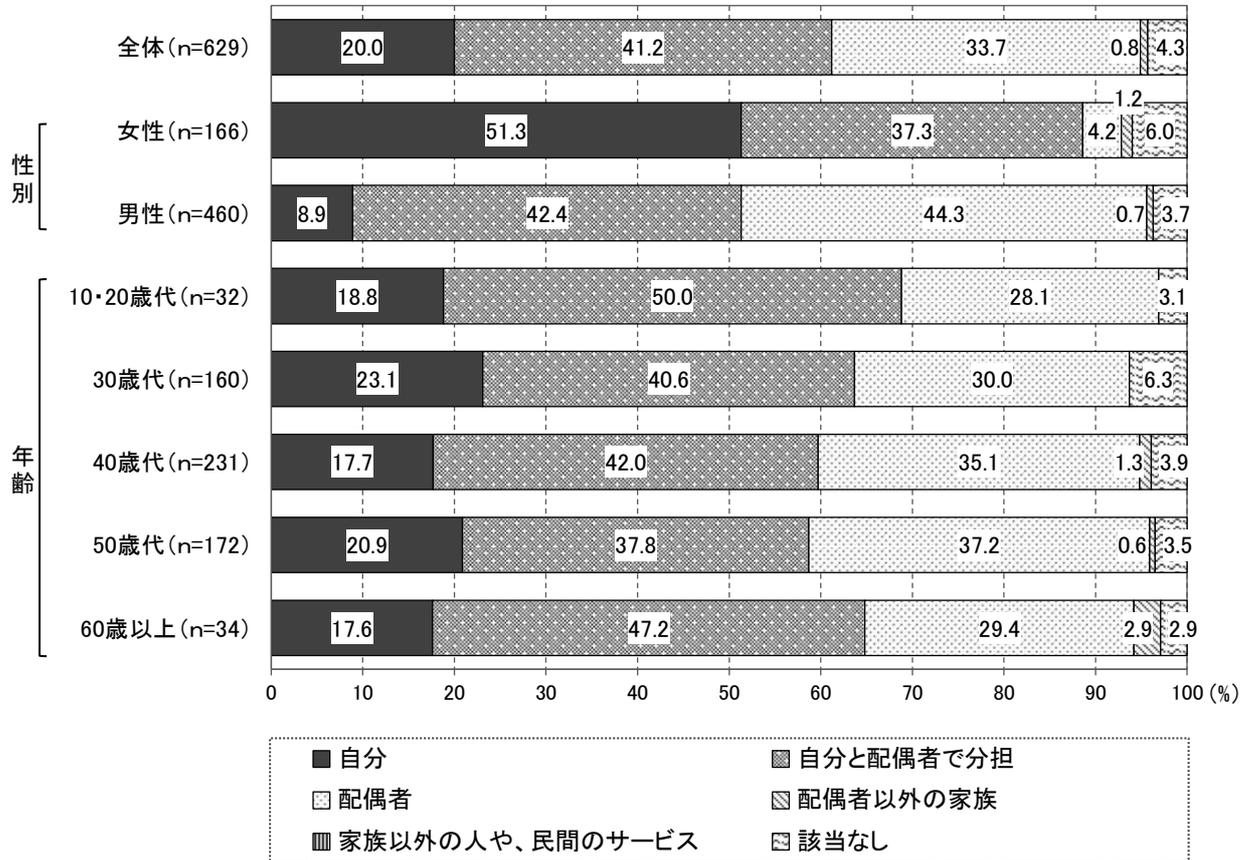
(3) 日常の買い物

全体では、「自分と配偶者で分担」が56.6%と最も高く、次いで、「配偶者」(24.2%)、「自分」(15.6%)の順となっています。



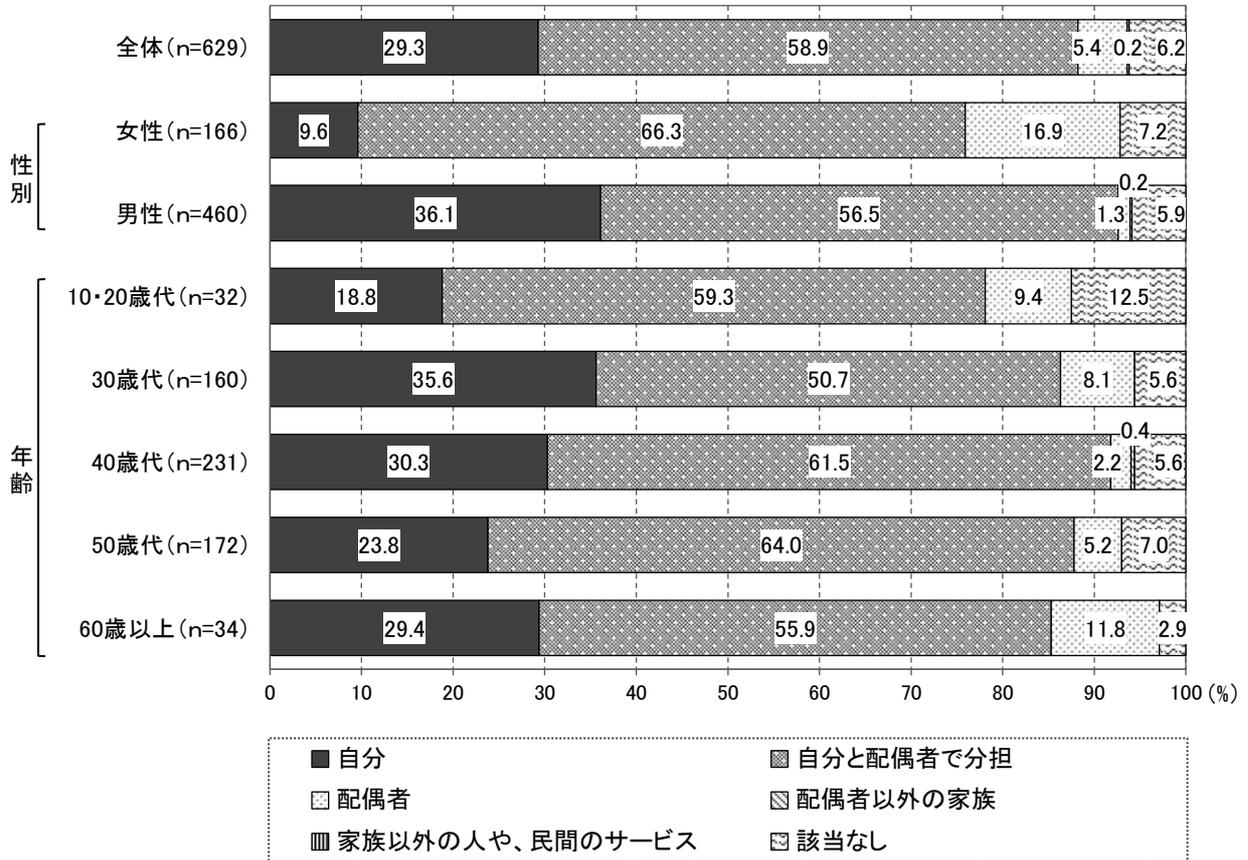
(4) 日々の家計管理

全体では、「自分と配偶者で分担」が41.2%と最も高く、次いで、「配偶者」(33.7%)、「自分」(20.0%)の順となっています。



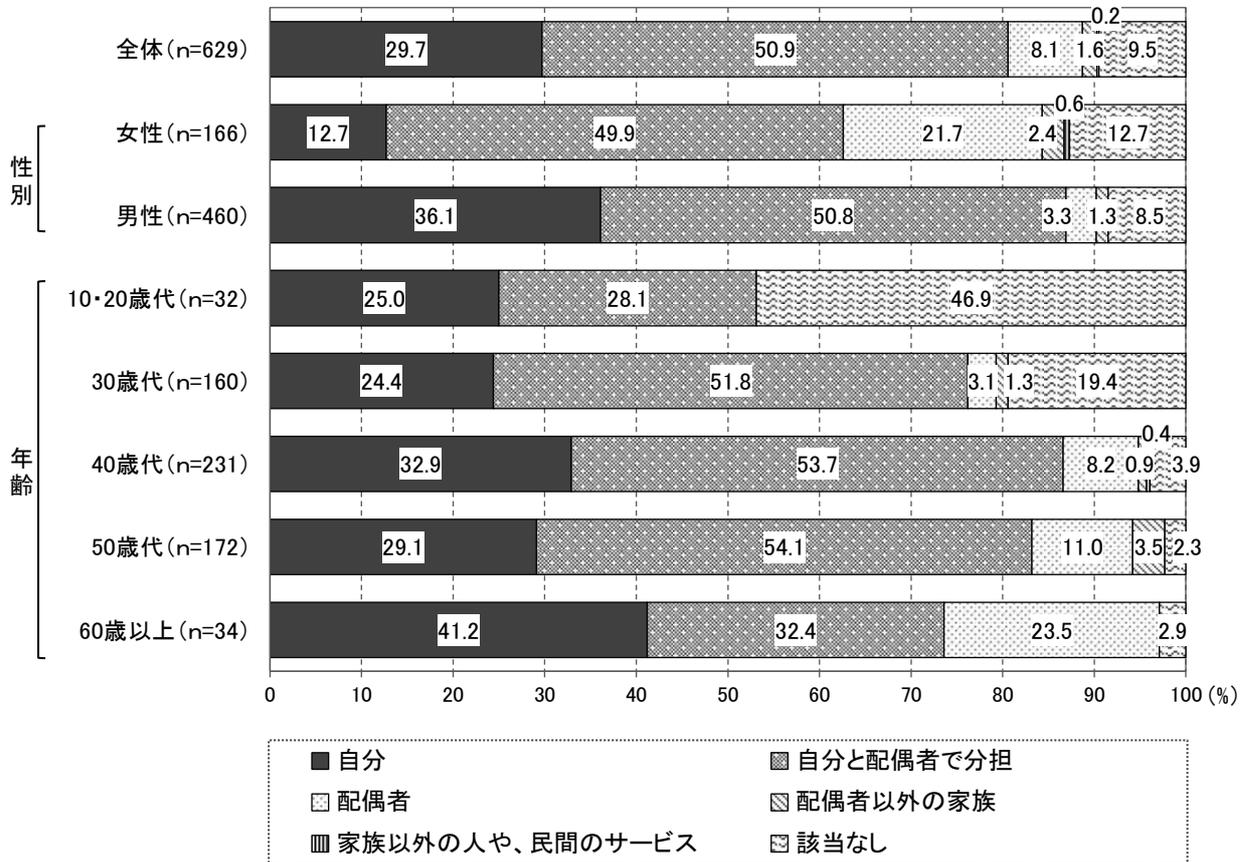
(5) 高額な商品や土地、家屋の購入

全体では、「自分と配偶者で分担」が58.9%と最も高く、次いで、「自分」(29.3%)、「該当なし」(6.2%)の順となっています。



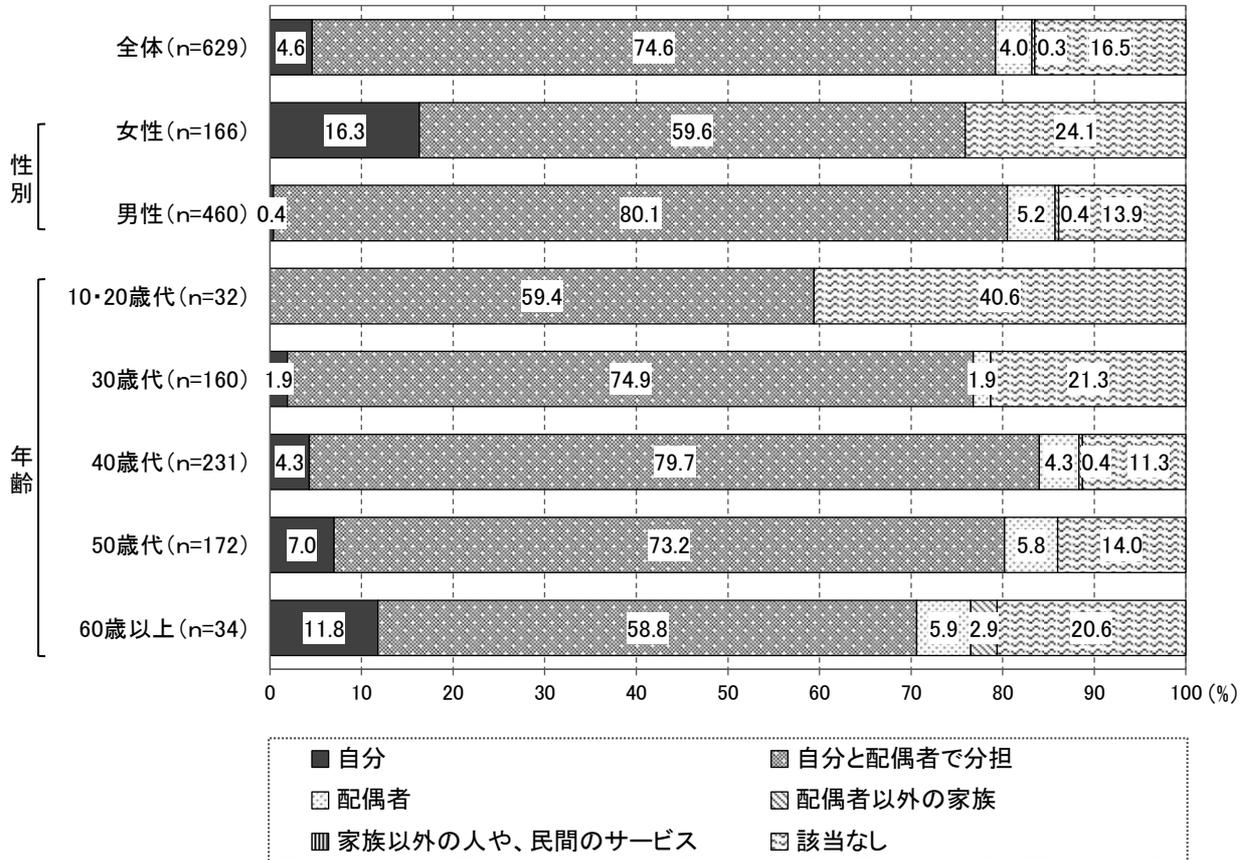
(6) 町内会などの地域活動への参加

全体では、「自分と配偶者で分担」が50.9%と最も高く、次いで、「自分」(29.7%)、「該当なし」(9.5%)の順となっています。



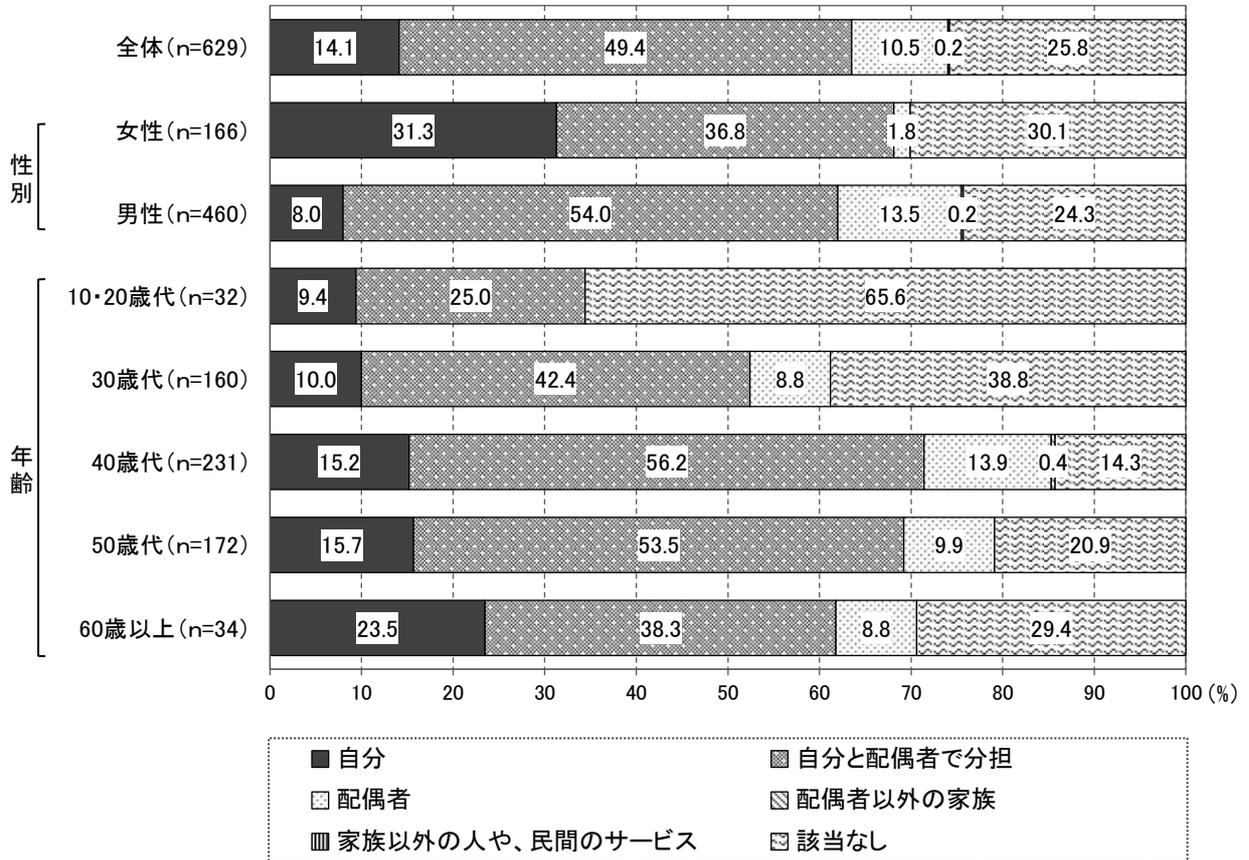
(7) 子どもの世話・しつけ

全体では、「自分と配偶者で分担」が74.6%と最も高く、次いで、「該当なし」(16.5%)、「自分」(4.6%)の順となっています。



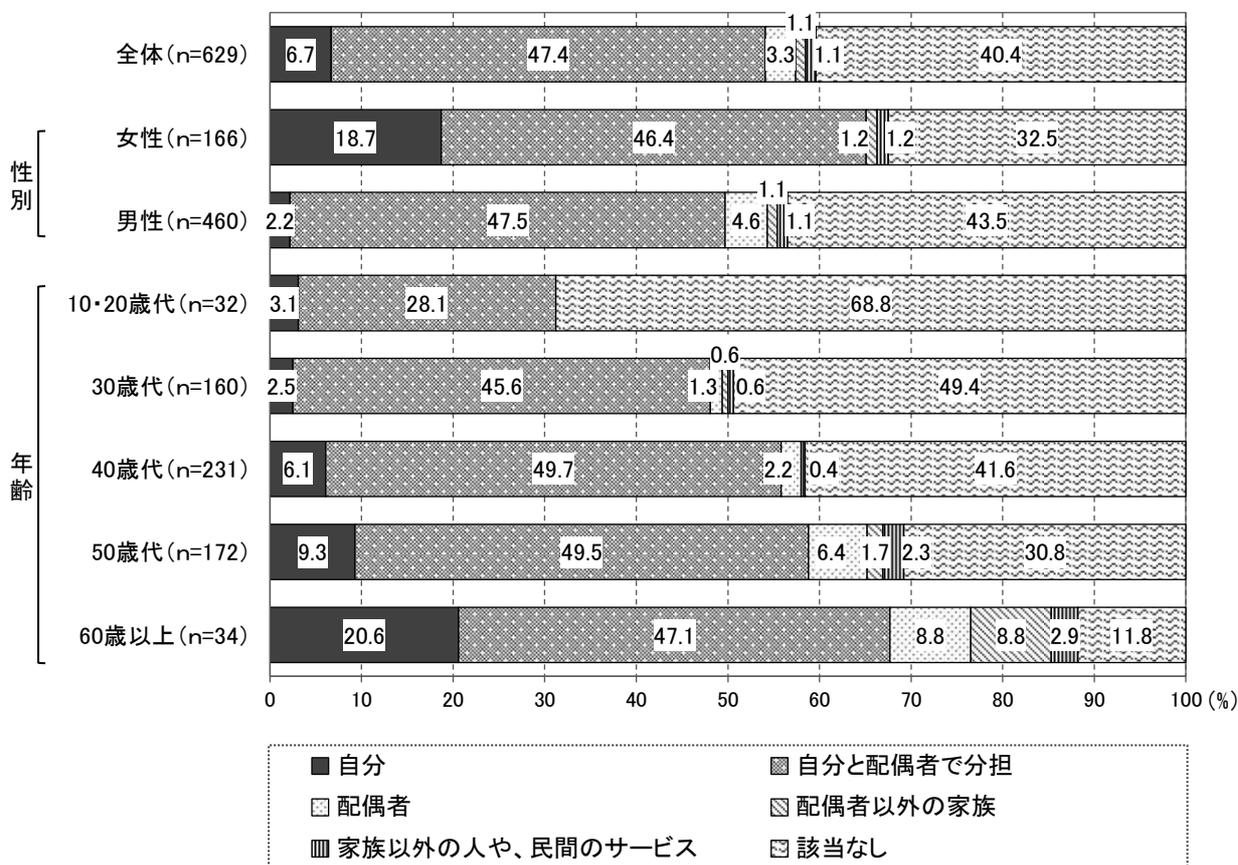
(8) PTA・子どもクラブ活動への参加

全体では、「自分と配偶者で分担」が49.4%と最も高く、次いで、「該当なし」(25.8%)、「自分」(14.1%)の順となっています。



(9) 家族の世話 (介護・看護)

全体では、「自分と配偶者で分担」が47.4%と最も高く、次いで、「該当なし」(40.4%)、「自分」(6.7%)の順となっています。



3. 教育・子育てについて

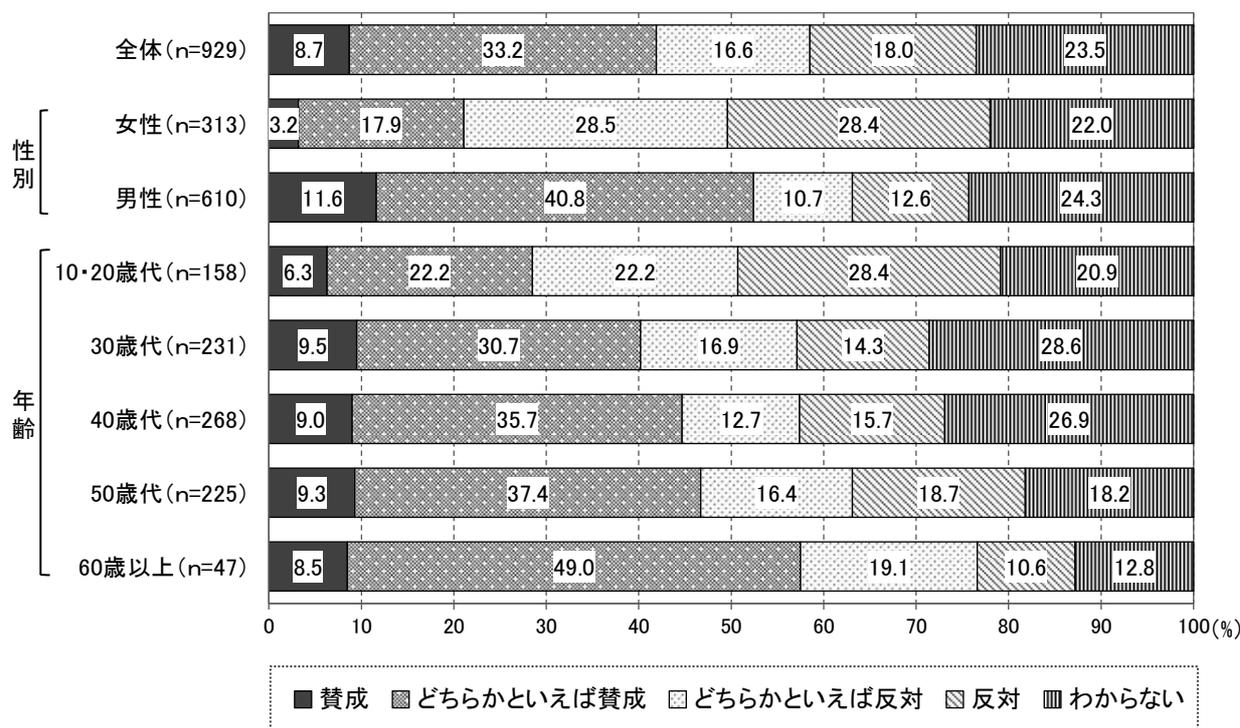
問3

子どもの育て方について、あなたの考えに近いものは何ですか。子どもがいない人も、あなたの考え方を教えてください。

(1) 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てる

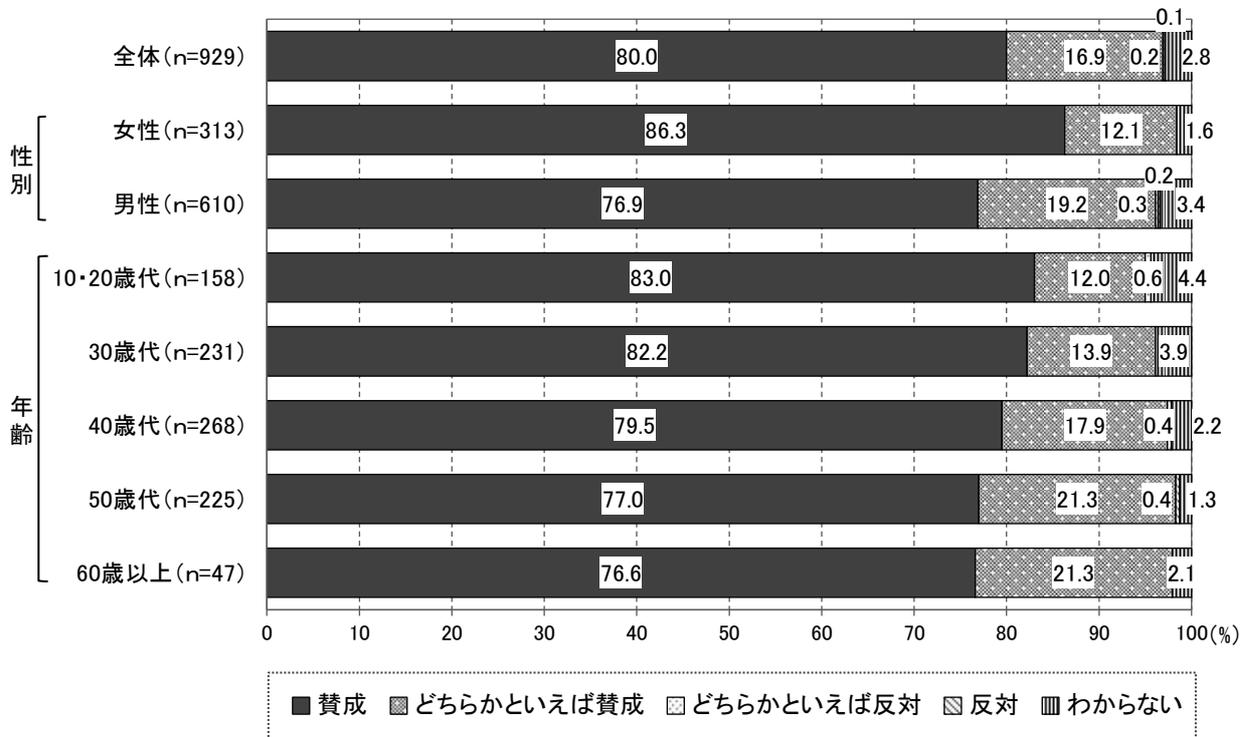
全体では、「どちらかといえば賛成」が33.2%と最も高く、次いで、「わからない」(23.5%)、「反対」(18.0%)の順となっています。

性年齢別では、全ての年代の男性で「どちらかといえば賛成」が最も高くなっています。



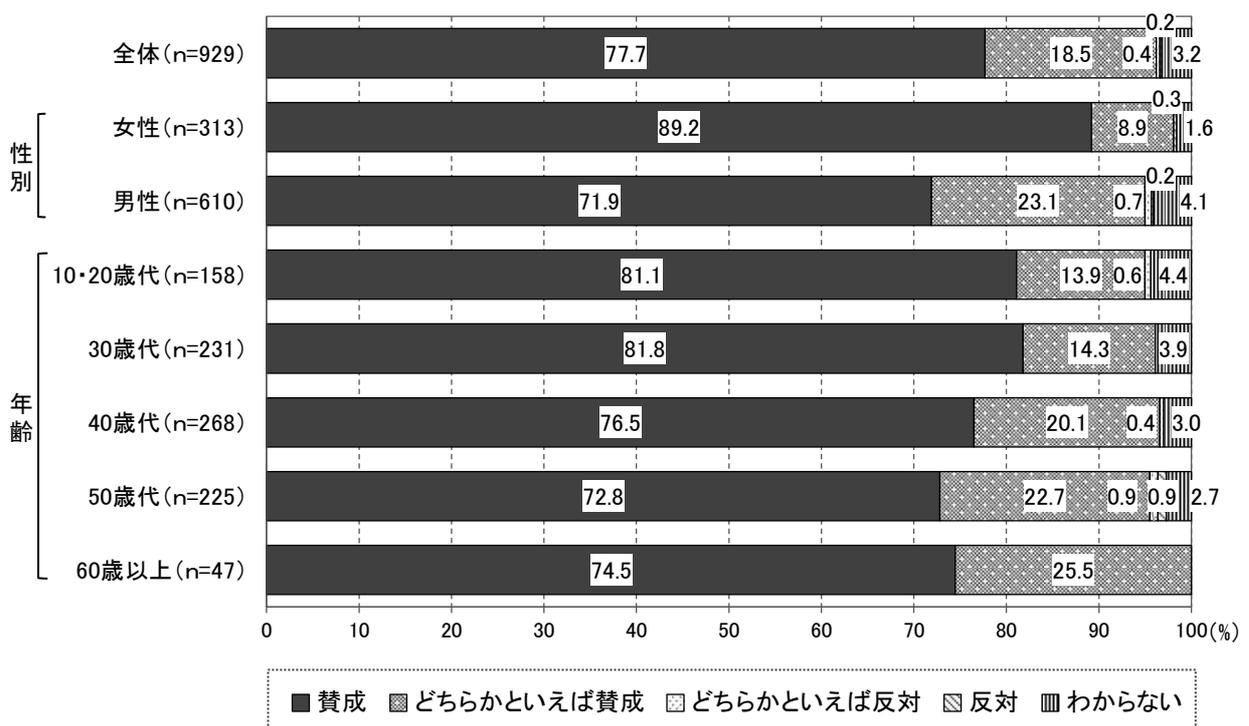
(2) 女の子も男の子も、経済的に自立できるよう育てる

全体では、「賛成」が80.0%と最も高く、次いで、「どちらかといえば賛成」(16.9%)、「わからない」(2.8%)の順となっています。



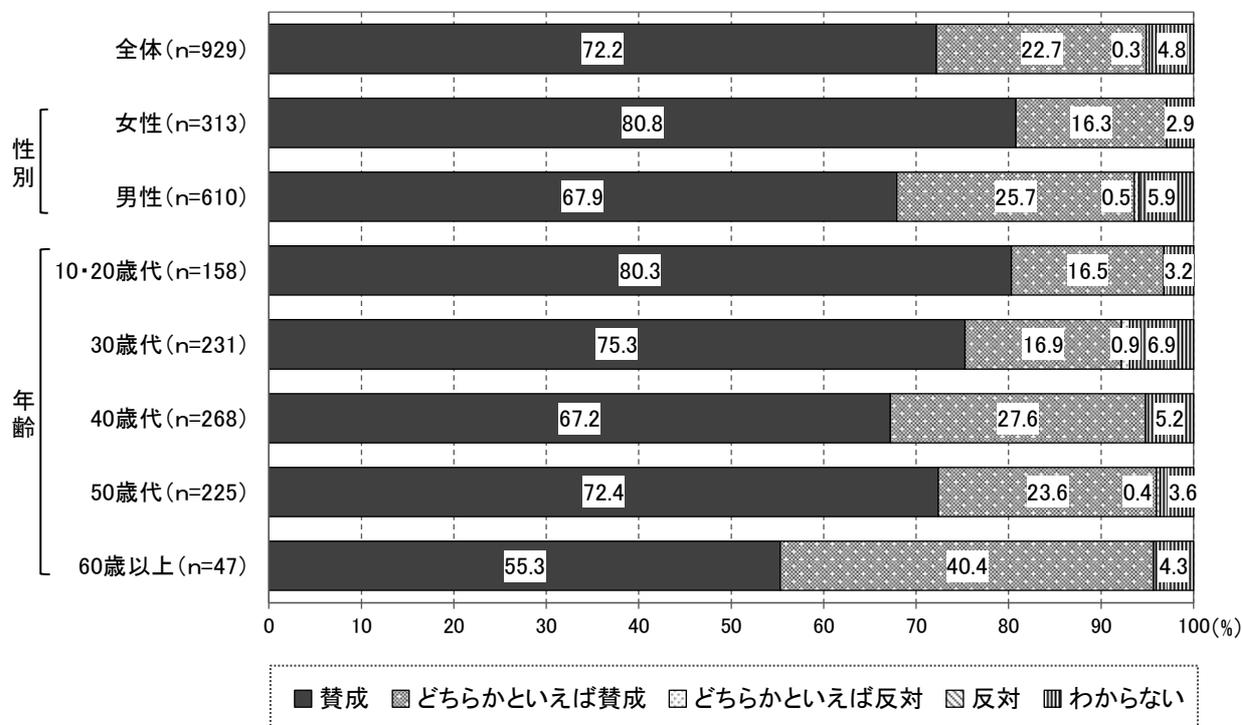
(3) 女の子も男の子も、炊事・洗濯・掃除など生活に必要な技術が身につくよう育てる

全体では、「賛成」が77.7%と最も高く、次いで、「どちらかといえば賛成」(18.5%)、「わからない」(3.2%)の順となっています。



(4) 女の子も男の子も、生まれ持った個性・才能を可能な限り活かして育てる

全体では、「賛成」が72.2%と最も高く、次いで、「どちらかといえば賛成」(22.7%)、「わからない」(4.8%)の順となっています。



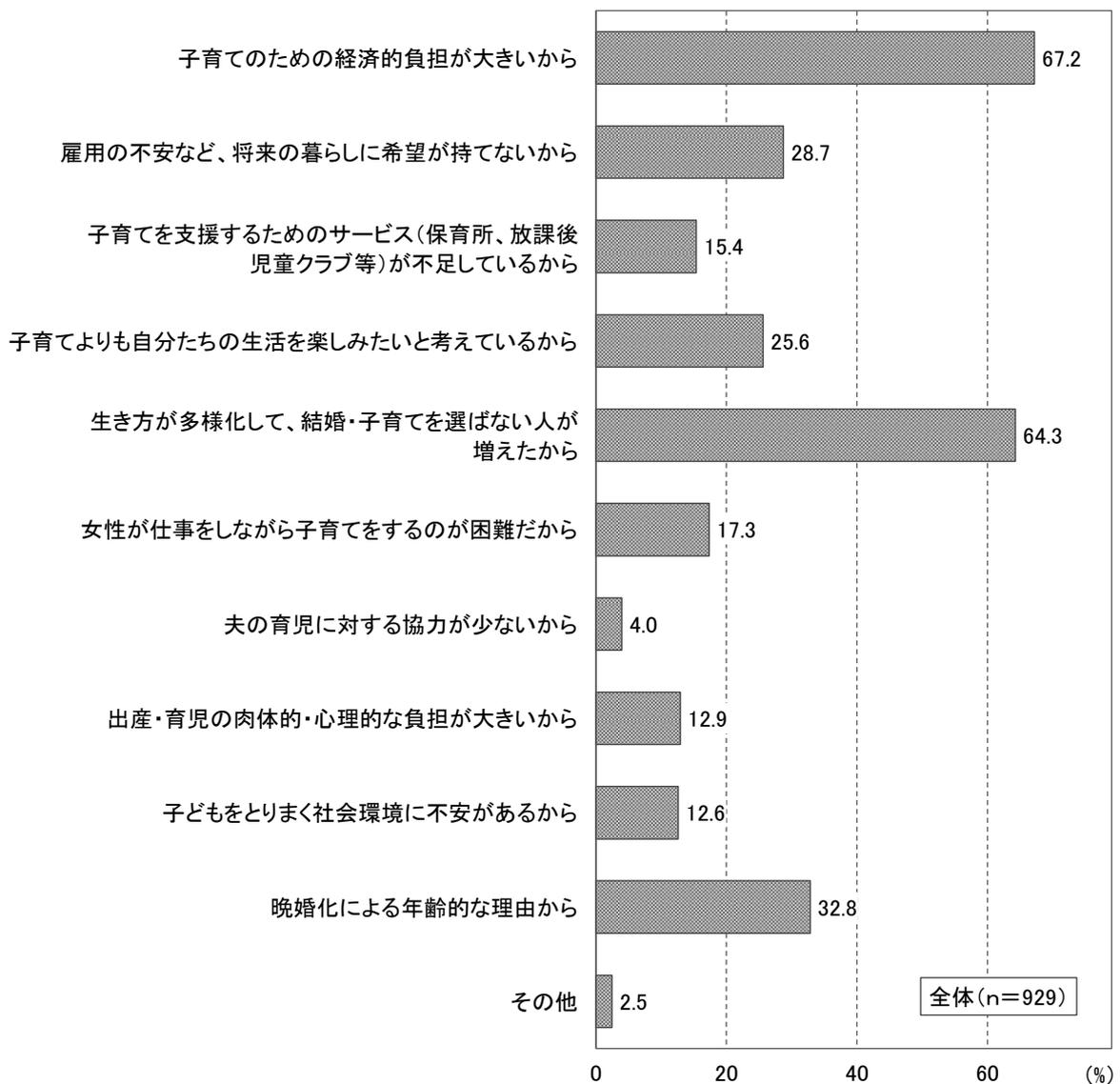
問4

少子化が問題になっていますが、その理由は何だと思えますか。
【複数回答可】

「子育てのための経済的負担が大きいから」が67.2%と最も高く、次いで、「生き方が多様化して、結婚・子育てを選ばない人が増えたから」(64.3%)、「晩婚化による年齢的な理由から」(32.8%)の順となっています。

年齢別では、40歳代までは「子育てのための経済的負担が大きいから」が最も高く、50歳代以上は「生き方が多様化して、結婚・子育てを選ばない人が増えたから」が最も高くなっています。

前回調査とは変わりありません。



		子育てのための経済的負担が大きいから	雇用の不安など、将来の暮らしに希望が持てないから	子育てを支援するためのサービス（保育所、放課後児童クラブ等）が不足しているから	子育てよりも自分たちの生活を楽してみたいと考えているから	生き方が多様化して、結婚・子育てを選ばない人が増えたから	女性が仕事をしながら子育てをするのが困難だから	夫の育児に対する協力が少ないから	出産・育児の肉体的・心理的な負担が大きいから	子どもをとりまく社会環境に不安があるから	晩婚化による年齢的な理由から	その他	
	(n=)												
	全体	929	624 67.2%	267 28.7%	143 15.4%	238 25.6%	597 64.3%	161 17.3%	37 4.0%	120 12.9%	117 12.6%	305 32.8%	23 2.5%
性別	女性	313	194 62.0%	80 25.6%	54 17.3%	58 18.5%	216 69.0%	76 24.3%	23 7.3%	47 15.0%	46 14.7%	103 32.9%	7 2.2%
	男性	610	426 69.8%	186 30.5%	89 14.6%	179 29.3%	376 61.6%	85 13.9%	14 2.3%	71 11.6%	71 11.6%	200 32.8%	15 2.5%
年齢	10・20歳代	158	123 77.8%	39 24.7%	37 23.4%	43 27.2%	94 59.5%	24 15.2%	8 5.1%	23 14.6%	24 15.2%	32 20.3%	3 1.9%
	30歳代	231	162 70.1%	74 32.0%	35 15.2%	52 22.5%	132 57.1%	46 19.9%	5 2.2%	34 14.7%	37 16.0%	75 32.5%	4 1.7%
	40歳代	268	177 66.0%	81 30.2%	40 14.9%	72 26.9%	173 64.6%	43 16.0%	11 4.1%	35 13.1%	28 10.4%	92 34.3%	11 4.1%
	50歳代	225	129 57.3%	56 24.9%	26 11.6%	64 28.4%	162 72.0%	39 17.3%	12 5.3%	24 10.7%	25 11.1%	90 40.0%	3 1.3%
	60歳以上	47	33 70.2%	17 36.2%	5 10.6%	7 14.9%	36 76.6%	9 19.1%	1 2.1%	4 8.5%	3 6.4%	16 34.0%	2 4.3%

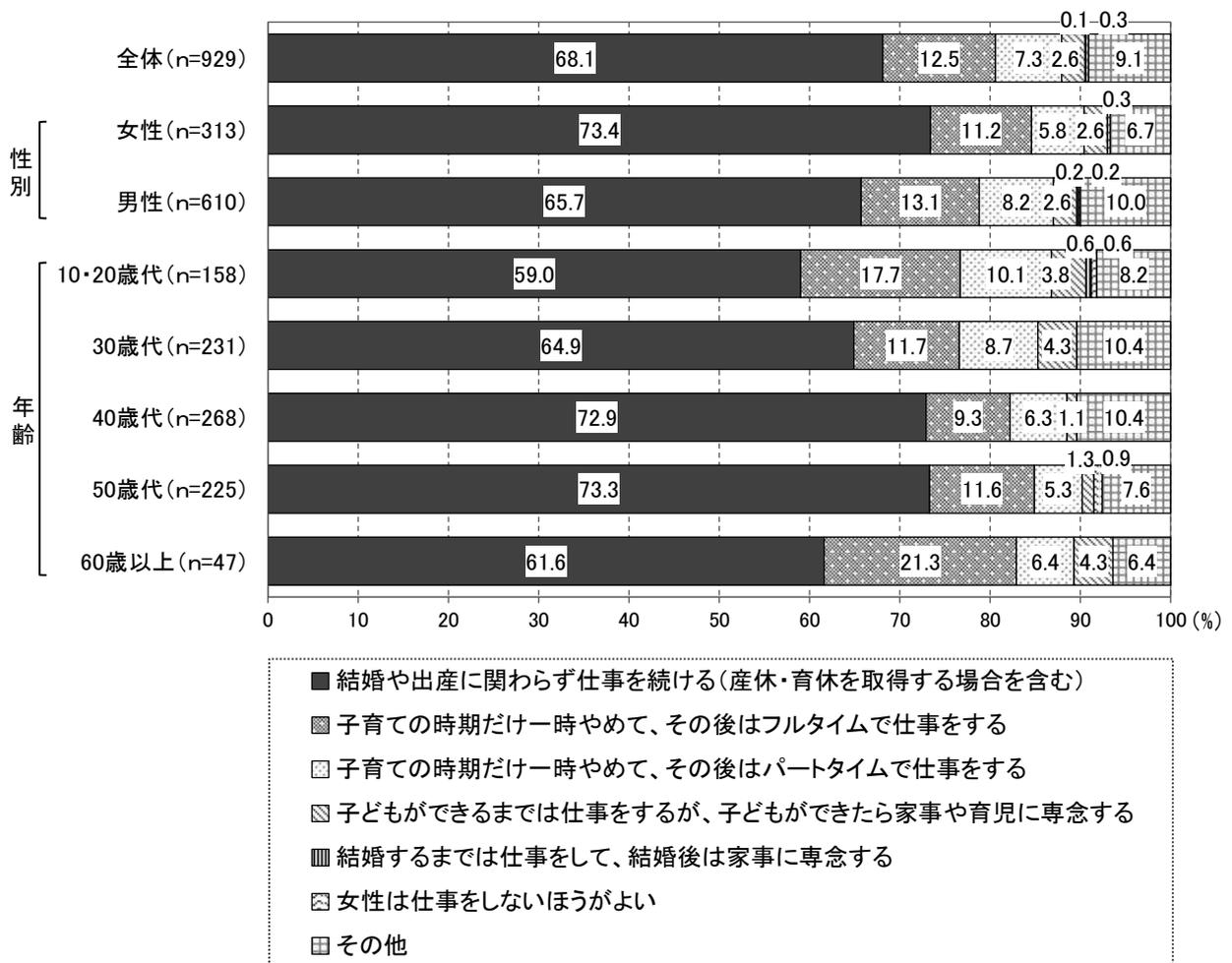
4. 仕事と生活について

問5

女性の働き方についておたずねします。あなたが、女性の働き方として「望ましい」と思うのはどれですか。

全体では、「結婚や出産に関わらず仕事を続ける（産休・育休を取得する場合を含む）」が68.1%と最も高く、次いで、「子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事をする」(12.5%)、「子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事をする」(7.3%)の順となっています。

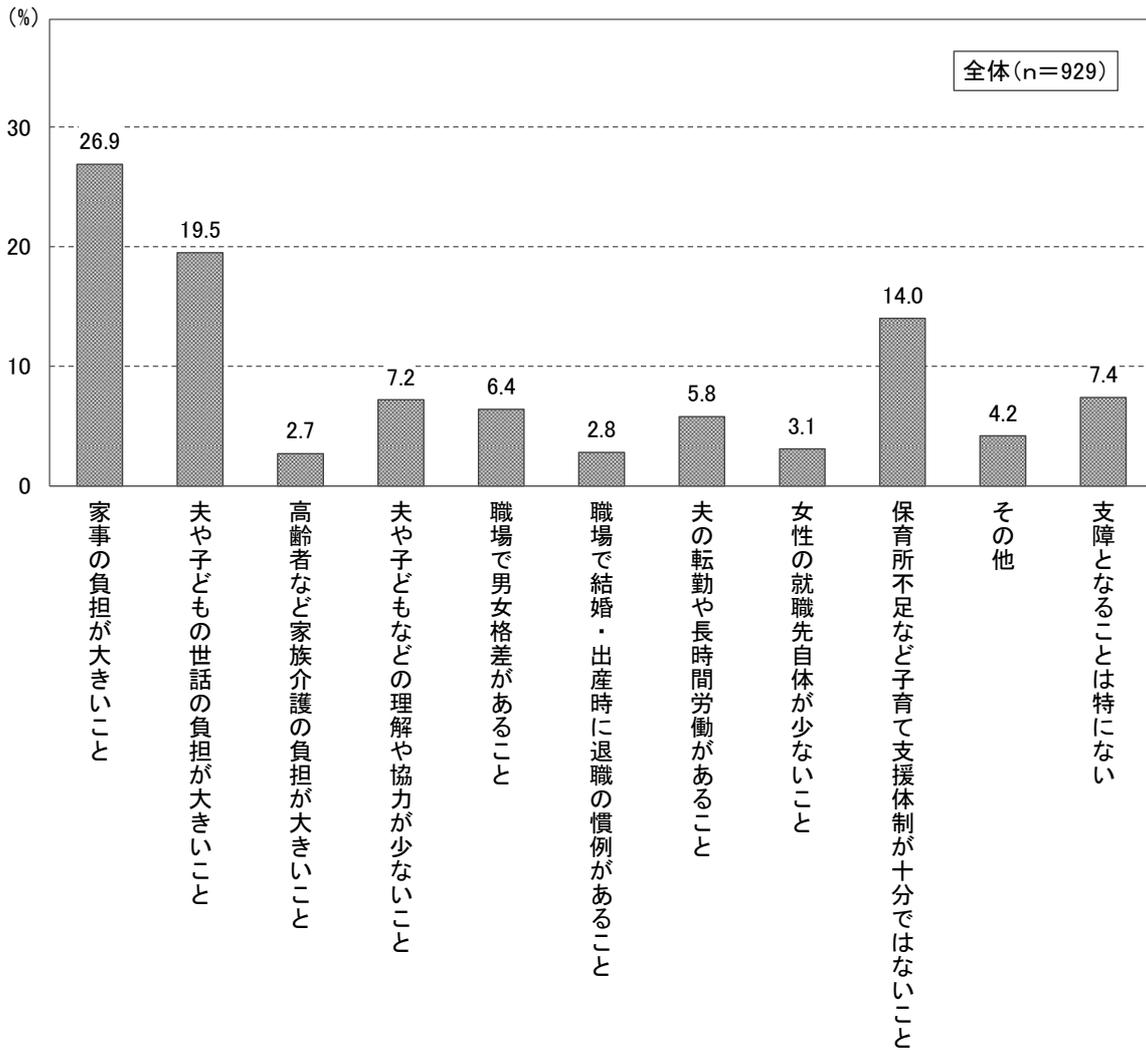
前回調査とは変わりありません。



問6

あなたは、女性が働く上で、支障となることはどのようなことだと思いますか。

全体では、「家事の負担が大きいこと」が26.9%と最も高く、次いで、「夫や子どもの世話の負担が大きいこと」(19.5%)、「保育所不足など子育て支援体制が十分ではないこと」(14.0%)の順となっています。



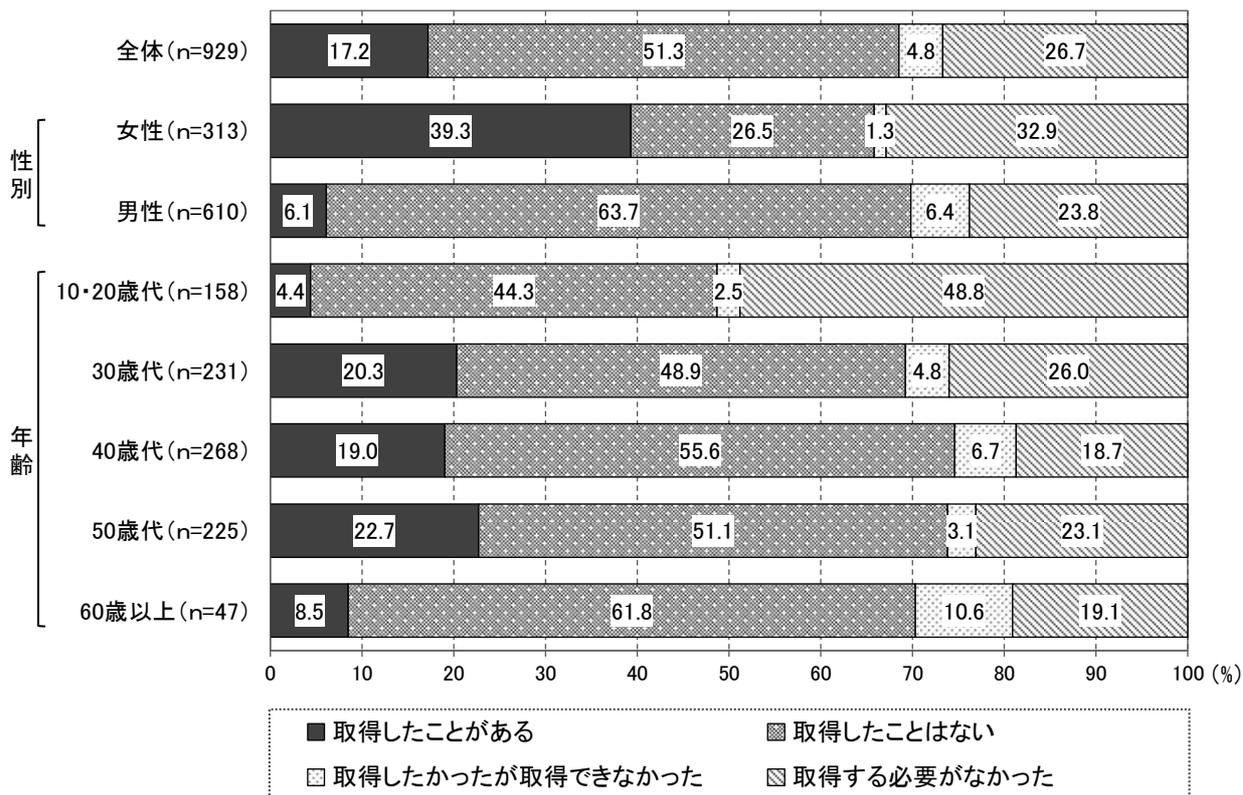
		(n=)	家事の負担が大きいこと	夫や子どもの世話の負担が大きいこと	高齢者など家族介護の負担が大きいこと	夫や子どもなどの理解や協力が少ないこと	職場で男女格差があること	職場で結婚・出産時に退職の慣例があること	夫の転勤や長時間労働があること	女性の就職先自体が少ないこと	保育所不足など子育て支援体制が十分ではないこと	その他	支障となることは特にない
全体		929	250 26.9%	181 19.5%	25 2.7%	67 7.2%	59 6.4%	26 2.8%	54 5.8%	29 3.1%	130 14.0%	39 4.2%	69 7.4%
性別	女性	313	101 32.4%	62 19.8%	14 4.5%	22 7.0%	19 6.1%	2 0.6%	22 7.0%	7 2.2%	36 11.5%	16 5.1%	12 3.8%
	男性	610	148 24.3%	117 19.2%	11 1.8%	43 7.0%	40 6.6%	24 3.9%	32 5.2%	22 3.6%	94 15.4%	23 3.8%	56 9.2%
年齢	10・20歳代	158	46 29.1%	37 23.4%	1 0.6%	8 5.1%	8 5.1%	3 1.9%	6 3.8%	3 1.9%	31 19.6%	6 3.8%	9 5.7%
	30歳代	231	55 23.8%	58 25.0%	5 2.2%	9 3.9%	13 5.6%	8 3.5%	20 8.7%	9 3.9%	30 13.0%	10 4.3%	14 6.1%
	40歳代	268	79 29.5%	47 17.5%	5 1.9%	17 6.3%	21 7.8%	9 3.4%	12 4.5%	5 1.9%	36 13.4%	18 6.7%	19 7.1%
	50歳代	225	55 24.4%	30 13.3%	10 4.4%	30 13.3%	13 5.8%	6 2.7%	15 6.7%	11 4.9%	26 11.6%	5 2.2%	24 10.7%
	60歳以上	47	15 32.0%	9 19.1%	4 8.5%	3 6.4%	4 8.5%	0 0.0%	1 2.1%	1 2.1%	7 14.9%	0 0.0%	3 6.4%

問7

あなたは、これまでに育児休業（産休を除く）や介護休業を取得したことがありますか。

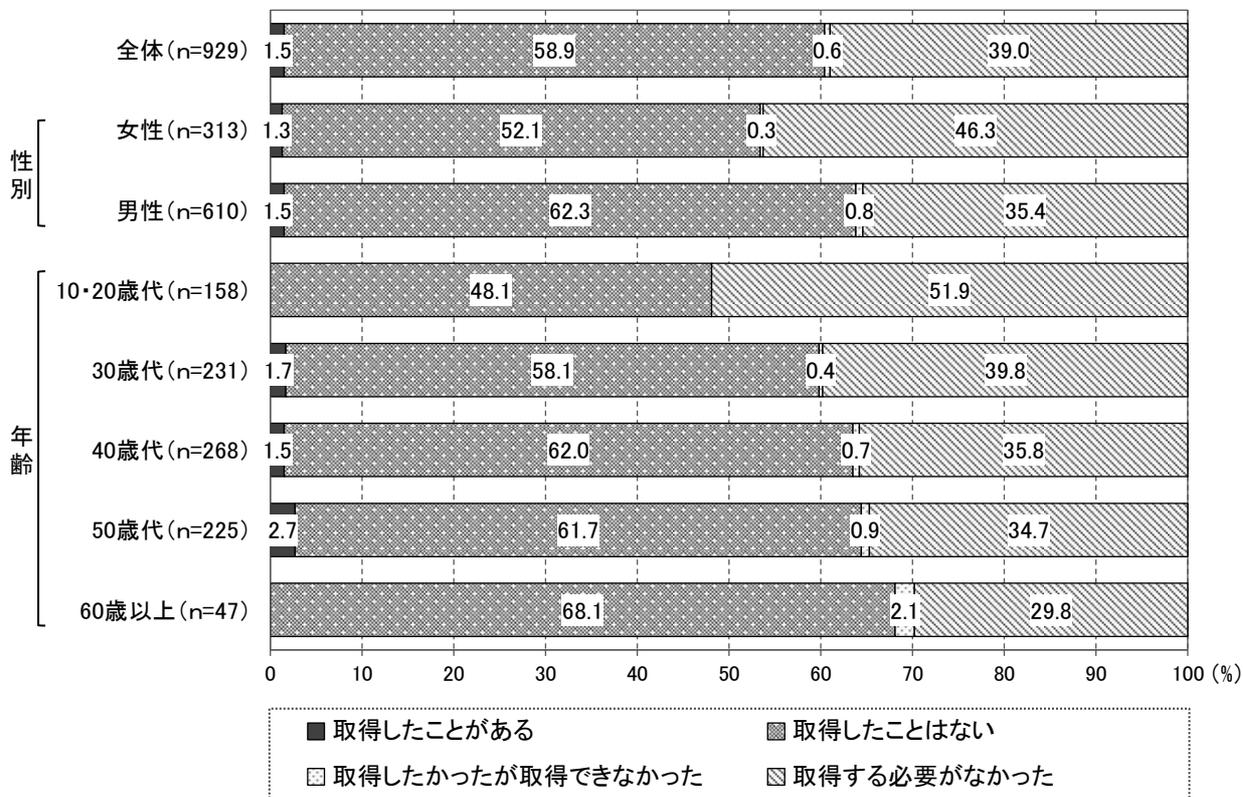
① 育児休業 ※産休を除く

全体では、「取得したことはない」が51.3%と最も高く、次いで、「取得する必要がなかった」（26.7%）、「取得したことがある」（17.2%）の順となっています。



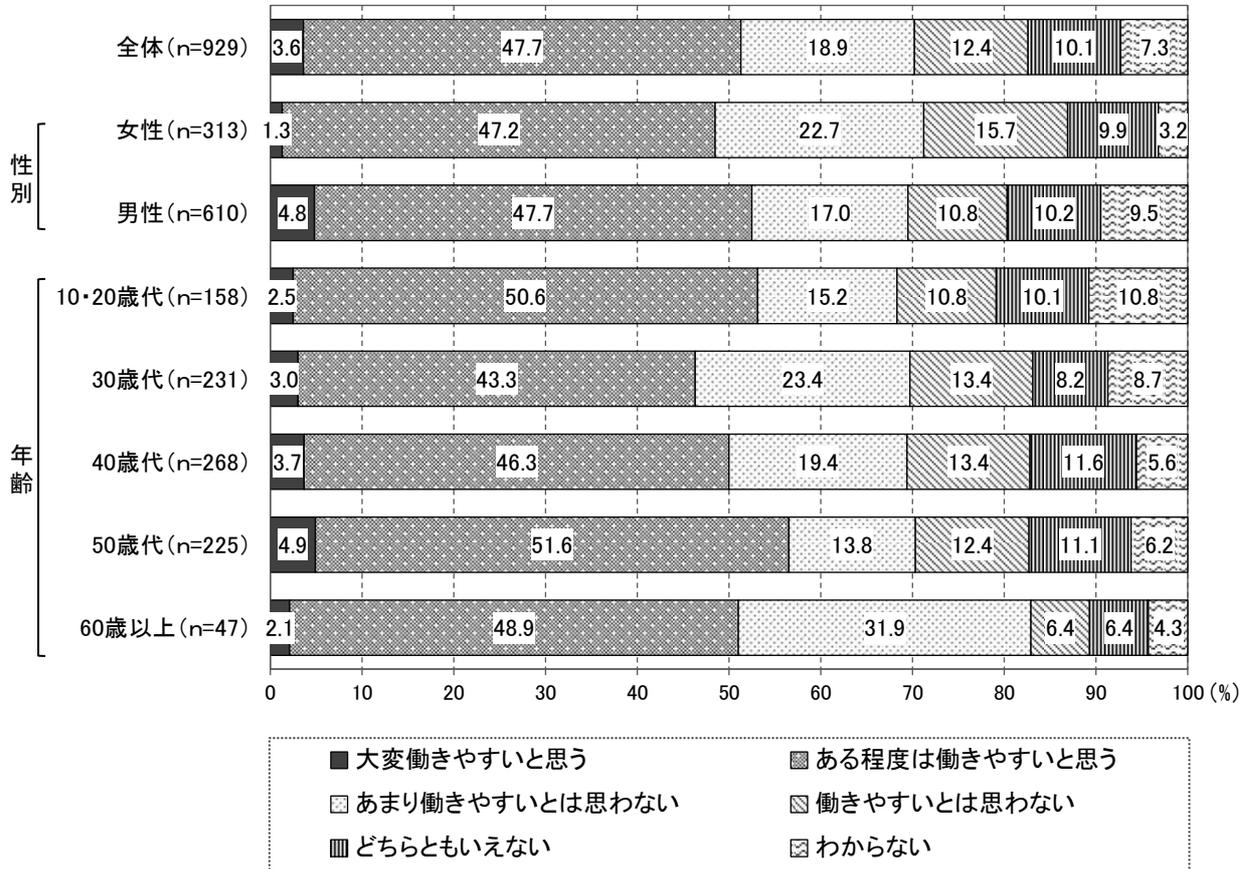
② 介護休業

全体では、「取得したことはない」が58.9%と最も高く、次いで、「取得する必要がなかった」(39.0%)、「取得したことがある」(1.5%)の順となっています。



問8 あなたは、現在の社会は女性が働きやすい状況にあると思いますか。

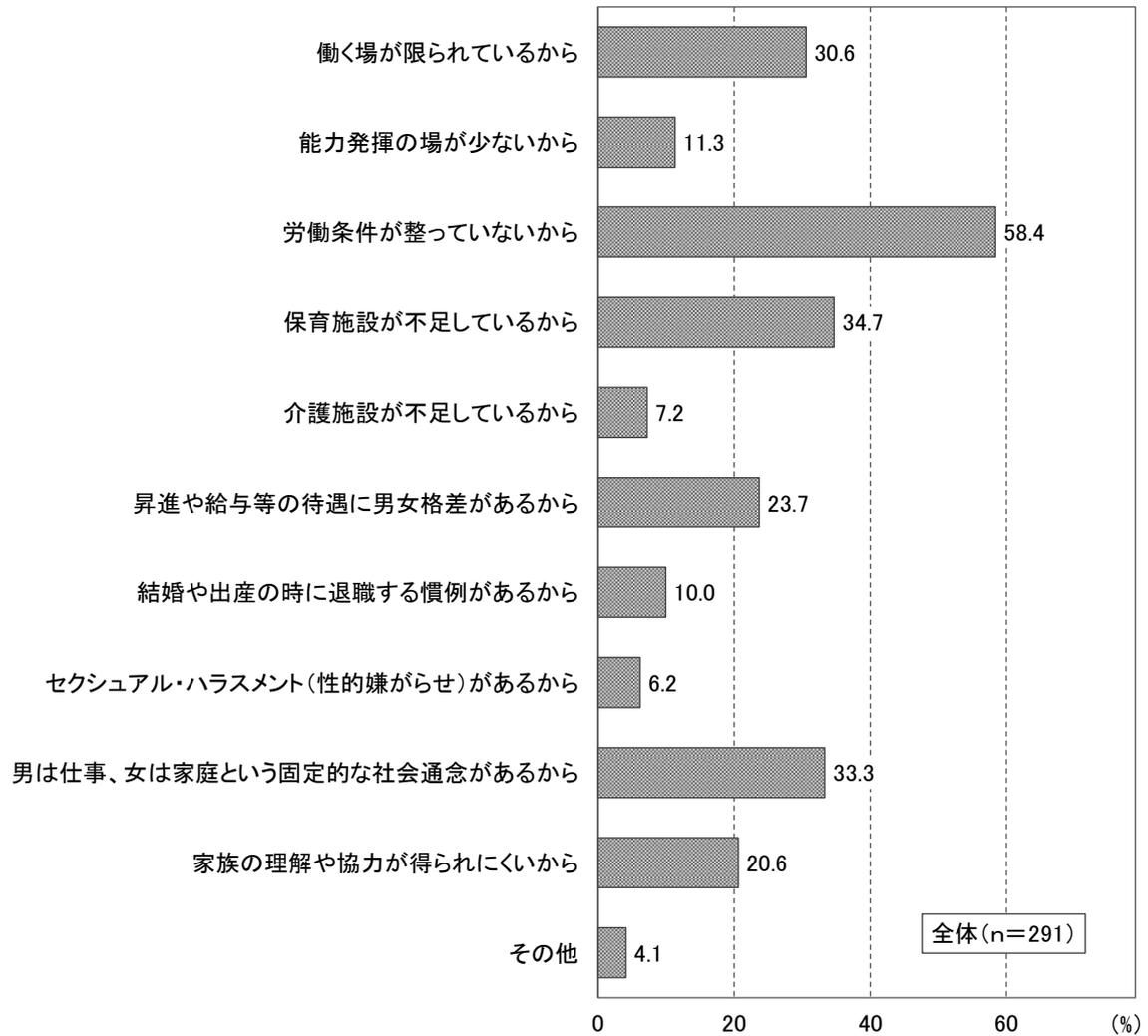
全体では、「ある程度は働きやすいと思う」が47.7%と最も高く、次いで、「あまり働きやすいとは思わない」(18.9%)、「働きやすいとは思わない」(12.4%)の順となっています。



問8-1

◆問8で「3. あまり働きやすいとは思わない」または「4. 働きやすいとは思わない」と回答した方。
 そう思わない理由は何ですか。【複数回答可】

「労働条件が整っていないから」が58.4%と最も高く、次いで、「保育施設が不足しているから」(34.7%)、「男は仕事、女は家庭という固定的な社会通念があるから」(33.3%)の順となっています。

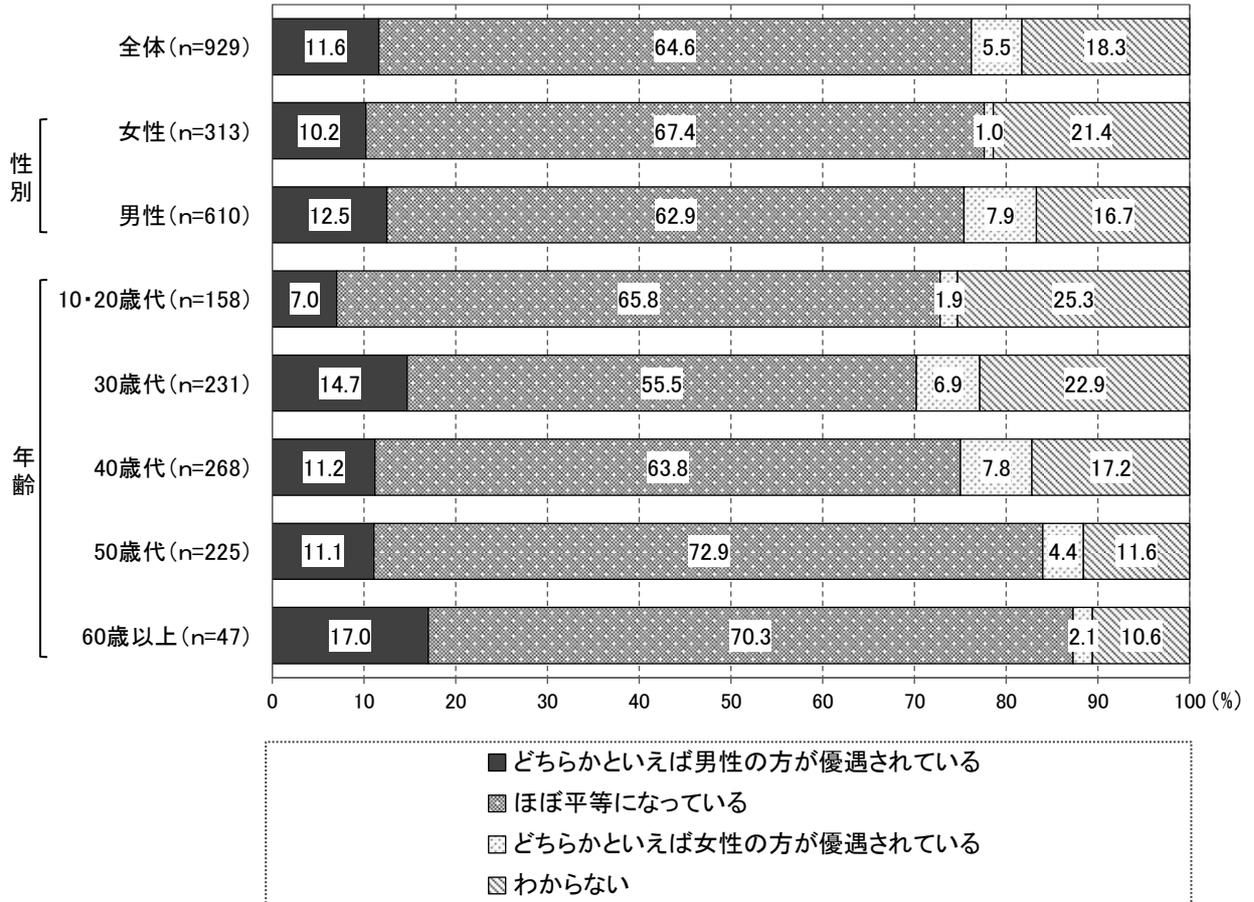


		(n=)	働く場 が限ら れてい るから	能力発 揮の場 が少な いから	労働条 件が整 っていない から	保育施 設が不 足してい るから	介護施 設が不 足してい るから	昇進や 給与等 の待遇 に男女 格差が あるから	結婚や 出産の 時に退 職する 慣例が あるから	セクシ ュアル ・ハラ スメン ト（性 的嫌が らせ） がある から	男は仕 事、女 は家庭 という 固定 的な社 会通念 がある から	家族の 理解や 協力が 得られ にくい から	その他
全体		291	89 30.6%	33 11.3%	170 58.4%	101 34.7%	21 7.2%	69 23.7%	29 10.0%	18 6.2%	97 33.3%	60 20.6%	12 4.1%
性別	女性	120	32 26.7%	6 5.0%	68 56.7%	44 36.7%	14 11.7%	23 19.2%	9 7.5%	8 6.7%	52 43.3%	34 28.3%	6 5.0%
	男性	170	57 33.5%	27 15.9%	101 59.4%	57 33.5%	7 4.1%	46 27.1%	20 11.8%	10 5.9%	44 25.9%	25 14.7%	6 3.5%
年齢	10・20歳代	41	16 39.0%	0 0.0%	23 56.1%	14 34.1%	1 2.4%	12 29.3%	4 9.8%	8 19.5%	17 41.5%	6 14.6%	2 4.9%
	30歳代	85	21 24.7%	11 12.9%	51 60.0%	32 37.6%	3 3.5%	20 23.5%	8 9.4%	4 4.7%	24 28.2%	9 10.6%	2 2.4%
	40歳代	88	29 33.0%	11 12.5%	53 60.2%	22 25.0%	5 5.7%	25 28.4%	10 11.4%	5 5.7%	31 35.2%	22 25.0%	5 5.7%
	50歳代	59	17 28.8%	9 15.3%	33 55.9%	24 40.7%	11 18.6%	10 16.9%	3 5.1%	1 1.7%	19 32.2%	18 30.5%	3 5.1%
	60歳以上	18	6 33.3%	2 11.1%	10 55.6%	9 50.0%	1 5.6%	2 11.1%	4 22.2%	0 0.0%	6 33.3%	5 27.8%	0 0.0%

問9 現在、あなたの働く場では、女性と男性は平等だと思いますか。

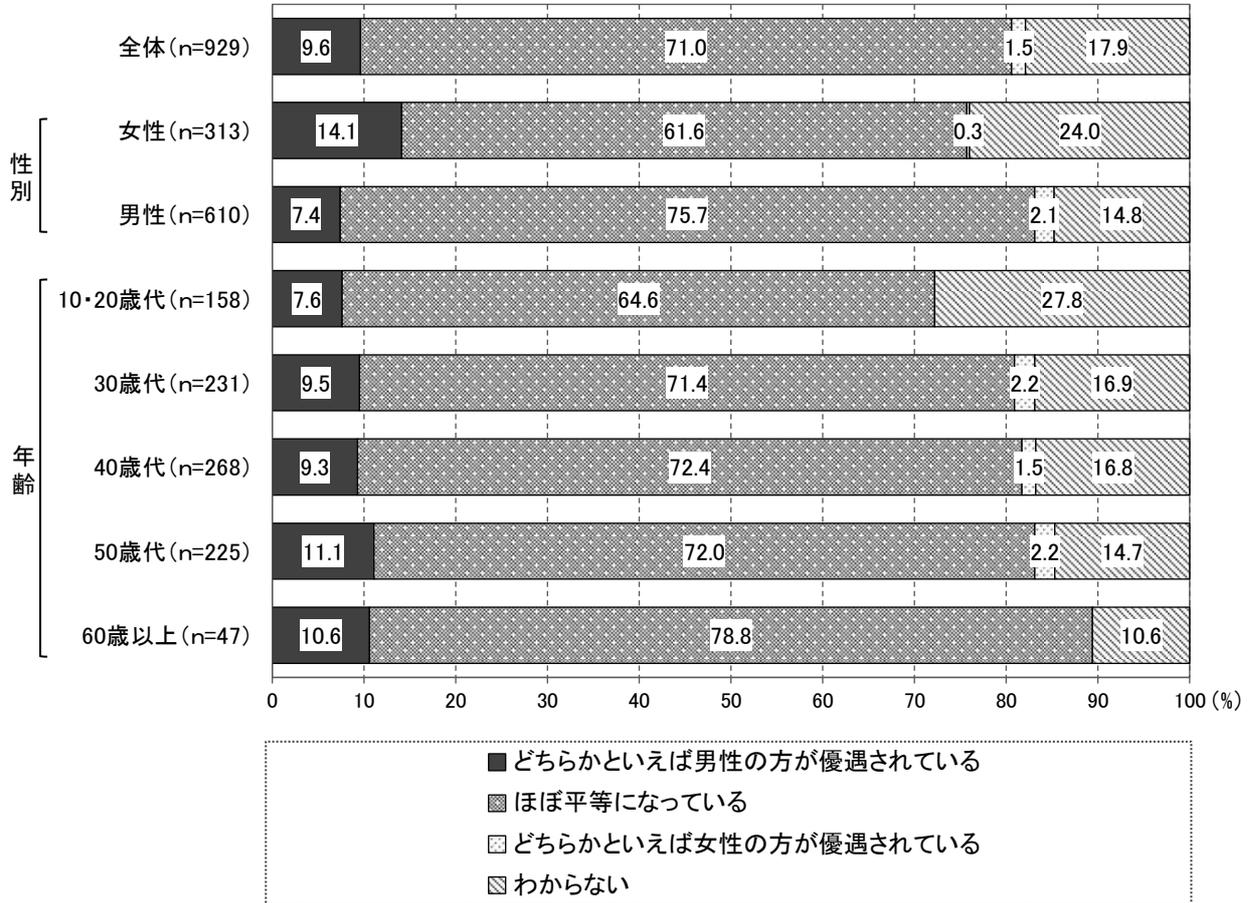
(1) 募集・採用

全体では、「ほぼ平等になっている」が64.6%と最も高く、次いで、「わからない」(18.3%)、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(11.6%)、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」(10.2%)の順となっています。



(2) 賃金・昇給

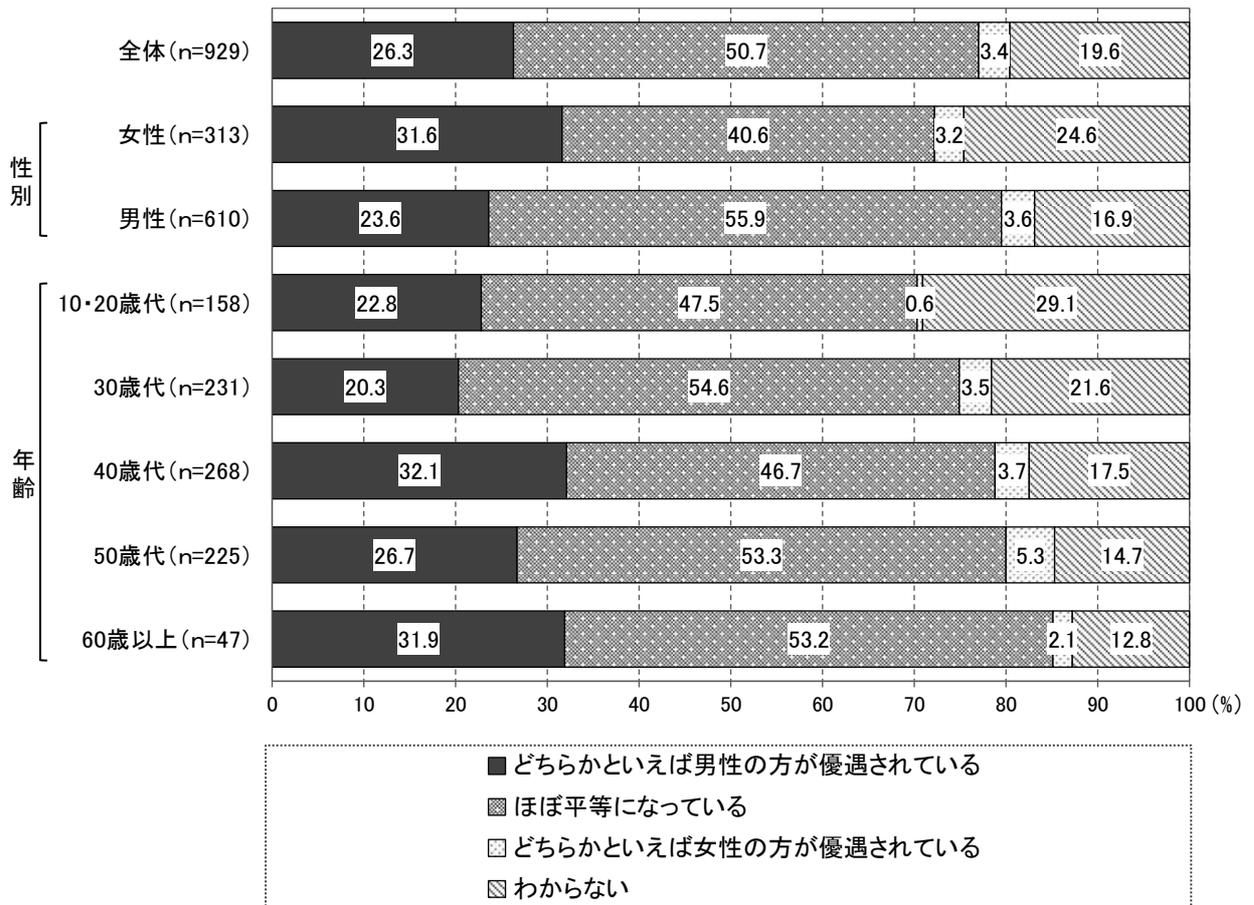
全体では、「ほぼ平等になっている」が71.0%と最も高く、次いで、「わからない」(17.9%)、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(9.6%)の順となっています。



(3) 昇進や昇格

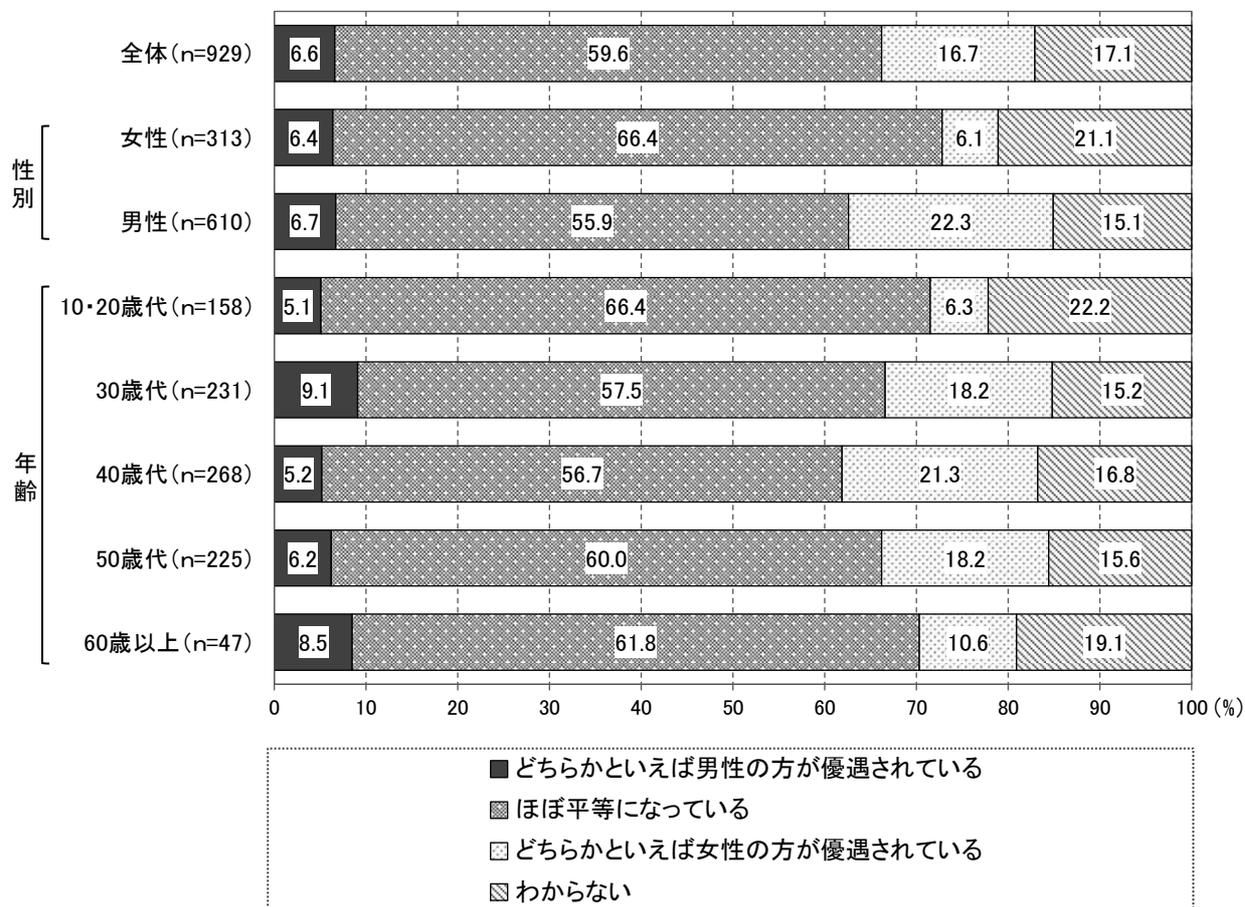
全体では、「ほぼ平等になっている」が50.7%と最も高く、次いで、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(26.3%)、「わからない」(19.6%)の順となっています。

性年齢別では、40歳代女性で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も高くなっています。



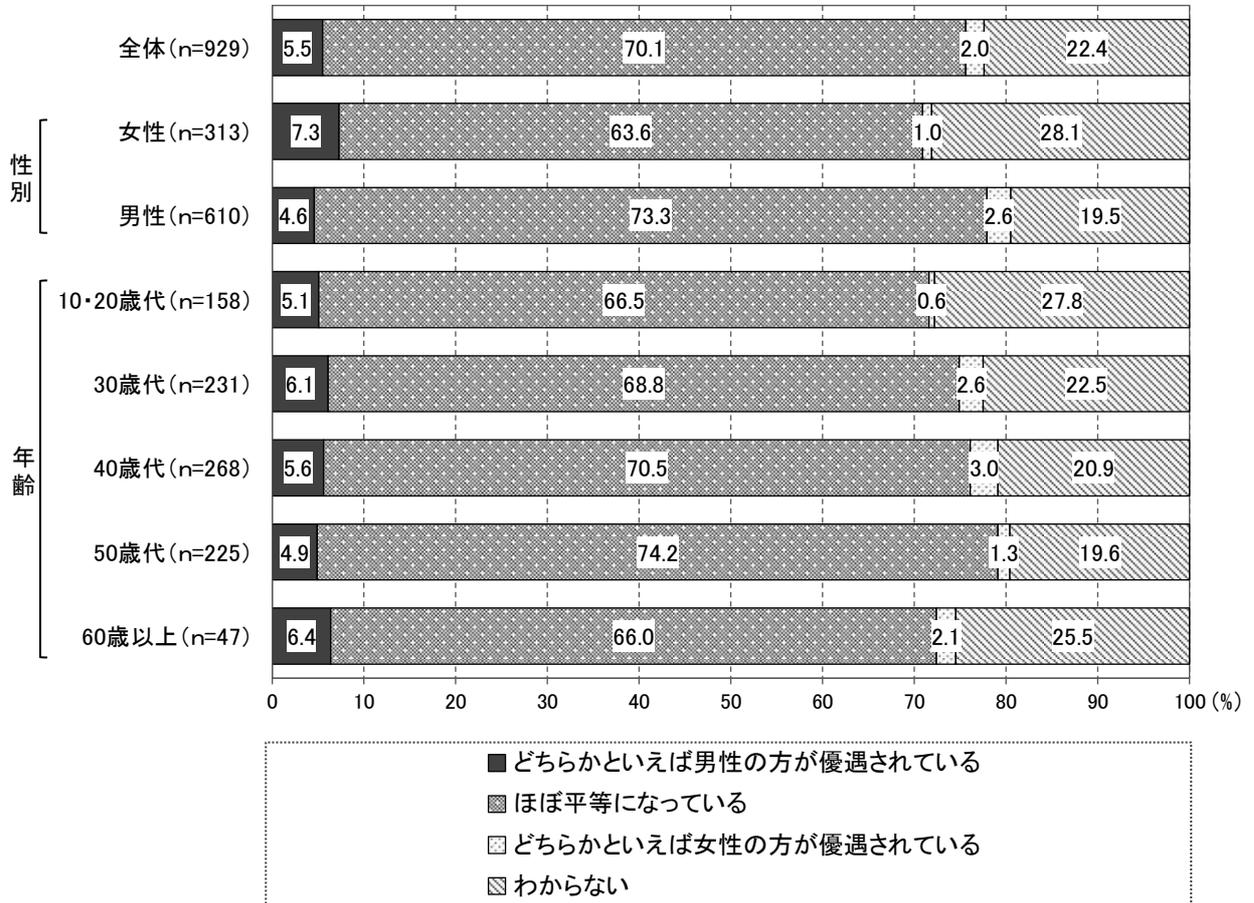
(4) 仕事の内容

全体では、「ほぼ平等になっている」が59.6%と最も高く、次いで、「わからない」(17.1%)、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」(16.7%)の順となっています。



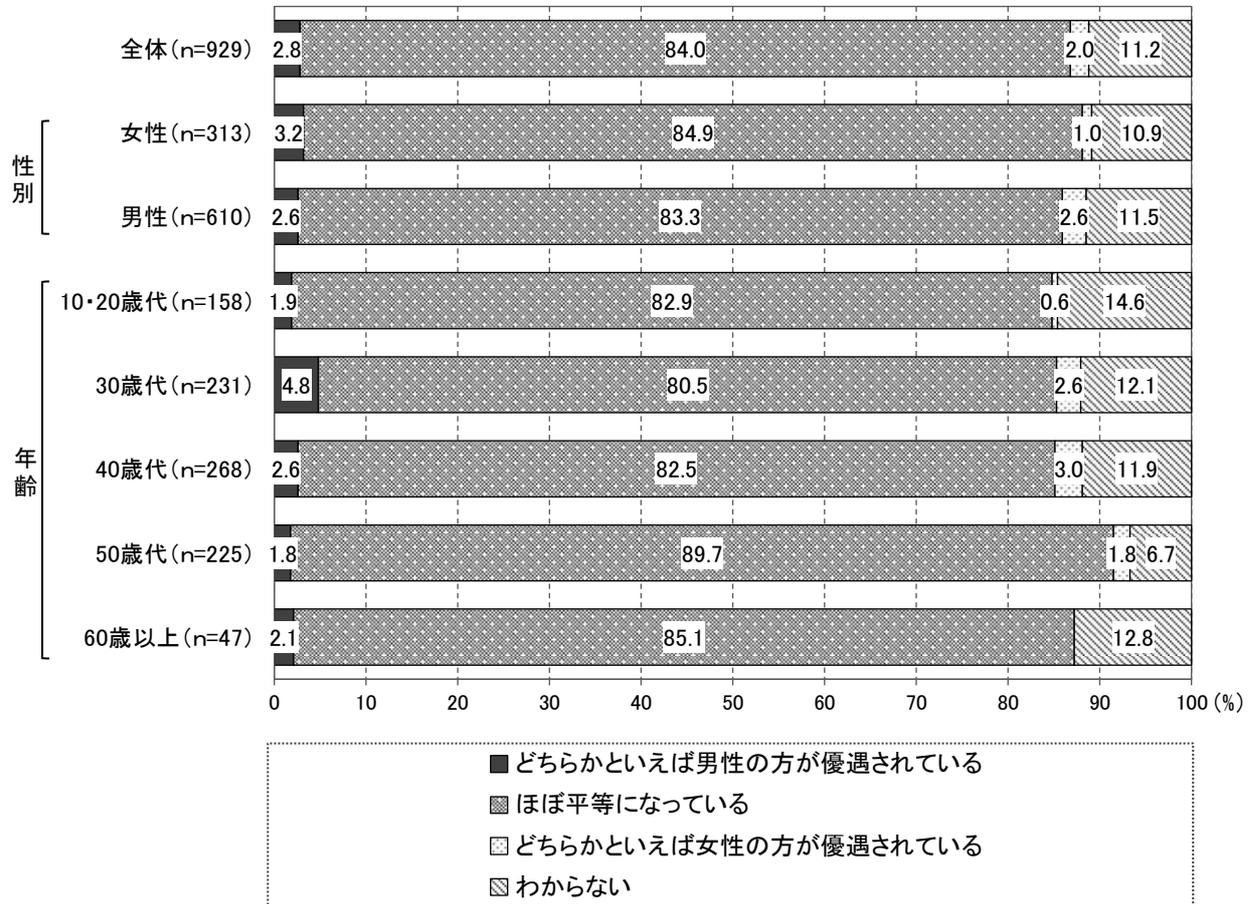
(5) 能力評価・査定

全体では、「ほぼ平等になっている」が70.1%と最も高く、次いで、「わからない」(22.4%)、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(5.5%)の順となっています。



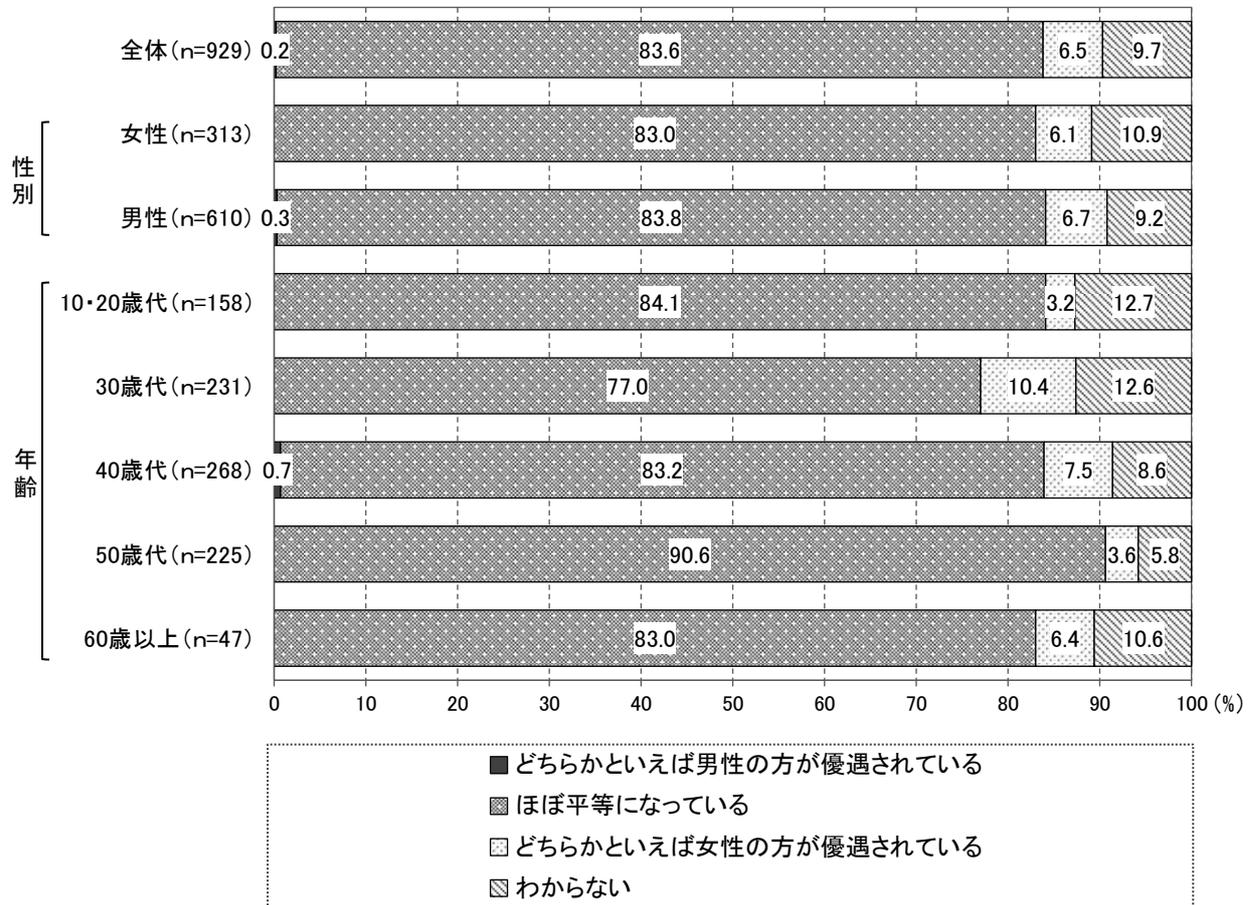
(6) 教育訓練や研修

全体では、「ほぼ平等になっている」が84.0%と最も高く、次いで、「わからない」(11.2%)、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(2.8%)の順となっています。



(7) 有給休暇の取得

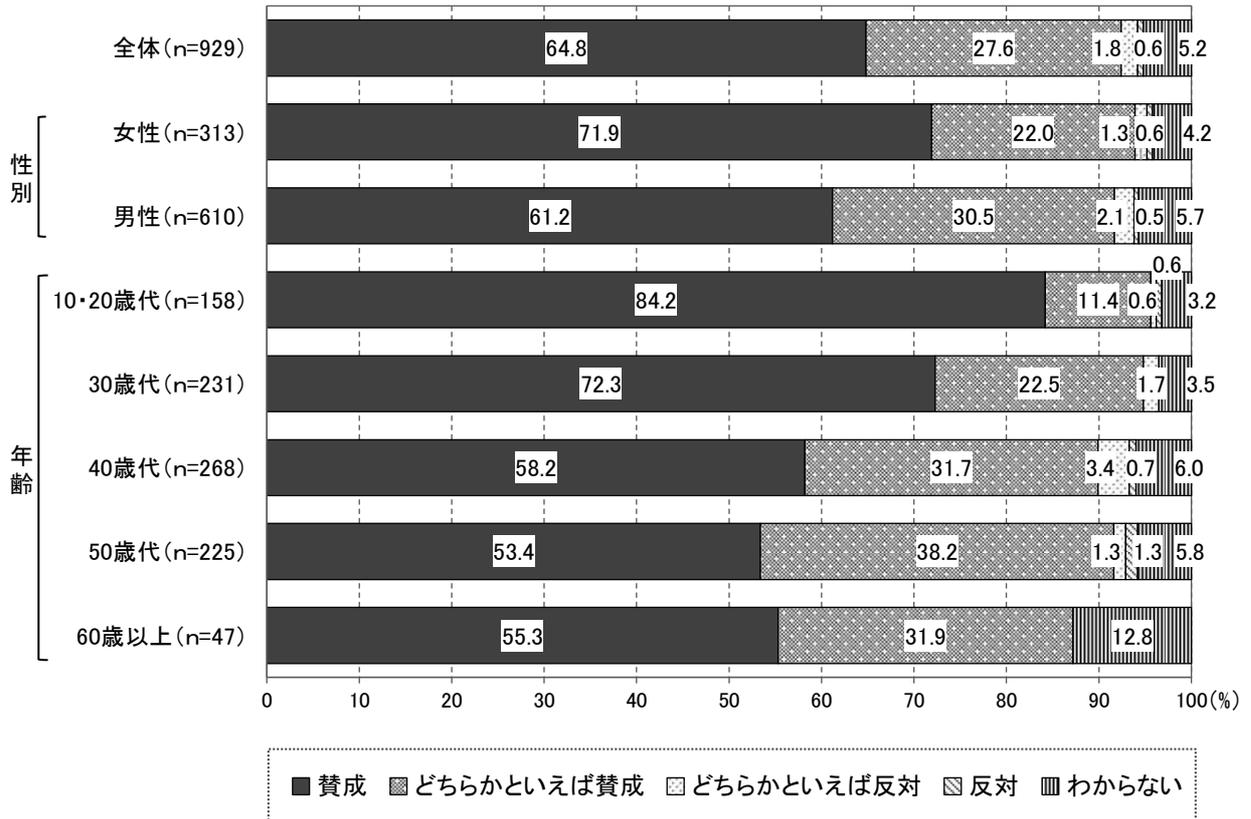
全体では、「ほぼ平等になっている」が83.6%と最も高く、次いで、「わからない」(9.7%)、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」(6.5%)の順となっています。



問 10 あなたは、男性が育児休業や介護休業を取ることをどう思いますか。

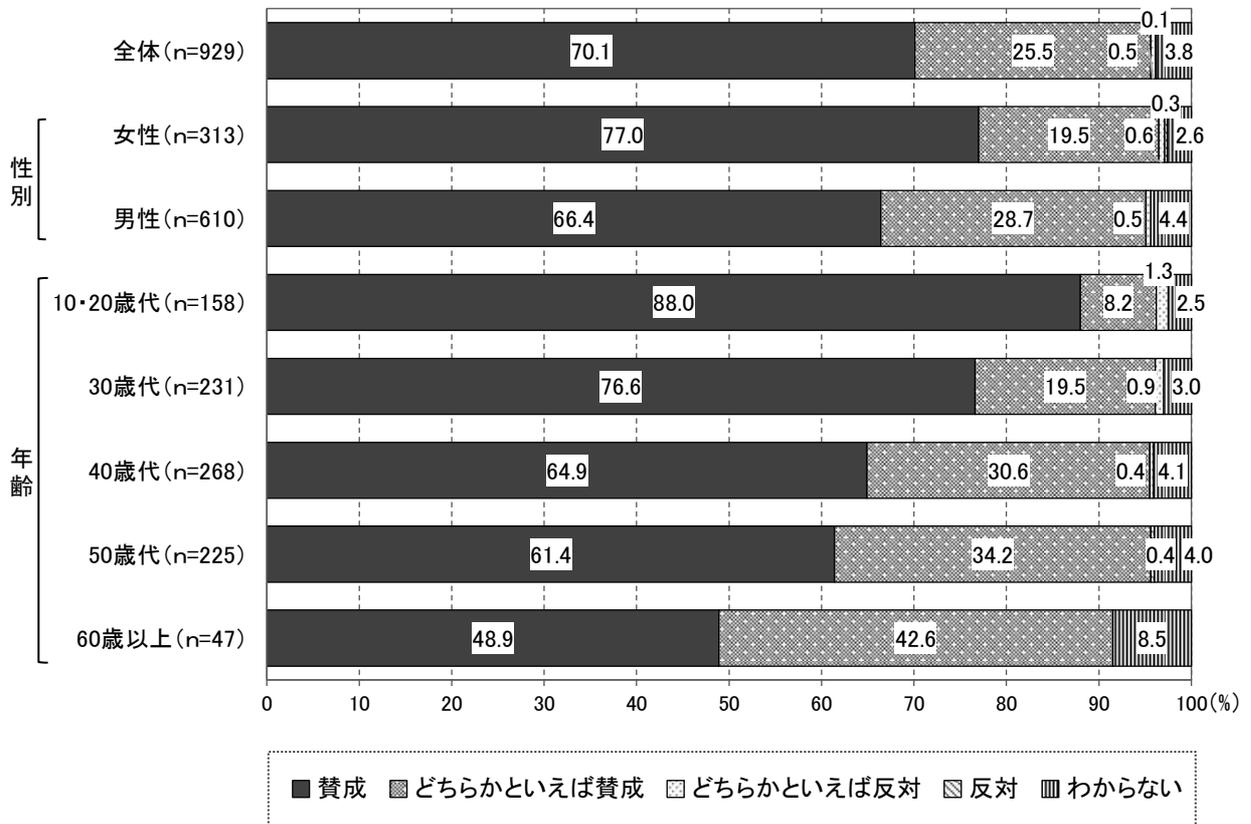
(1) 男性が育児休業を取得すること

全体では、「賛成」が64.8%と最も高く、次いで、「どちらかといえば賛成」(27.6%)、「わからない」(5.2%)の順となっています。



(2) 男性が介護休業を取得すること

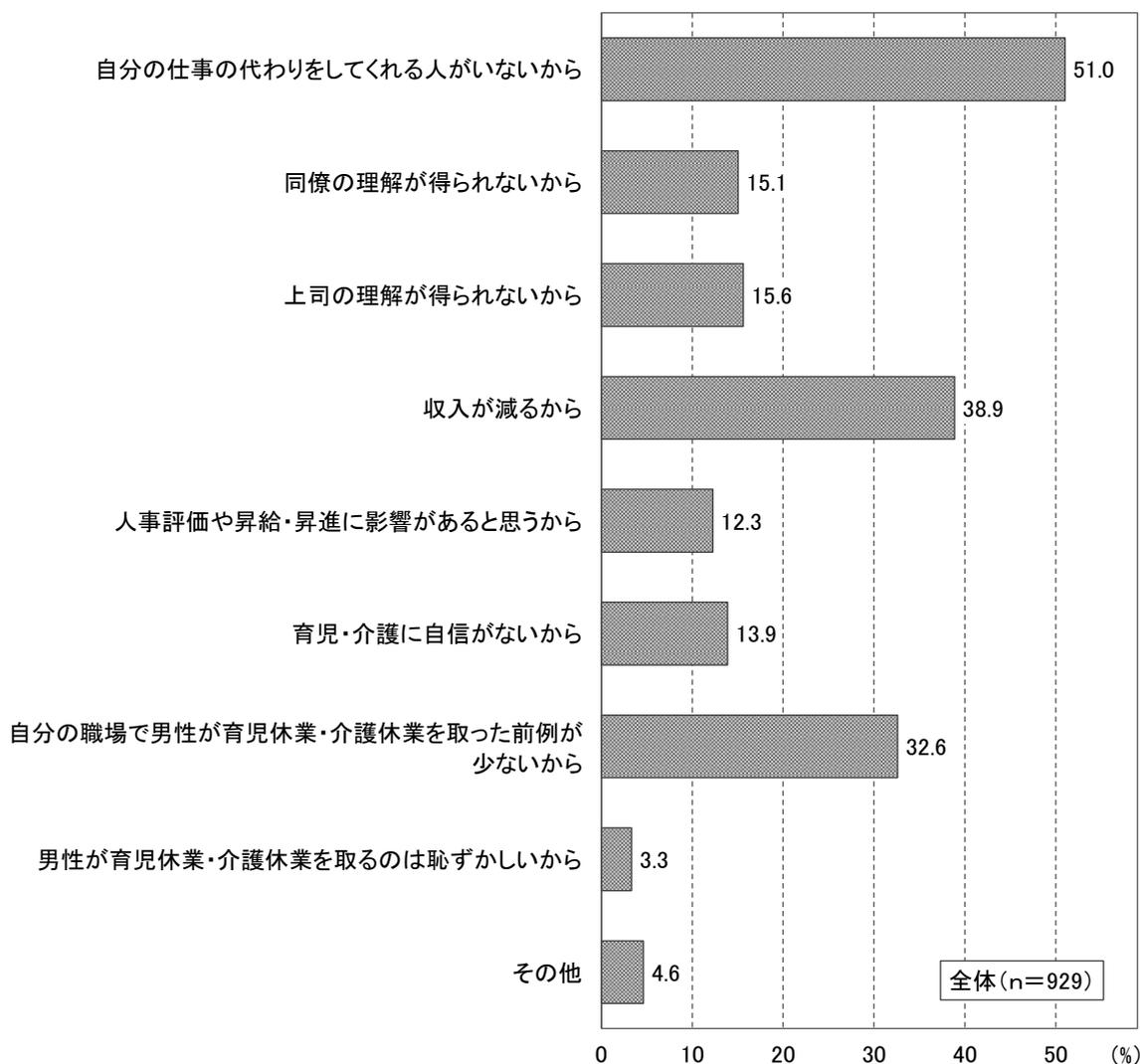
全体では、「賛成」が70.1%と最も高く、次いで、「どちらかといえば賛成」(25.5%)、「わからない」(3.8%)の順となっています。



問 11

一般的に男性が育児休業・介護休業を取ることが進んでいないと言われて
いますが、その理由は何だと思いますか。【複数回答可】

「自分の仕事の代わりにしてくれる人がいないから」が51.0%と最も高く、次いで、「収入が減るから」(38.9%)、「自分の職場で男性が育児休業・介護休業を取った前例が少ないから」(32.6%)の順となっています。



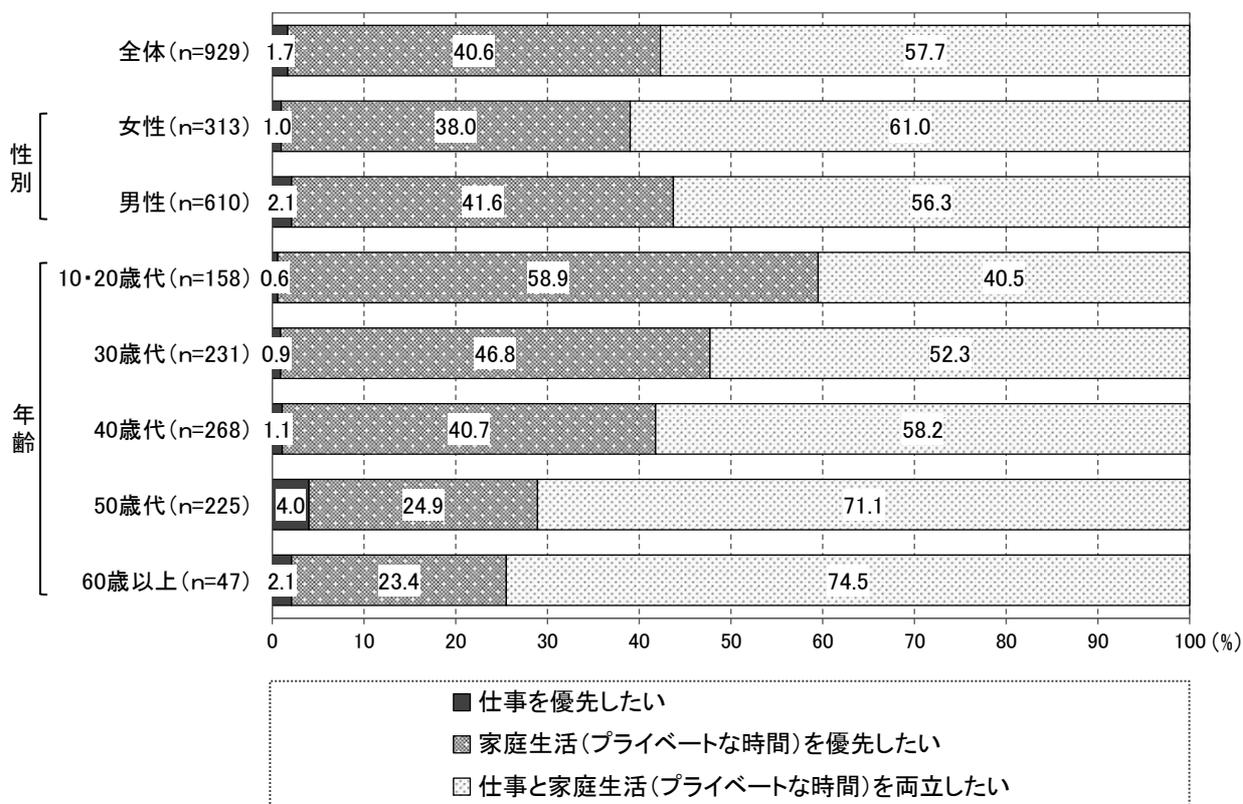
		(n=)	自分の仕事の代わりにしてくれる人がいないから	同僚の理解が得られないから	上司の理解が得られないから	収入が減るから	人事評価や昇給・昇進に影響があると思うから	育児・介護に自信がないから	自分の職場で男性が育児休業・介護休業を取った前例が少ないから	男性が育児休業・介護休業を取るのには恥ずかしいから	その他
全体		929	474 51.0%	140 15.1%	145 15.6%	361 38.9%	114 12.3%	129 13.9%	303 32.6%	31 3.3%	43 4.6%
性別	女性	313	146 46.6%	47 15.0%	52 16.6%	133 42.5%	56 17.9%	44 14.1%	115 36.7%	7 2.2%	16 5.1%
	男性	610	326 53.4%	93 15.2%	92 15.1%	225 36.9%	56 9.2%	85 13.9%	187 30.7%	24 3.9%	25 4.1%
年齢	10・20歳代	158	66 41.8%	21 13.3%	39 24.7%	65 41.1%	28 17.7%	14 8.9%	71 44.9%	5 3.2%	5 3.2%
	30歳代	231	102 44.2%	47 20.3%	46 19.9%	88 38.1%	32 13.9%	23 10.0%	80 34.6%	12 5.2%	6 2.6%
	40歳代	268	149 55.6%	37 13.8%	35 13.1%	102 38.1%	28 10.4%	40 14.9%	79 29.5%	6 2.2%	17 6.3%
	50歳代	225	129 57.3%	29 12.9%	22 9.8%	82 36.4%	21 9.3%	44 19.6%	63 28.0%	5 2.2%	14 6.2%
	60歳以上	47	28 59.6%	6 12.8%	3 6.4%	24 51.1%	5 10.6%	8 17.0%	10 21.3%	3 6.4%	1 2.1%

問 12

日常生活における、「仕事」「家庭生活（プライベートな時間／趣味や学習・地域活動・付き合いなど）」のバランスについて、①あなたの希望する（理想とする）優先度と、②実際の（現実の）優先度をお答えください。

① あなたの希望する（理想とする）優先度

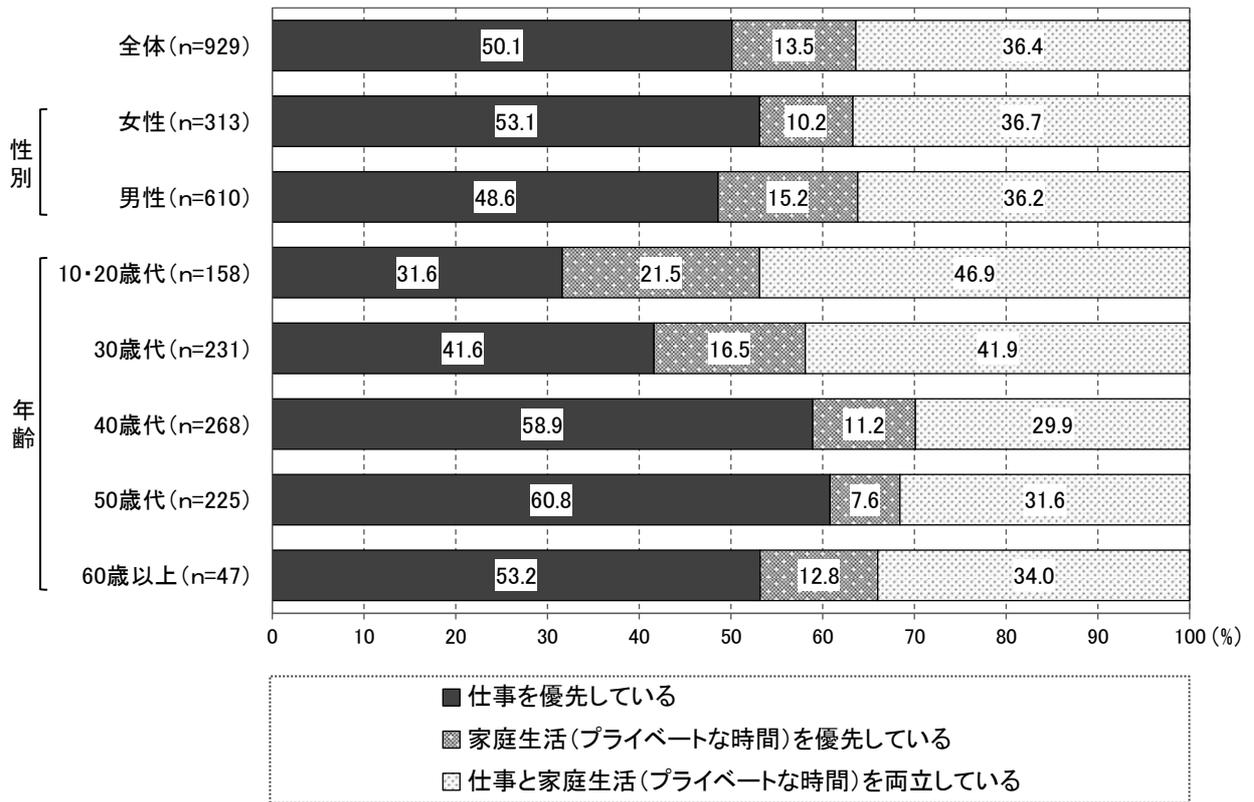
全体では、「仕事と家庭生活（プライベートな時間）を両立したい」が57.7%と最も高く、次いで、「家庭生活（プライベートな時間）を優先したい」（40.6%）、「仕事を優先したい」（1.7%）の順となっています。



② 実際の（現実の）優先度

全体では、「仕事を優先している」が50.1%と最も高く、次いで、「仕事と家庭生活（プライベートな時間）を両立している」（36.4%）、「家庭生活（プライベートな時間）を優先している」（13.5%）の順となっています。

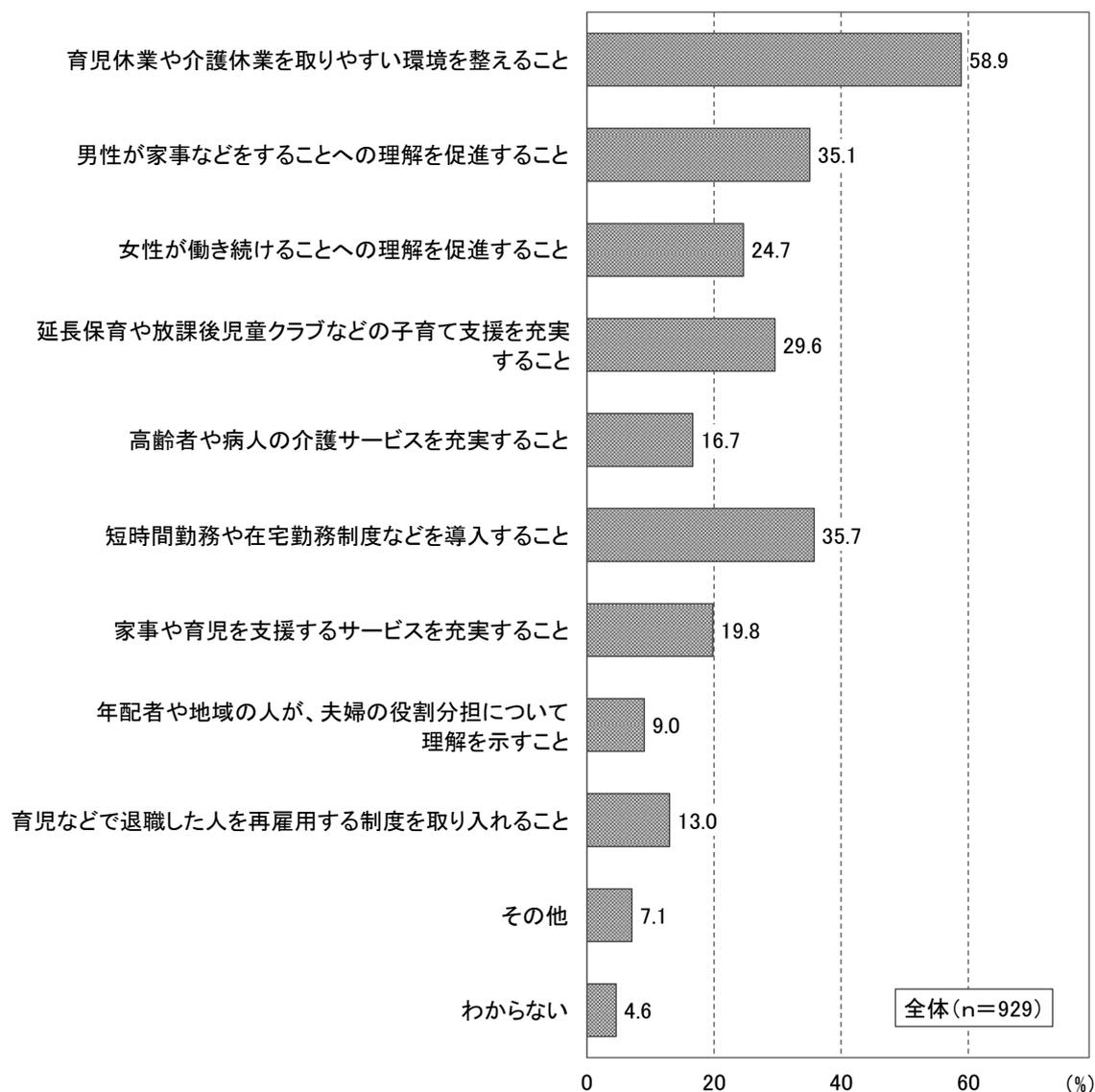
前回調査と比べると、「仕事を優先している」がわずかながら高くなっています。



問 13

男女がともに、「仕事」と「家庭生活（プライベートな時間／趣味や学習・地域活動・付き合いなど）」を両立させるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。【複数回答可】

「育児休業や介護休業を取りやすい環境を整えること」が 58.9%と最も高く、次いで、「短時間勤務や在宅勤務制度などを導入すること」(35.7%)、「男性が家事などをする事への理解を促進すること」(35.1%)の順となっています。

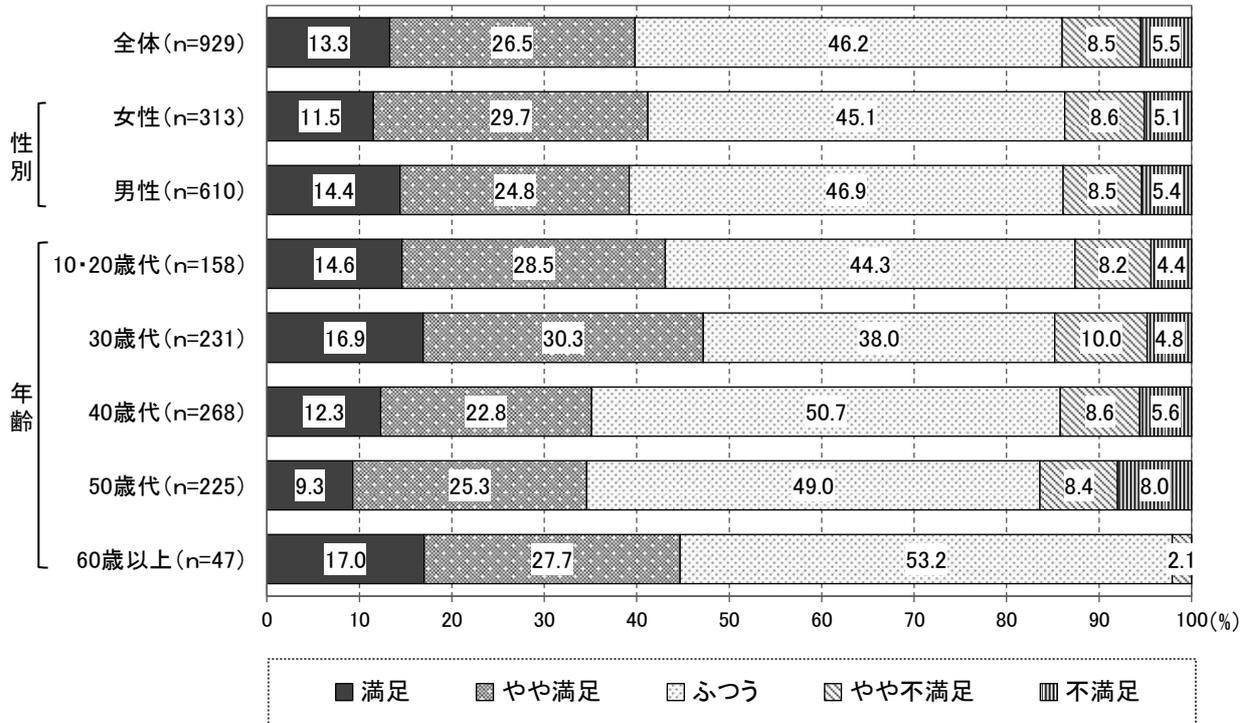


		(n=)	育児休業や介護休業を取りやすい環境を整えること	男性が家事などをするこへの理解を促進すること	女性が働き続けるこへの理解を促進すること	延長保育や放課後児童クラブなどの子育て支援を充実すること	高齢者や病人の介護サービスを充実すること	短時間勤務や在宅勤務制度などを導入すること	家事や育児を支援するサービスを充実すること	年配者や地域の人が、夫婦の役割分担について理解を示すこと	育児などで退職した人を再雇用する制度を取り入れること	その他	わからない
全体		929	547 58.9%	326 35.1%	229 24.7%	275 29.6%	155 16.7%	332 35.7%	184 19.8%	84 9.0%	121 13.0%	66 7.1%	43 4.6%
性別	女性	313	182 58.1%	129 41.2%	72 23.0%	96 30.7%	59 18.8%	132 42.2%	60 19.2%	32 10.2%	52 16.6%	17 5.4%	12 3.8%
	男性	610	361 59.2%	196 32.1%	157 25.7%	175 28.7%	94 15.4%	197 32.3%	124 20.3%	50 8.2%	67 11.0%	49 8.0%	31 5.1%
年齢	10・20歳代	158	108 68.4%	56 35.4%	38 24.1%	48 30.4%	17 10.8%	73 46.2%	27 17.1%	17 10.8%	21 13.3%	7 4.4%	8 5.1%
	30歳代	231	133 57.6%	82 35.5%	48 20.8%	74 32.0%	24 10.4%	92 39.8%	62 26.8%	16 6.9%	37 16.0%	17 7.4%	13 5.6%
	40歳代	268	145 54.1%	97 36.2%	65 24.3%	75 28.0%	41 15.3%	91 34.0%	45 16.8%	29 10.8%	25 9.3%	31 11.6%	8 3.0%
	50歳代	225	130 57.8%	73 32.4%	62 27.6%	67 29.8%	55 24.4%	69 30.7%	42 18.7%	17 7.6%	31 13.8%	11 4.9%	10 4.4%
	60歳以上	47	31 66.0%	18 38.3%	16 34.0%	11 23.4%	18 38.3%	7 14.9%	8 17.0%	5 10.6%	7 14.9%	0 0.0%	4 8.5%

問 14 あなたは、現在の仕事に満足していますか。

全体では、「ふつう」が46.2%と最も高く、次いで、「やや満足」(26.5%)、「満足」(13.3%)の順となっています。

前回調査と比べると、「ふつう」が高くなっています。

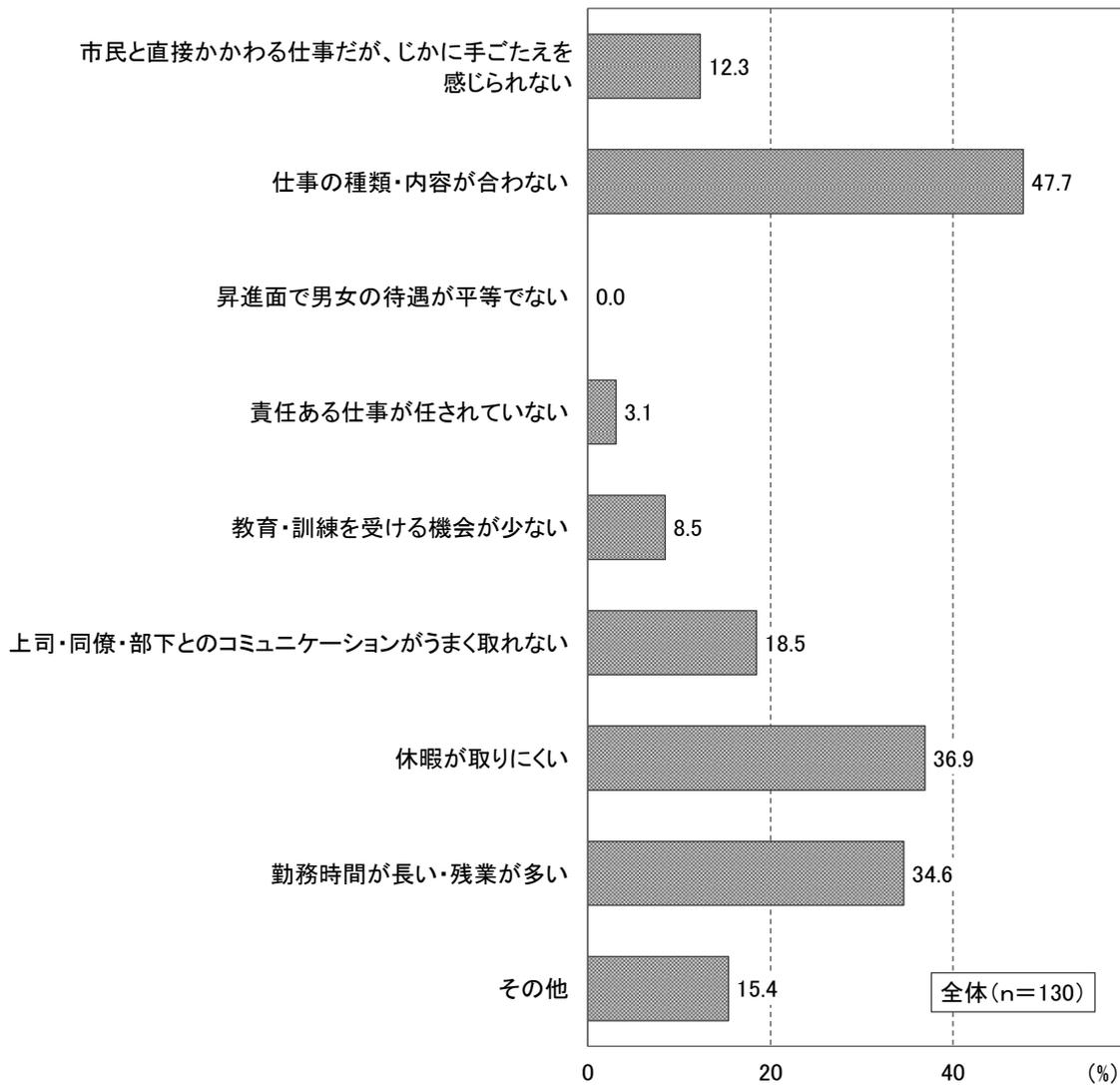


問 14-1

◆問 14 で、「4. やや不満足」または「5. 不満足」と回答した方。
 そう思う理由は何ですか。【複数回答可】

「仕事の種類・内容が合わない」が 47.7%と最も高く、次いで、「休暇が取りにくい」(36.9%)、「勤務時間が長い・残業が多い」(34.6%)の順となっています。

前回調査と比べると、「休暇が取りにくい」が 9.1 ポイント高くなっています。

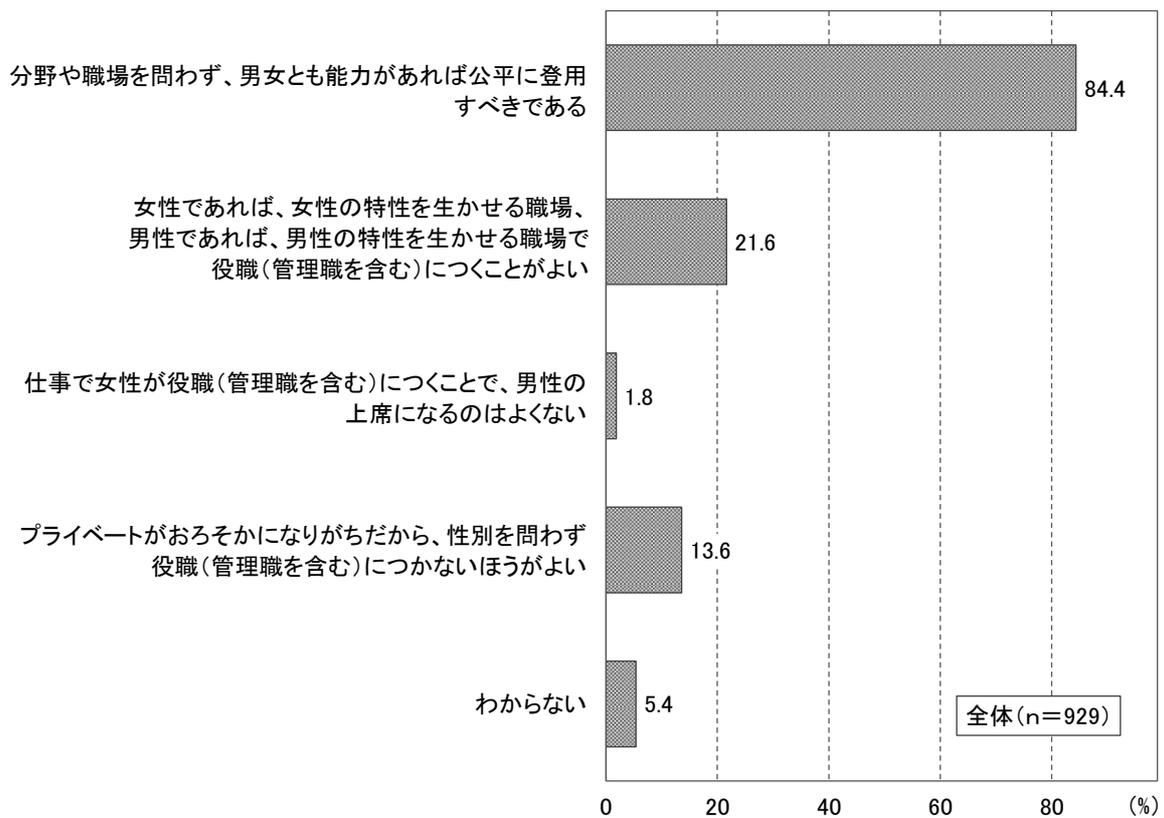


		(n=)	市民と直接かかわる仕事だが、じかに手ごたえを感じられない	仕事の種類・内容が合わない	昇進面で男女の待遇が平等でない	責任ある仕事が行われていない	教育・訓練を受ける機会が少ない	上司・同僚・部下とのコミュニケーションがうまく取れない	休暇が取りにくい	勤務時間が長い・残業が多い	その他
全体		130	16 12.3%	62 47.7%	0 0.0%	4 3.1%	11 8.5%	24 18.5%	48 36.9%	45 34.6%	20 15.4%
性別	女性	43	4 9.3%	17 39.5%	0 0.0%	1 2.3%	5 11.6%	15 34.9%	14 32.6%	12 27.9%	6 14.0%
	男性	85	12 14.1%	45 52.9%	0 0.0%	3 3.5%	6 7.1%	9 10.6%	32 37.6%	31 36.5%	14 16.5%
年齢	10・20歳代	20	3 15.0%	10 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.0%	5 25.0%	5 25.0%	8 40.0%	5 25.0%
	30歳代	34	3 8.8%	11 32.4%	0 0.0%	2 5.9%	8 23.5%	4 11.8%	13 38.2%	12 35.3%	6 17.6%
	40歳代	38	4 10.5%	22 57.9%	0 0.0%	2 5.3%	1 2.6%	4 10.5%	17 44.7%	11 28.9%	5 13.2%
	50歳代	37	6 16.2%	19 51.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 27.0%	13 35.1%	14 37.8%	4 10.8%
	60歳以上	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

問 15

あなたは、役職（管理職を含む）につくことについて、どのように考えていますか。【複数回答可】

「分野や職場を問わず、男女とも能力があれば公平に登用すべきである」が84.4%と最も高く、次いで、「女性であれば、女性の特性を生かせる職場、男性であれば、男性の特性を生かせる職場で役職（管理職を含む）につくことがよい」（21.6%）、「プライベートがおろそかになりがちだから、性別を問わず役職（管理職を含む）につかないほうがよい」（13.6%）の順となっています。



			分野や職場を問わず、男女とも能力があれば公平に登用すべきである	女性であれば、女性の特性を生かせる職場（管理職を含む）につくことがよい 生かせる職場で役職（管理職を含む）につくことがよい	仕事で女性が役職（管理職を含む）につくことで、男性の上席になるのはよくない	プライベートがおろそかになりがちだから、性別を問わず役職（管理職を含む）につかないほうがよい	わからない
		(n=)					
全体		929	784 84.4%	201 21.6%	17 1.8%	126 13.6%	50 5.4%
性別	女性	313	247 78.9%	54 17.3%	6 1.9%	41 13.1%	28 8.9%
	男性	610	532 87.2%	145 23.8%	11 1.8%	83 13.6%	21 3.4%
年齢	10・20歳代	158	132 83.5%	29 18.4%	5 3.2%	21 13.3%	10 6.3%
	30歳代	231	194 84.0%	54 23.4%	4 1.7%	41 17.7%	12 5.2%
	40歳代	268	226 84.3%	53 19.8%	4 1.5%	36 13.4%	13 4.9%
	50歳代	225	191 84.9%	49 21.8%	3 1.3%	24 10.7%	14 6.2%
	60歳以上	47	41 87.2%	16 34.0%	1 2.1%	4 8.5%	1 2.1%

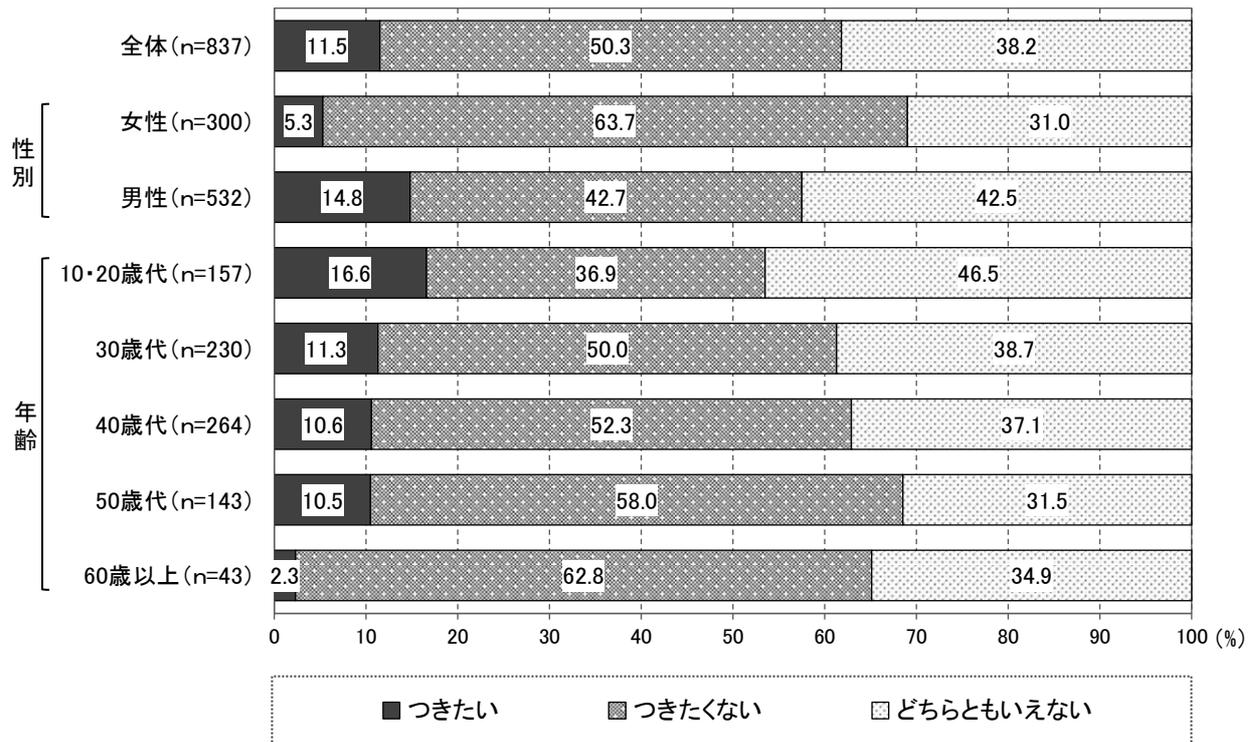
問 16

◆現在、「管理職」以外の人のみ。

あなたは、今後、役職（管理職を含む）につきたいと思いますか。

全体では、「つきたくない」が50.3%と最も高く、次いで、「どちらともいえない」(38.2%)、「つきたい」(11.5%)の順となっています。

性年齢別では、30歳代以上の男女とも「つきたくない」が最も高くなっています。

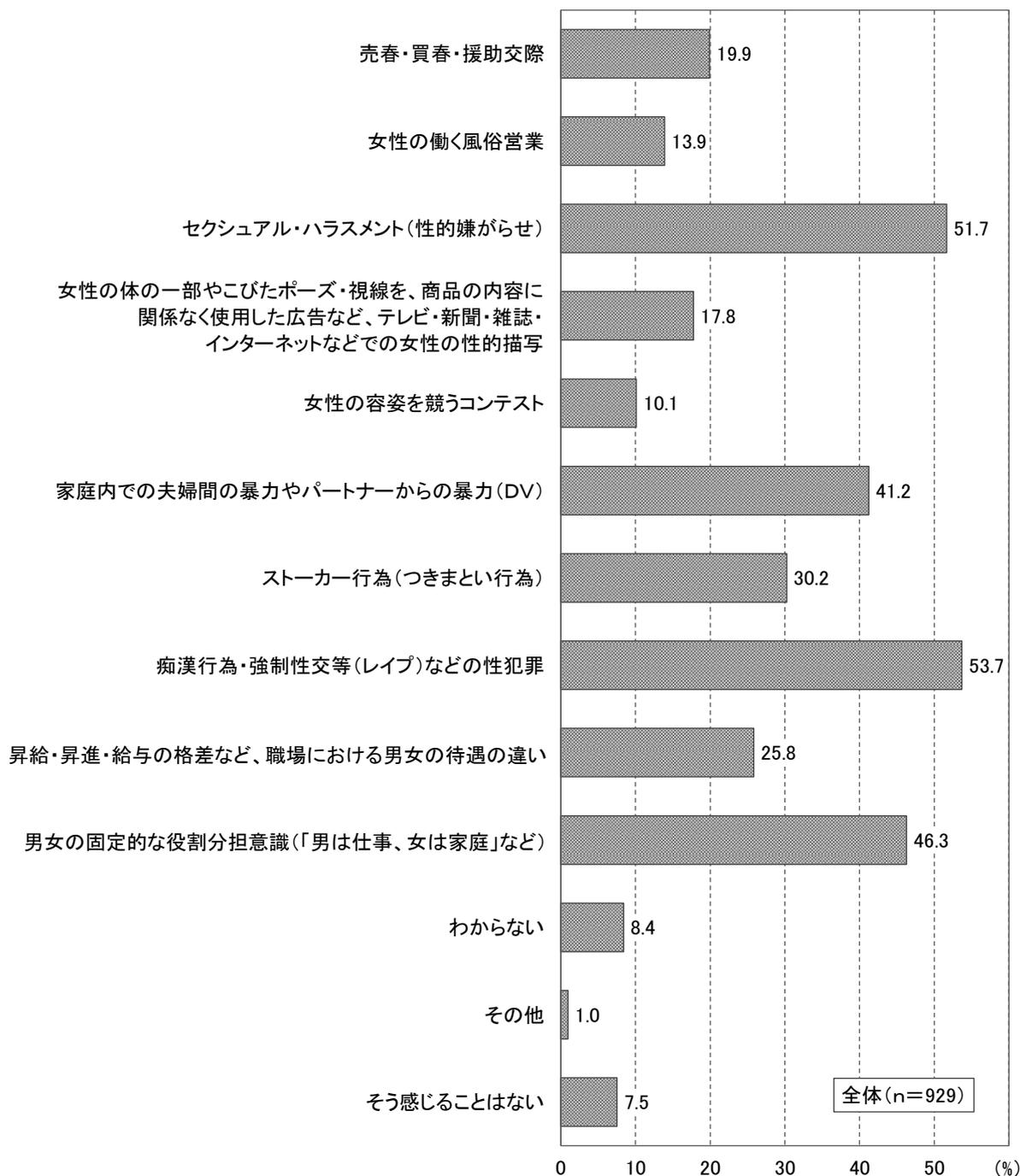


5. 人権尊重について

問 17

女性の人権が尊重されていないと感じることはどのようなことですか。
【複数回答可】

「痴漢行為・強制的性交等（レイプ）などの性犯罪」が53.7%と最も高く、次いで、「セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）」（51.7%）、「男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）」（46.3%）の順となっています。



		(n=)	売春・買春・援助交際	女性の働く風俗営業	セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）	女性の体の一部やこびたポーズ・視線を、商品の内容に 関係なく使用した広告など、テレビ・新聞・雑誌・ インターネットなどでの女性の性的描写	女性の容姿を競うコンテスト	家庭内での夫婦間の暴力やパートナーからの暴力（DV）	ストーカー行為（つきまとい行為）	痴漢行為・強制性交等（レイプ）などの性犯罪	昇給・昇進・給与の格差など、職場における男女の待遇の違い	男女の固定的な役割分担意識（「男は仕事、女は家庭」など）	わからない	その他	そう感じることはない
全体		929	185 19.9%	129 13.9%	480 51.7%	165 17.8%	94 10.1%	383 41.2%	281 30.2%	499 53.7%	240 25.8%	430 46.3%	78 8.4%	9 1.0%	70 7.5%
性別	女性	313	88 28.1%	65 20.8%	181 57.8%	76 24.3%	48 15.3%	156 49.8%	101 32.3%	190 60.7%	90 28.8%	181 57.8%	15 4.8%	5 1.6%	11 3.5%
	男性	610	95 15.6%	63 10.3%	295 48.4%	88 14.4%	45 7.4%	224 36.7%	177 29.0%	306 50.2%	149 24.4%	247 40.5%	63 10.3%	4 0.7%	57 9.3%
年齢	10・20歳代	158	33 20.9%	19 12.0%	83 52.5%	26 16.5%	14 8.9%	62 39.2%	53 33.5%	84 53.2%	51 32.3%	74 46.8%	13 8.2%	2 1.3%	8 5.1%
	30歳代	231	37 16.0%	21 9.1%	105 45.5%	24 10.4%	19 8.2%	78 33.8%	65 28.1%	108 46.8%	57 24.7%	107 46.3%	22 9.5%	0 0.0%	23 10.0%
	40歳代	268	43 16.0%	30 11.2%	134 50.0%	40 14.9%	25 9.3%	112 41.8%	65 24.3%	143 53.4%	67 25.0%	118 44.0%	31 11.6%	6 2.2%	22 8.2%
	50歳代	225	58 25.8%	49 21.8%	130 57.8%	65 28.9%	30 13.3%	107 47.6%	83 36.9%	138 61.3%	53 23.6%	106 47.1%	9 4.0%	1 0.4%	16 7.1%
	60歳以上	47	14 29.8%	10 21.3%	28 59.6%	10 21.3%	6 12.8%	24 51.1%	15 31.9%	26 55.3%	12 25.5%	25 53.2%	3 6.4%	0 0.0%	1 2.1%

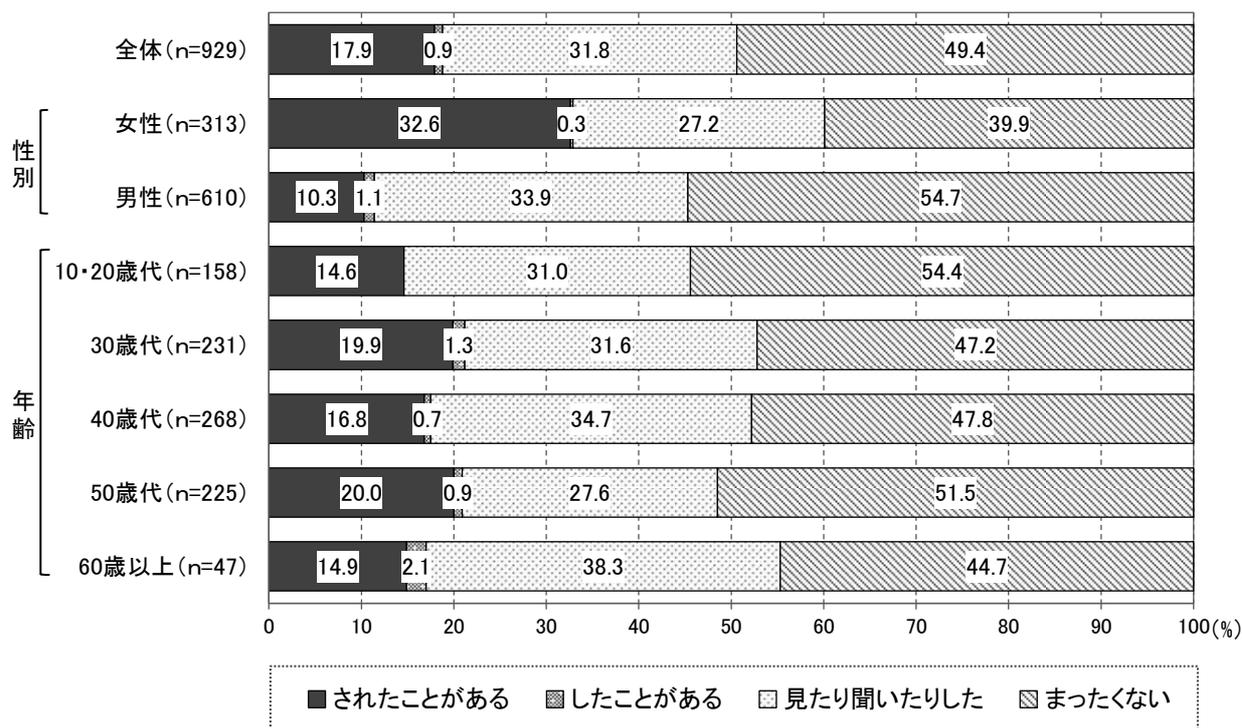
問 18

これまでにセクシュアル・ハラスメント行為(性的嫌がらせ)をしたり、されたり、見聞きしたことがありますか。

(1) 恋愛や結婚についてしつこく聞かれた

全体では、「まったくない」が49.4%と最も高く、次いで、「見たり聞いたりした」(31.8%)、「されたことがある」(17.9%)の順となっています。

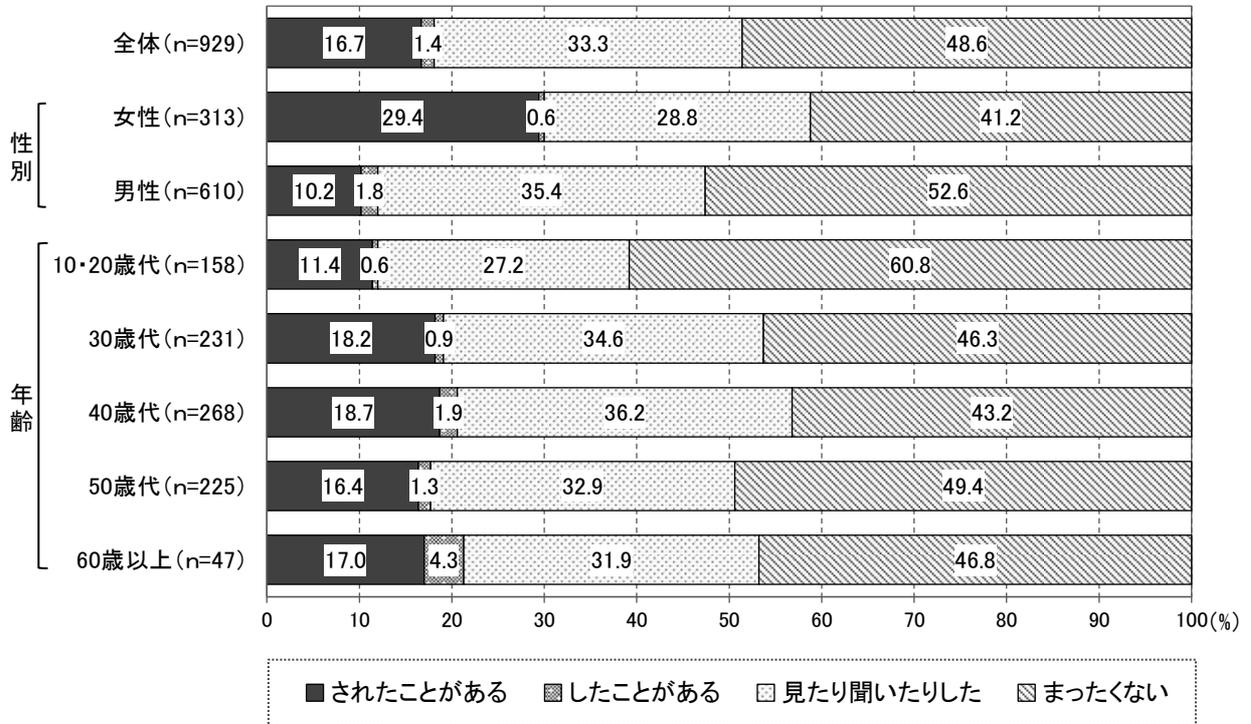
性年齢別では、30歳代女性で「されたことがある」が最も高くなっています。



(2) 年齢や容姿のことでからかわれた

全体では、「まったくない」が48.6%と最も高く、次いで、「見たり聞いたりした」(33.3%)、「されたことがある」(16.7%)の順となっています。

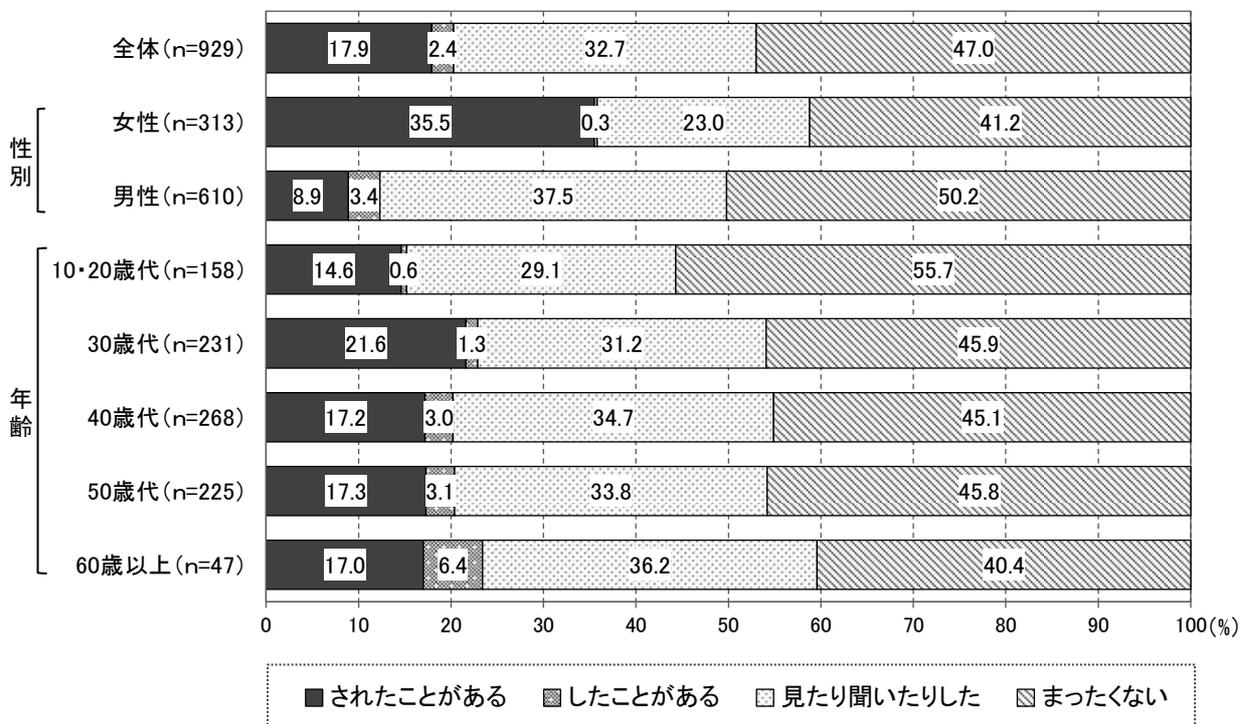
性年齢別では、40歳代女性で「されたことがある」が最も高くなっています。



(3) 性的な冗談を言われたり、質問をされたりした

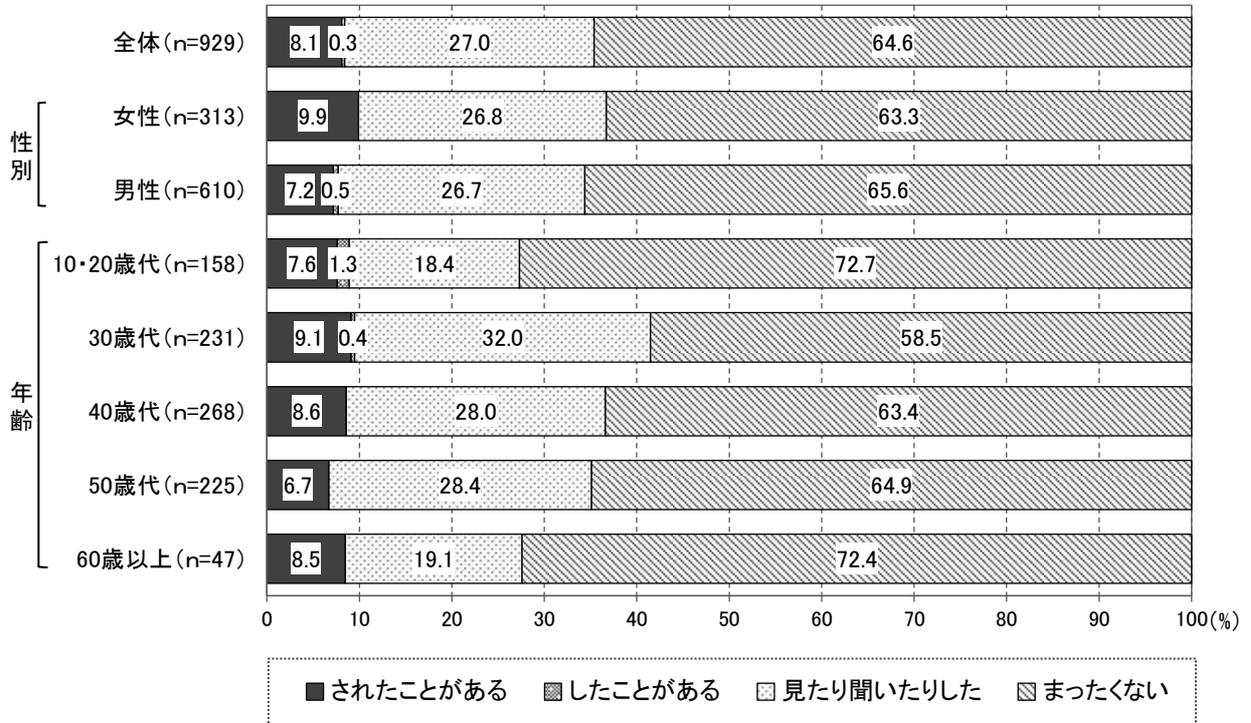
全体では、「まったくない」が47.0%と最も高く、次いで、「見たり聞いたりした」(32.7%)、「されたことがある」(17.9%)の順となっています。

性年齢別では、30歳代女性で「されたことがある」が最も高くなっています。



(4) 異性関係が派手など、性的な噂を流された

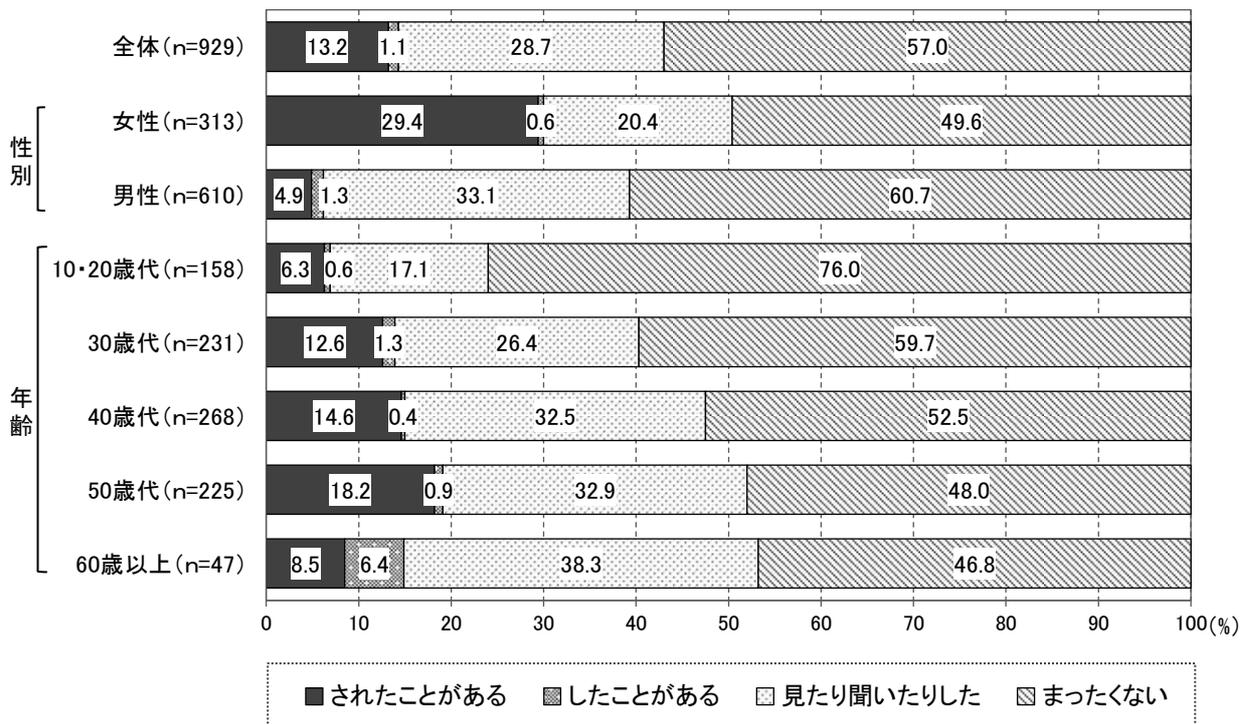
全体では、「まったくない」が64.6%と最も高く、次いで、「見たり聞いたりした」(27.0%)、「されたことがある」(8.1%)の順となっています。



(5) 宴会でお酌やデュエットを強要された

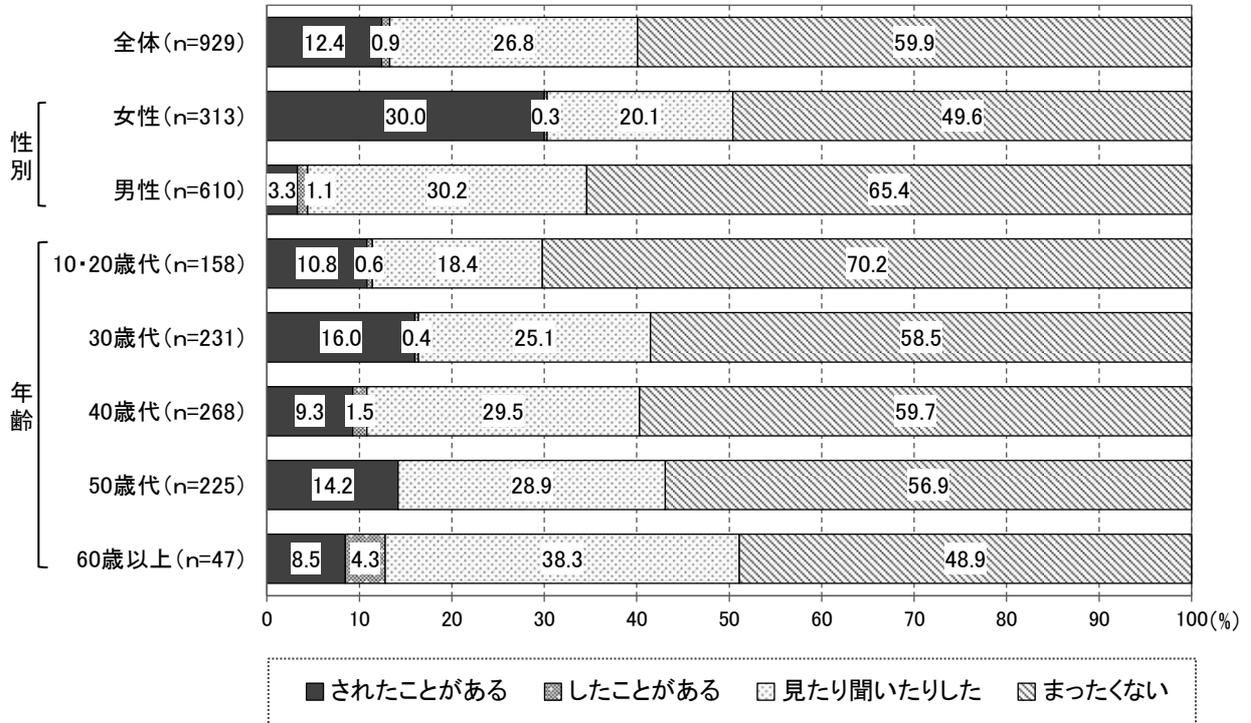
全体では、「まったくない」が57.0%と最も高く、次いで、「見たり聞いたりした」(28.7%)、「されたことがある」(13.2%)の順となっています。

性年齢別では、40～50歳代女性で「されたことがある」が最も高くなっています。



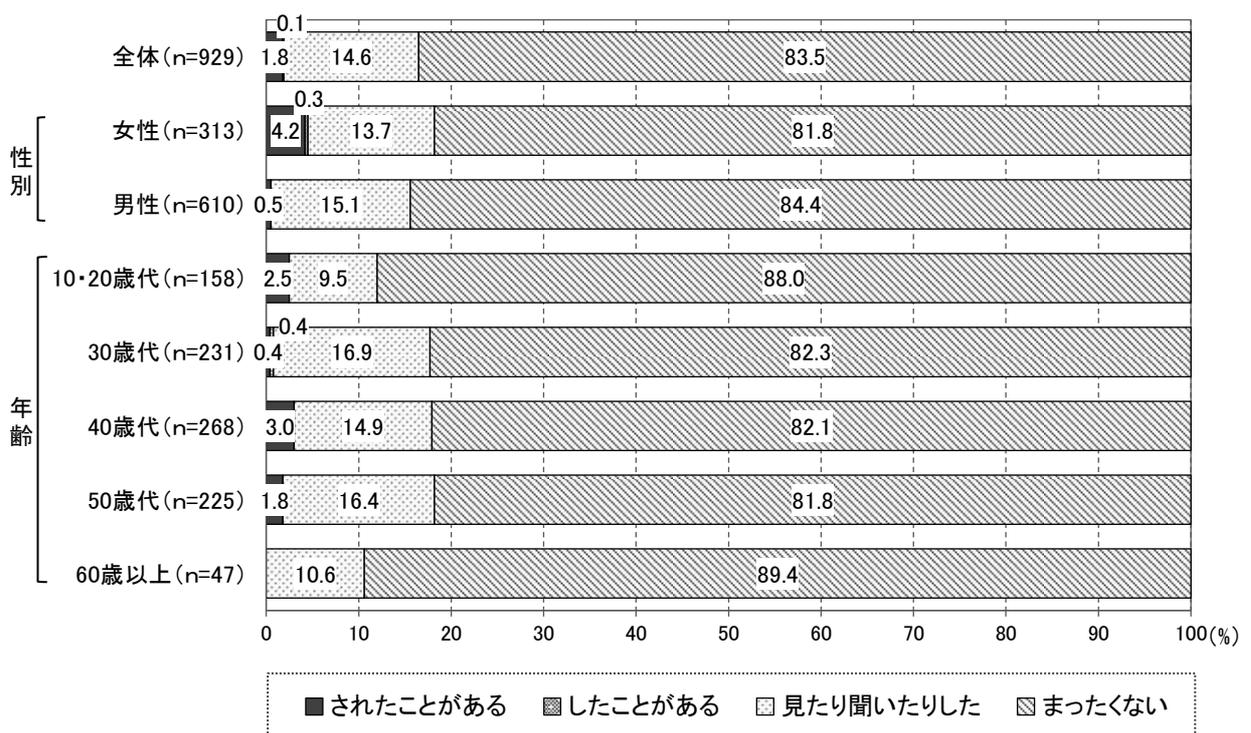
(6) 不必要に身体を触られたり、抱きつかれたりした

全体では、「まったくない」が59.9%と最も高く、次いで、「見たり聞いたりした」(26.8%)、「されたことがある」(12.4%)の順となっています。



(7) 地位や権限を利用して、しつこく誘ったり性的な関係を迫られたりした

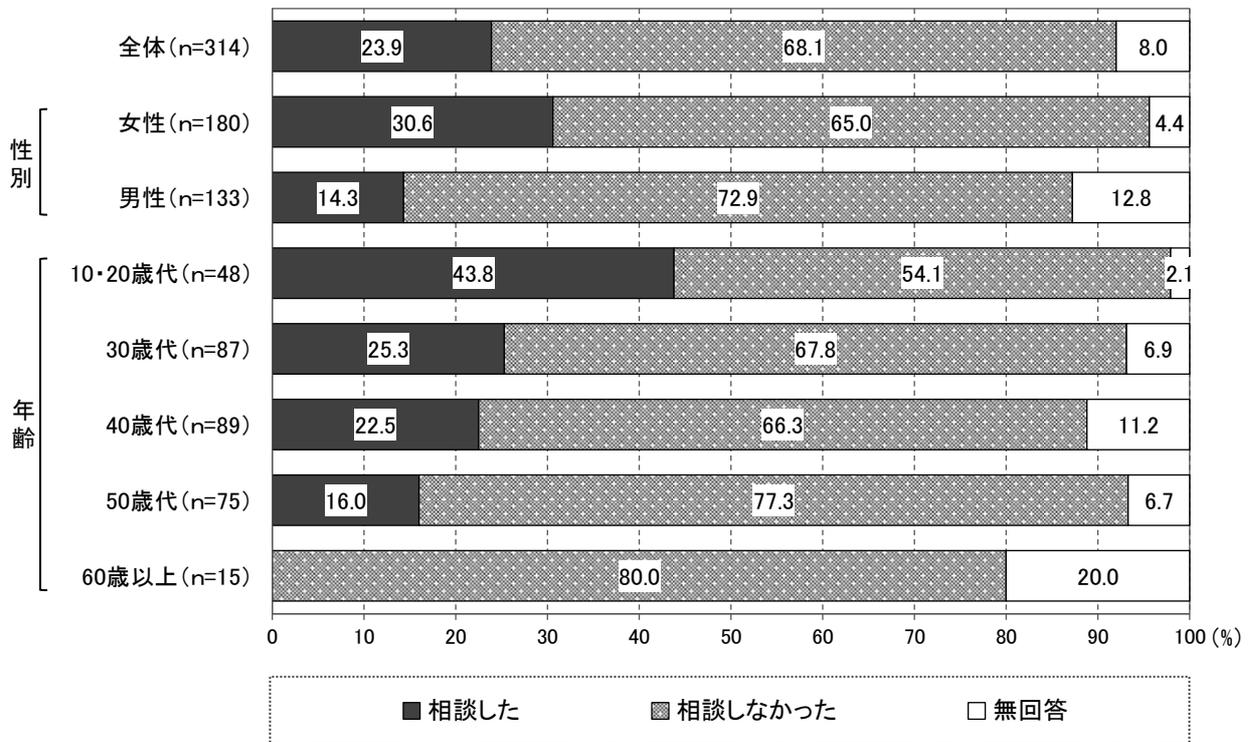
全体では、「まったくない」が83.5%と最も高く、次いで、「見たり聞いたりした」(14.6%)、「されたことがある」(1.8%)の順となっています。



問 18-1

◆問 18 で1 つでも「されたことがある」と回答した方。
そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。

全体では、「相談しなかった」が 68.1%と高く、「相談した」が 23.9%となっています。
前回調査と比べると、全体で「相談した」が高くなっています。

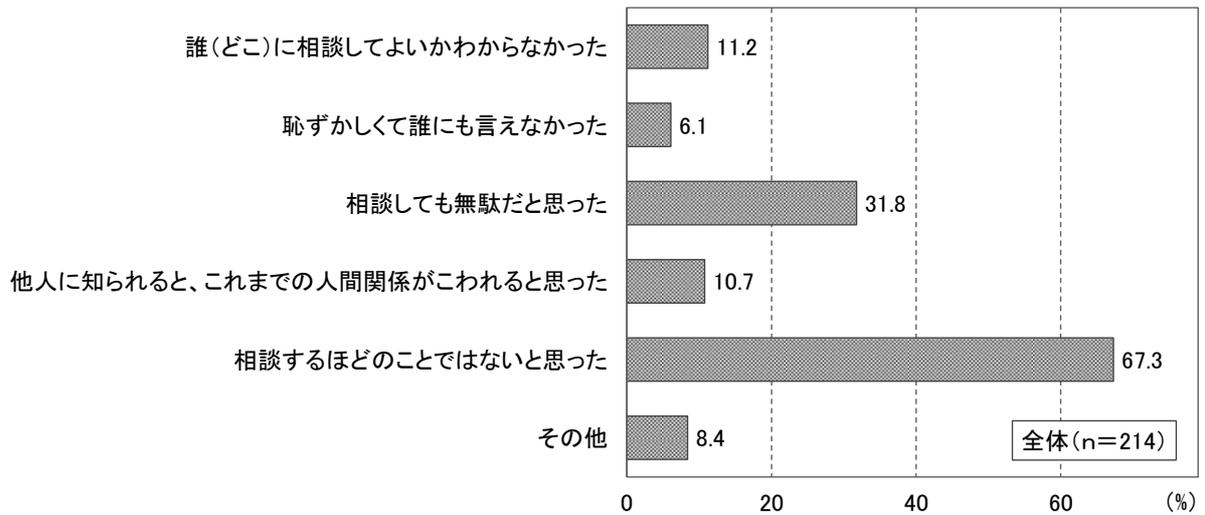


問 18-2

◆問 18-1 で、「2. 相談しなかった」と回答した方。
 相談しなかった理由はなぜですか。【複数回答可】

「相談するほどのことではないと思った」が67.3%と最も高く、次いで、「相談しても無駄だと思った」(31.8%)、「誰(どこ)に相談してよいかわからなかった」(11.2%)の順となっています。

前回調査とは変わりありません。

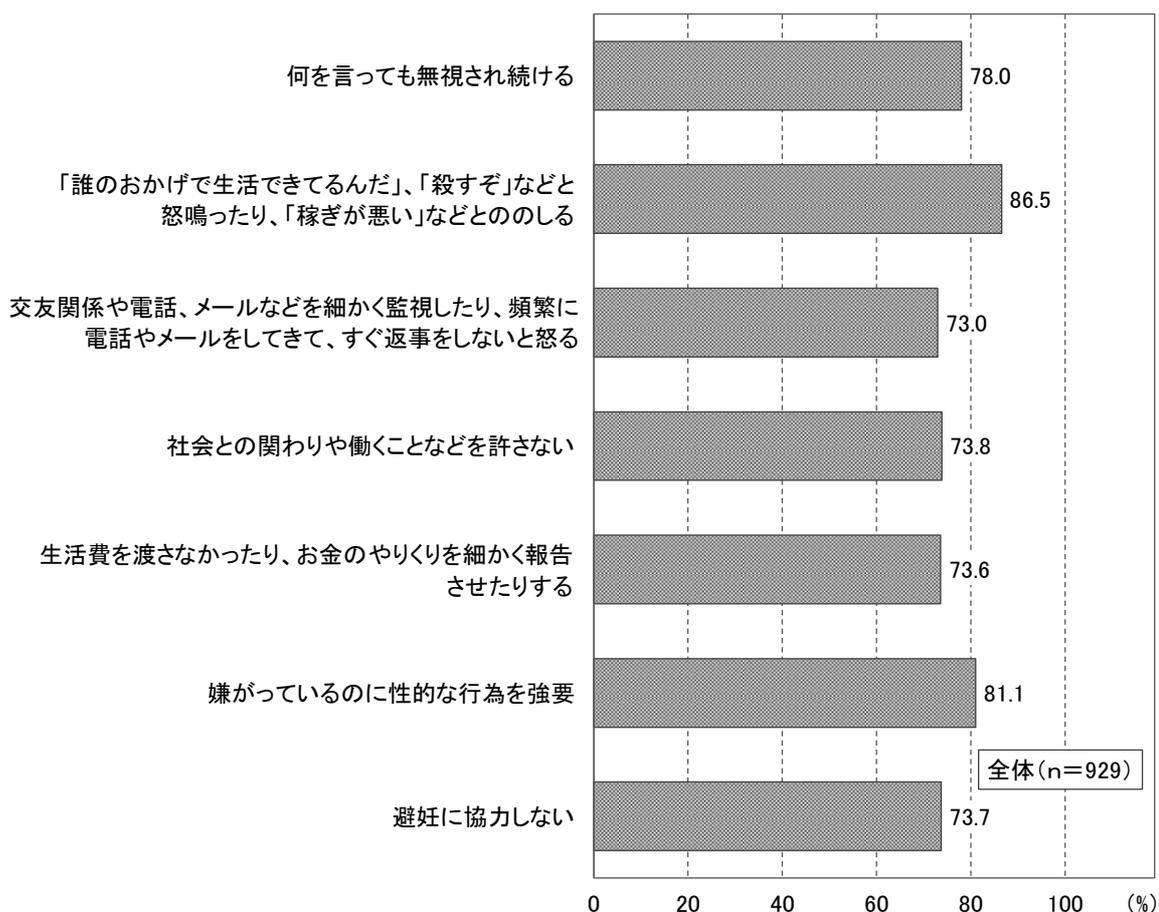


		(n=)	よ い か ど こ に な か た た	恥 ず か し く て 誰 に も	相 談 し て も 無 駄 だ と	が こ れ ま で の 人 間 関 係	他 人 に 知 ら れ る こ と	相 談 す る ほ ど の こ と	そ の 他
全体		214	24 11.2%	13 6.1%	68 31.8%	23 10.7%	144 67.3%	18 8.4%	
性別	女性	117	16 13.7%	8 6.8%	42 35.9%	14 12.0%	74 63.2%	10 8.5%	
	男性	97	8 8.2%	5 5.2%	26 26.8%	9 9.3%	70 72.2%	8 8.2%	
年齢	10・20歳代	26	3 11.5%	3 11.5%	10 38.5%	3 11.5%	18 69.2%	1 3.8%	
	30歳代	59	4 6.8%	7 11.9%	16 27.1%	9 15.3%	45 76.3%	4 6.8%	
	40歳代	59	9 15.3%	2 3.4%	21 35.6%	6 10.2%	34 57.6%	8 13.6%	
	50歳代	58	8 13.8%	1 1.7%	18 31.0%	3 5.2%	38 65.5%	5 8.6%	
	60歳以上	12	0 0.0%	0 0.0%	3 25.0%	2 16.7%	9 75.0%	0 0.0%	

問 19

夫婦や恋人同士などの親しい間柄で、暴力だと感じるのは次のどのような行為ですか。【複数回答可】

「誰のおかげで生活できてるんだ」、「殺すぞ」などと怒鳴ったり、「稼ぎが悪い」などとののしる」が 86.5%と最も高く、次いで、「嫌がっているのに性的な行為を強要」(81.1%)、「何を言っても無視され続ける」(78.0%)の順となっています。



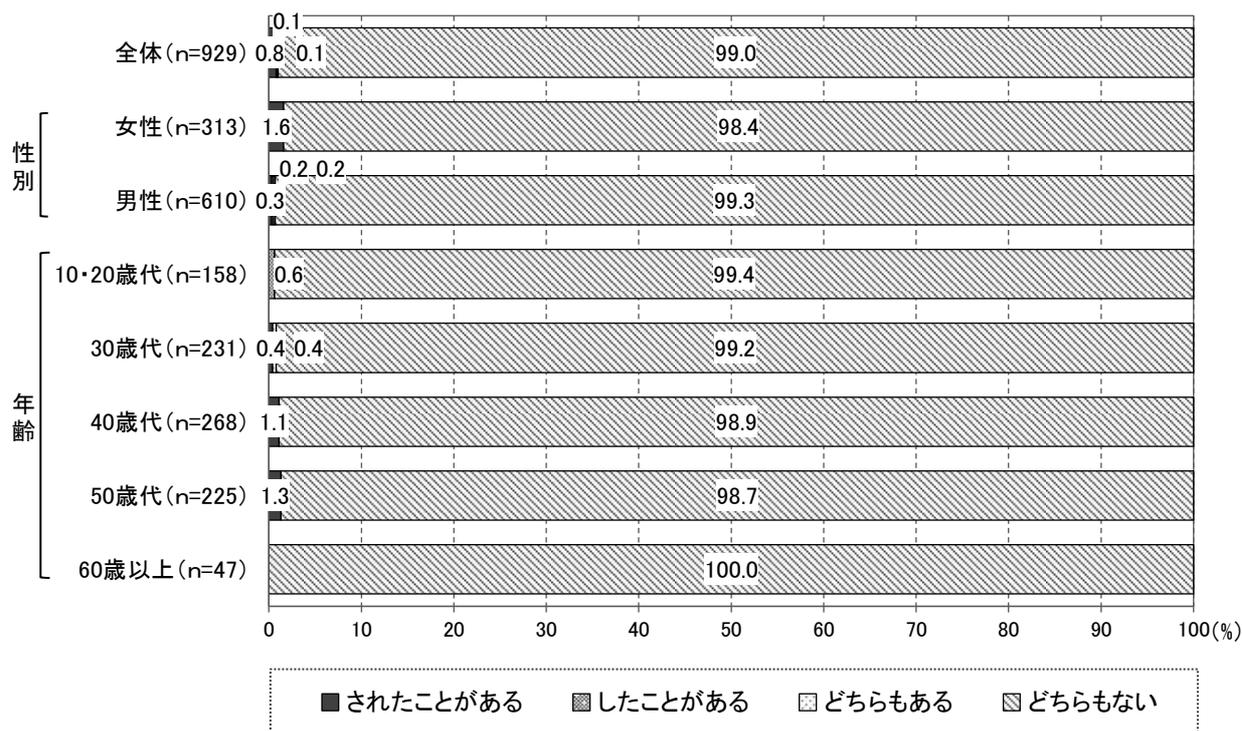
		(n=)	何を言っても無視され続ける	「誰のおかげで生活できてるんだ」「稼ぎが悪い」「殺すぞ」などの怒鳴ったり、「稼ぎが悪い」「殺すぞ」などの怒鳴ったり、	交友関係や電話、メールなどを細かく監視したり、頻繁に電話やメールをしてきて、すぐ返事をしないと怒る	社会との関わりや働くことなどを許さない	生活費を渡さなかったり、お金のやりくりを細かく報告させたりする	嫌がっているのに性的な行為を強要	避妊に協力しない
全体		929	725 78.0%	804 86.5%	678 73.0%	686 73.8%	684 73.6%	753 81.1%	685 73.7%
性別	女性	313	260 83.1%	289 92.3%	261 83.4%	266 85.0%	257 82.1%	280 89.5%	263 84.0%
	男性	610	460 75.4%	509 83.4%	413 67.7%	415 68.0%	422 69.2%	468 76.7%	418 68.5%
年齢	10・20歳代	158	121 76.6%	145 91.8%	118 74.7%	126 79.7%	115 72.8%	135 85.4%	127 80.4%
	30歳代	231	193 83.5%	199 86.1%	175 75.8%	167 72.3%	174 75.3%	184 79.7%	178 77.1%
	40歳代	268	216 80.6%	232 86.6%	190 70.9%	200 74.6%	201 75.0%	220 82.1%	201 75.0%
	50歳代	225	165 73.3%	195 86.7%	162 72.0%	168 74.7%	165 73.3%	177 78.7%	156 69.3%
	60歳以上	47	30 63.8%	33 70.2%	33 70.2%	25 53.2%	29 61.7%	37 78.7%	23 48.9%

問 20

夫婦や恋人同士などの親しい間柄で、今までに次のようなことをしたり、されたりしたことがありますか。

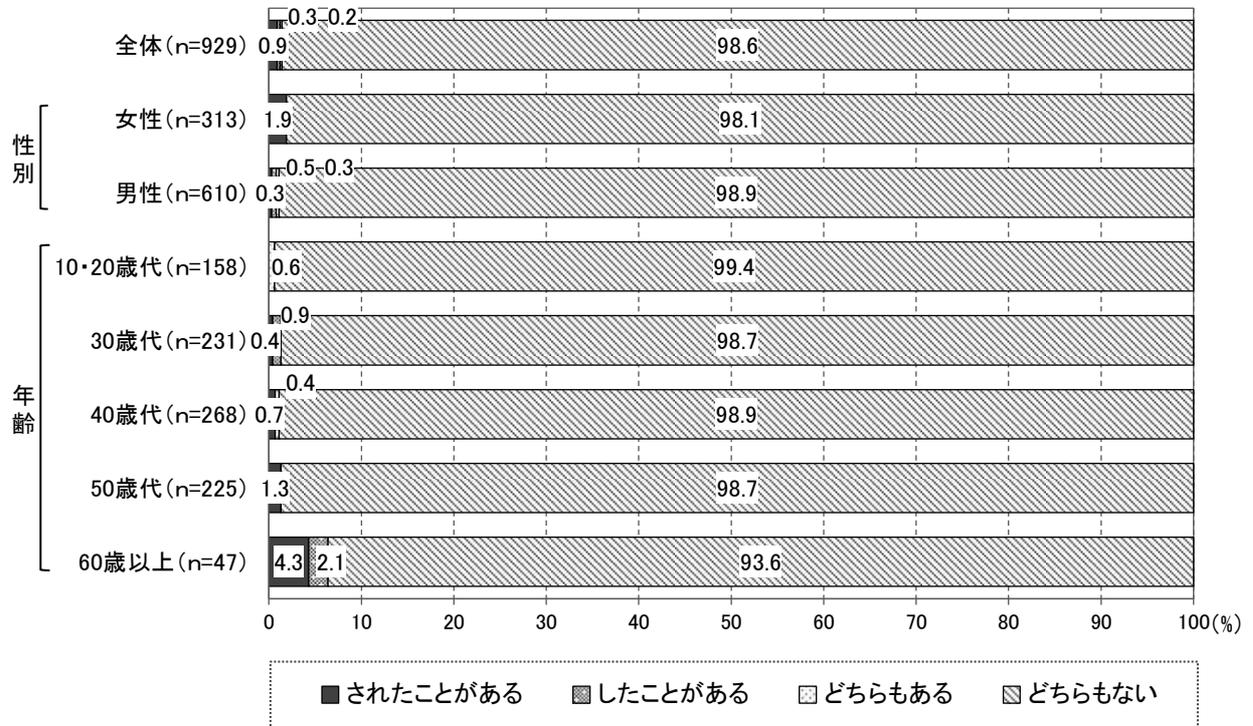
(1) 命の危険を感じるほどの暴力

全体では、「どちらもない」が99.0%と最も高く、次いで、「されたことがある」(0.8%)、「したことがある」(0.1%)の順となっています。



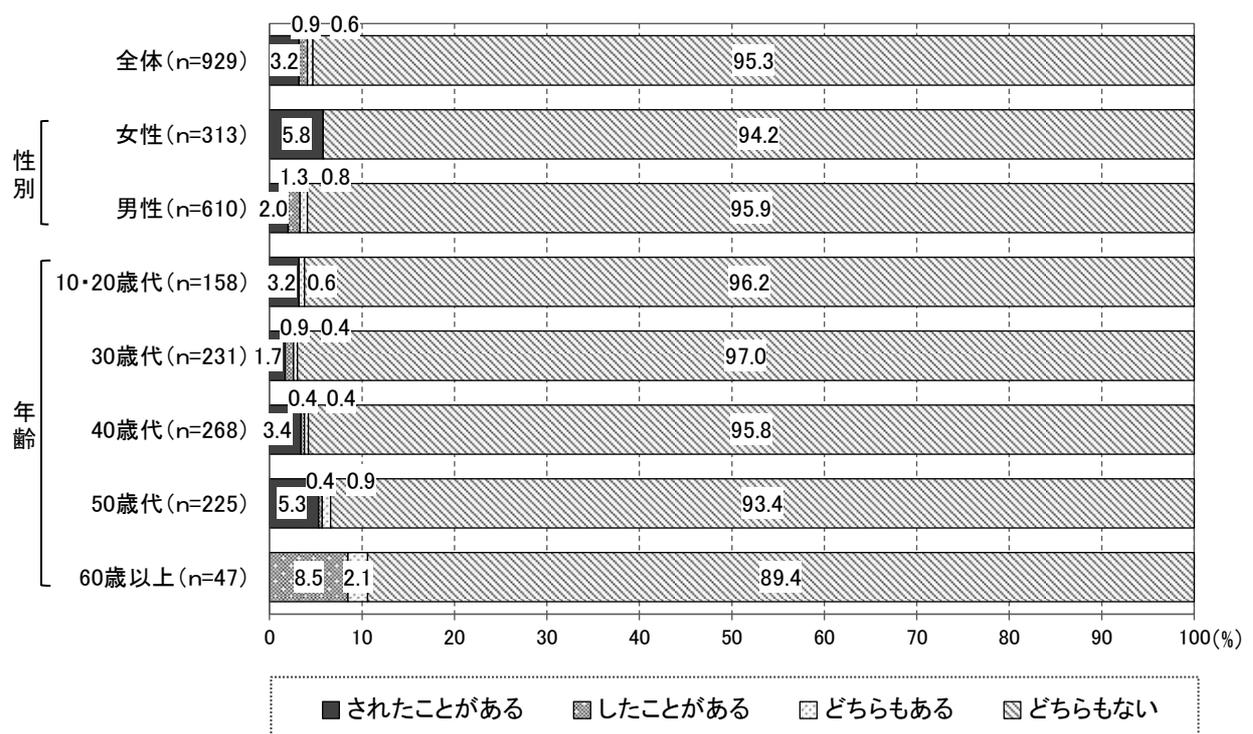
(2) 医師の治療が必要となるほどの暴力

全体では、「どちらもない」が98.6%と最も高く、次いで、「されたことがある」(0.9%)、「したことがある」(0.3%)の順となっています。



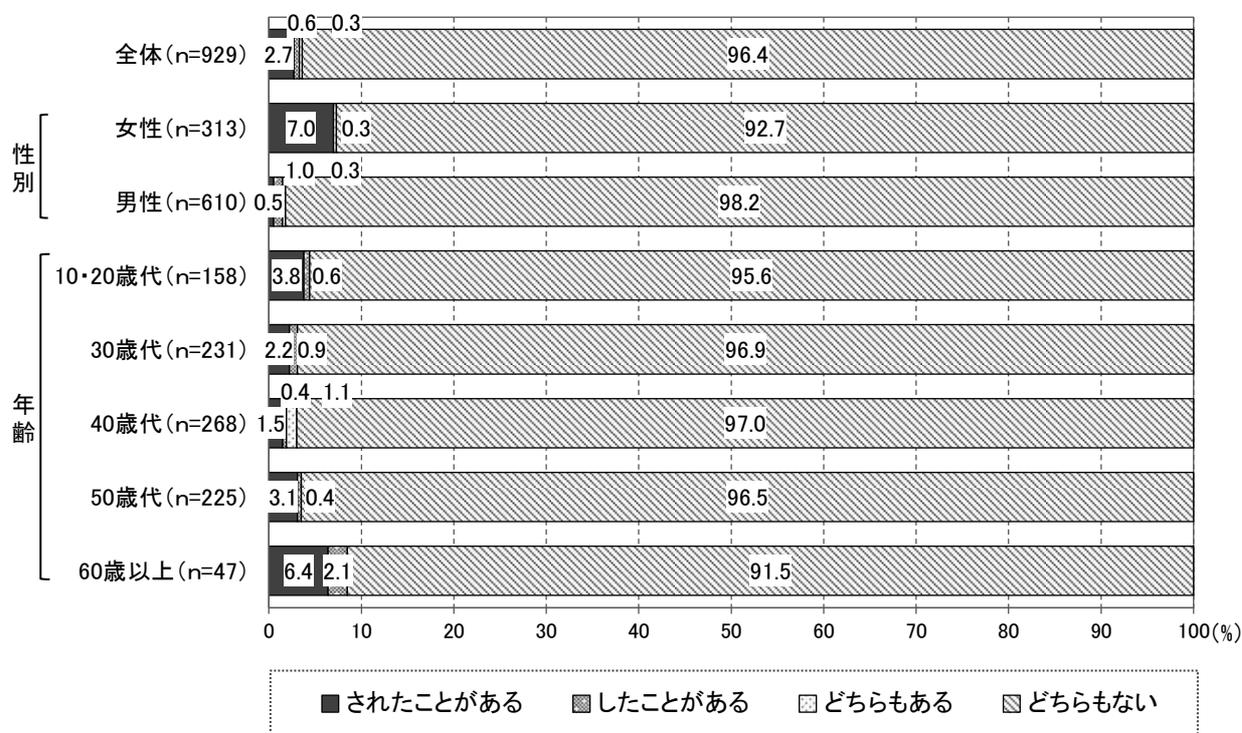
(3) 医師の治療までは必要ない程度の暴力

全体では、「どちらもない」が95.3%と最も高く、次いで、「されたことがある」(3.2%)、「したことがある」(0.9%)の順となっています。



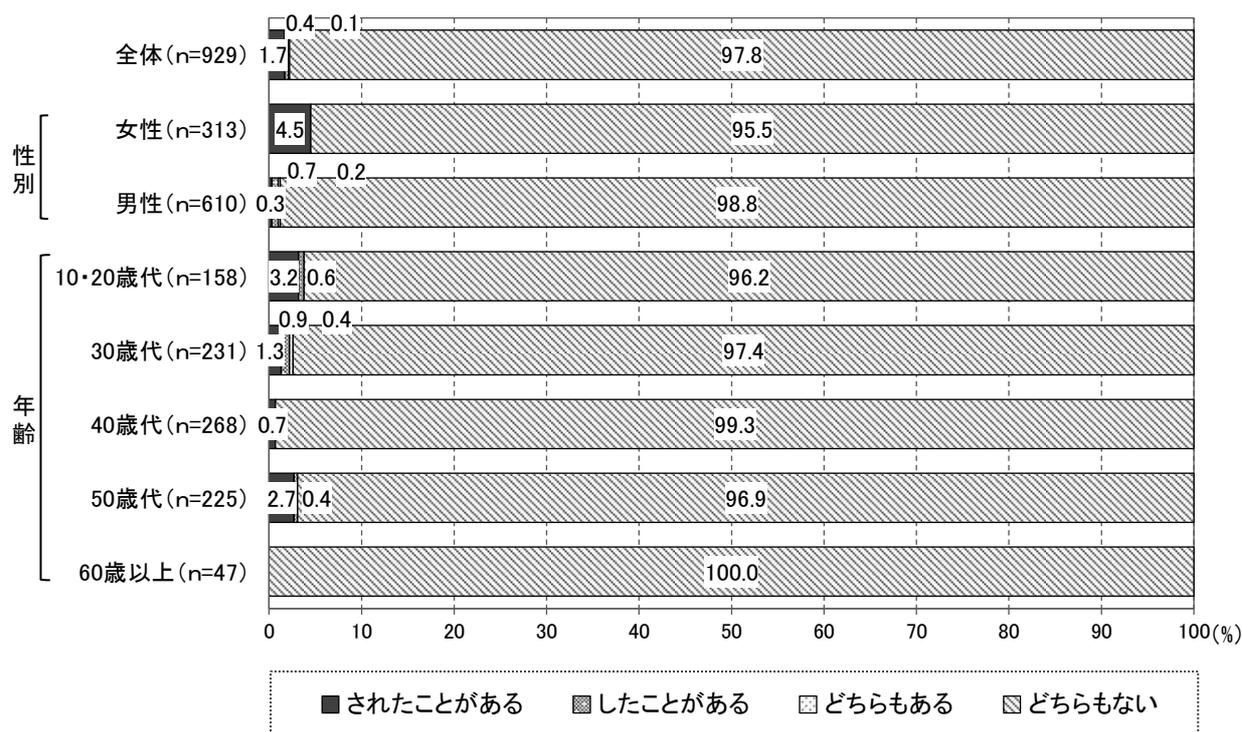
(4) 嫌がっているのに性的な行為を強要

全体では、「どちらもない」が96.4%と最も高く、次いで、「されたことがある」(2.7%)、「したことがある」(0.6%)の順となっています。



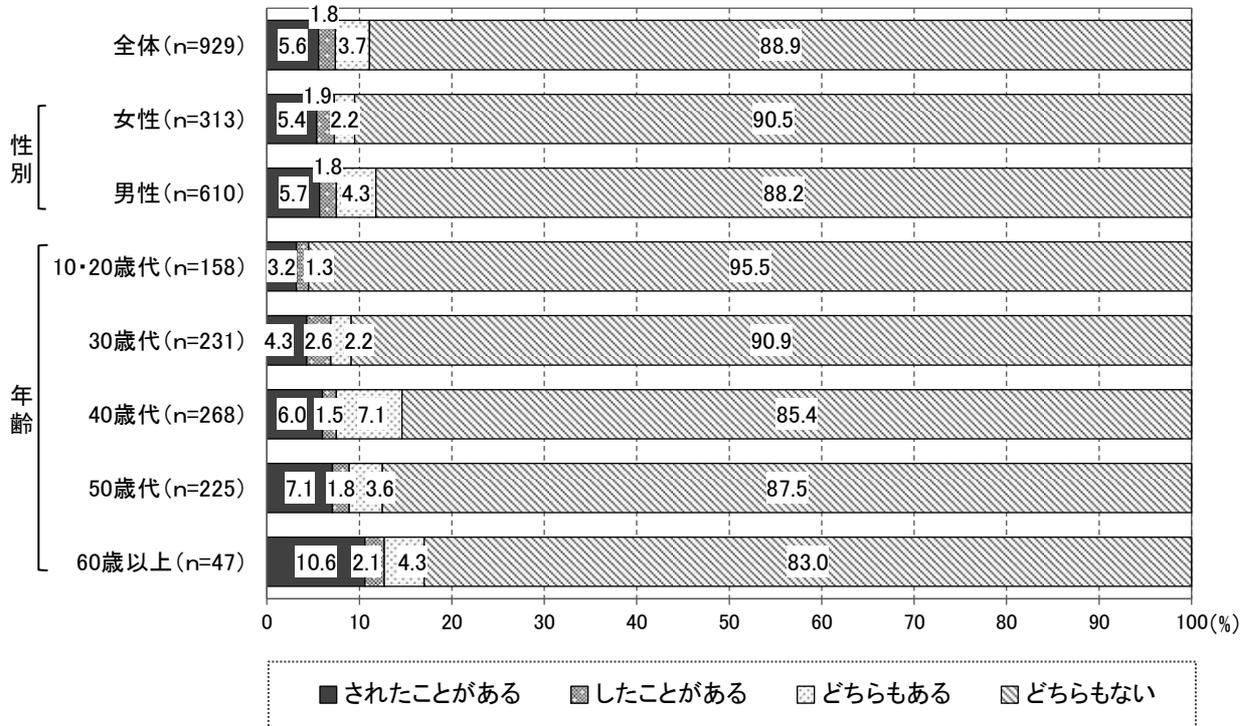
(5) 避妊に協力しない

全体では、「どちらもない」が97.8%と最も高く、次いで、「されたことがある」(1.7%)、「したことがある」(0.4%)の順となっています。



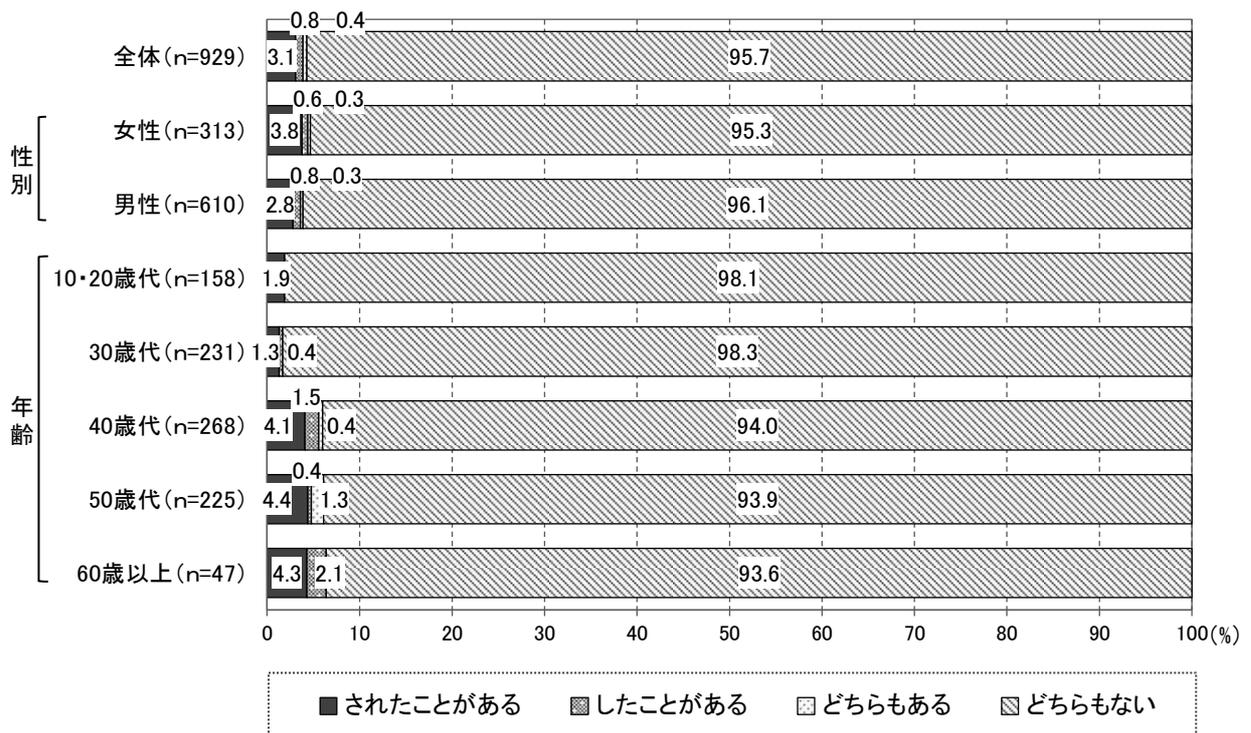
(6) 何を言っても無視され続ける

全体では、「どちらもない」が88.9%と最も高く、次いで、「されたことがある」(5.6%)、「どちらもある」(3.7%)の順となっています。



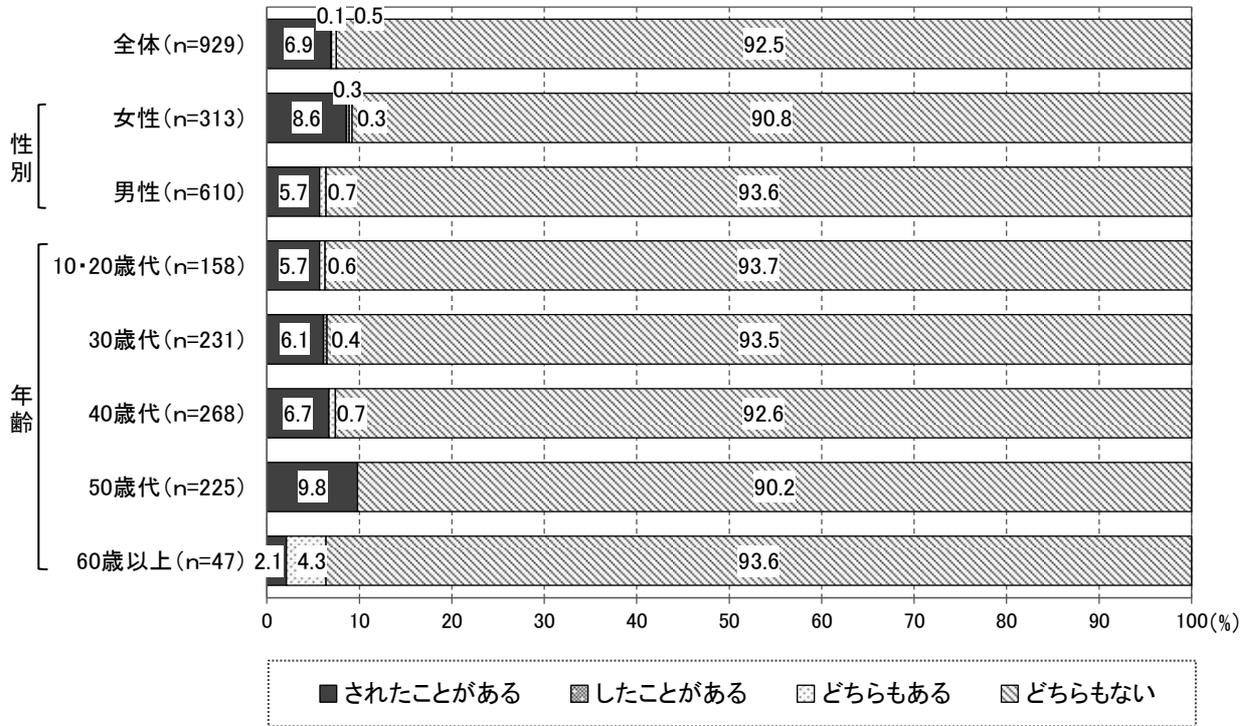
(7) 「誰のおかげで生活できてるんだ」「殺すぞ」などと怒鳴ったり、「稼ぎが悪い」などとののしる

全体では、「どちらもない」が95.7%と最も高く、次いで、「されたことがある」(3.1%)、「したことがある」(0.8%)の順となっています。



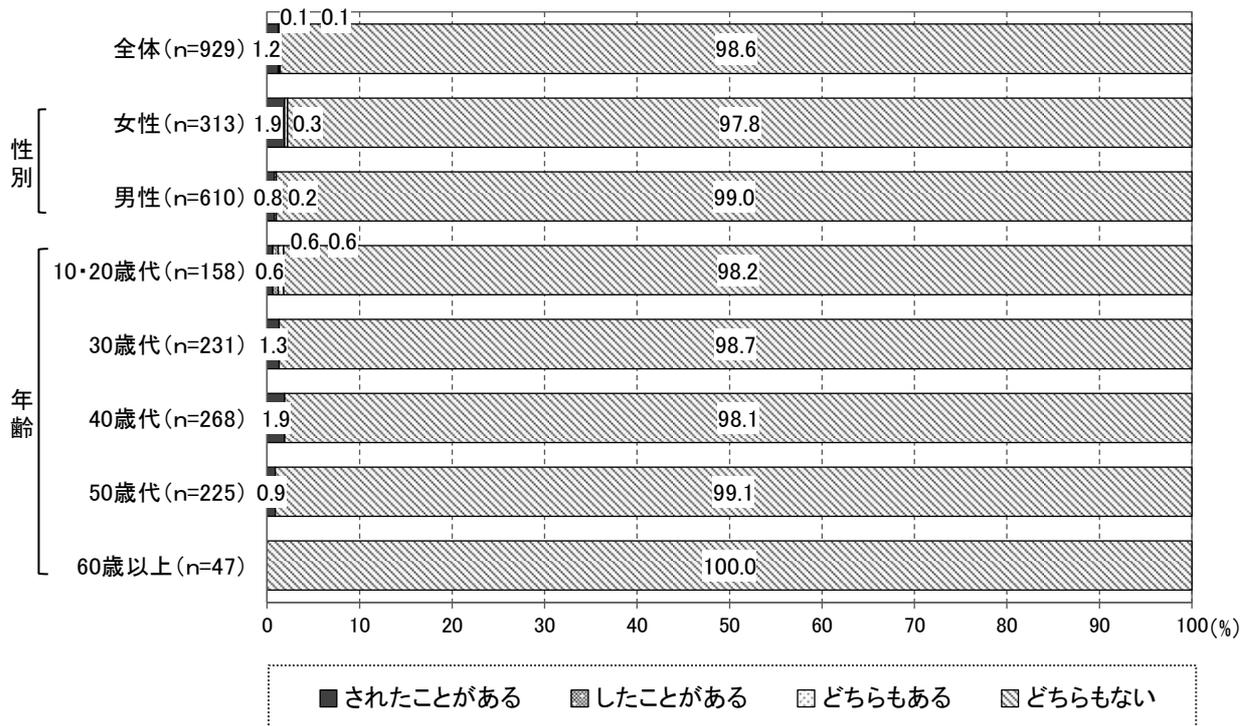
(8) 交友関係や電話、メールなどを細かく監視したり、頻繁に電話やメールをしてきて、すぐ返事をしないと怒る

全体では、「どちらもない」が92.5%と最も高く、次いで、「されたことがある」(6.9%)、「どちらもある」(0.5%)の順となっています。



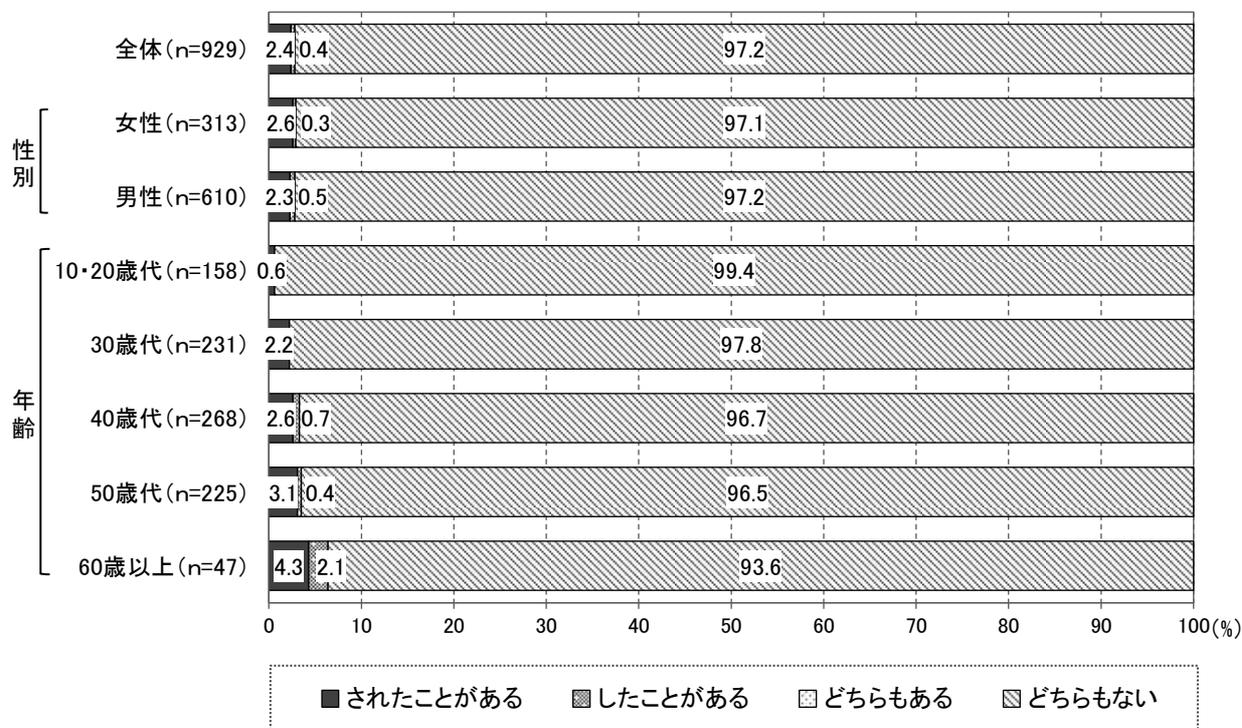
(9) 社会との関わりや働くことなどを許さない

全体では、「どちらもない」が98.6%と最も高く、次いで、「されたことがある」(1.2%)、「したことがある」・「どちらもある」(0.1%で同率)の順となっています。



(10) 生活費を渡さなかったり、お金のやりくりを細かく報告させたりして経済的に押さえつける

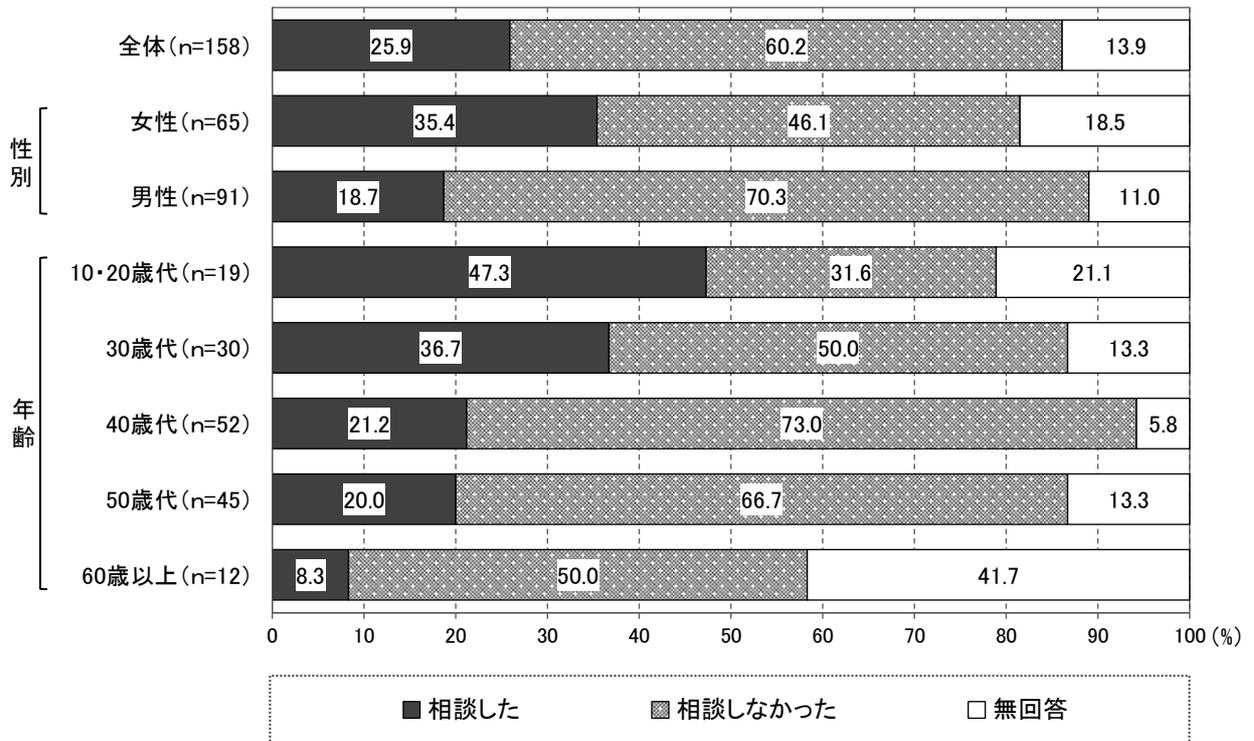
全体では、「どちらもない」が97.2%と最も高く、次いで、「されたことがある」(2.4%)、「したことがある」(0.4%)の順となっています。



問 20-1

◆問 20 で、1つでも「されたことがある」・「どちらもある」と回答した方。
そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。

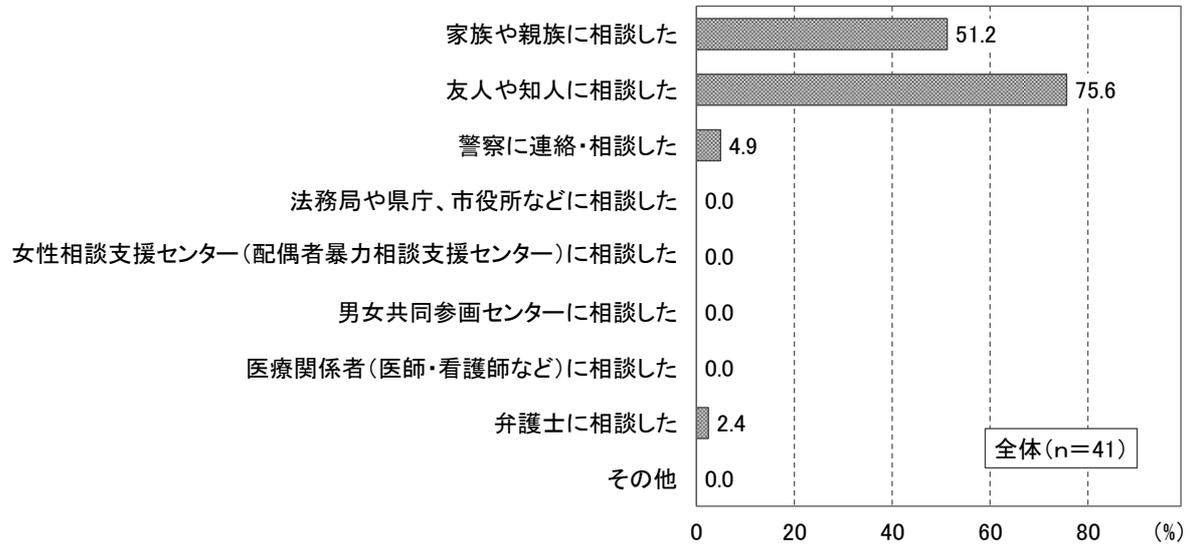
全体では、「相談しなかった」が60.2%と高く、「相談した」が25.9%となっています。
前回調査と比べると、「相談した」が高くなっています。



問 20-2

◆問 20-1 で、「1. 相談した」と回答した方。
誰（どこ）に相談しましたか。【複数回答可】

「友人や知人に相談した」が75.6%と最も高く、次いで、「家族や親族に相談した」(51.2%)、「警察に連絡・相談した」(4.9%)の順となっています。



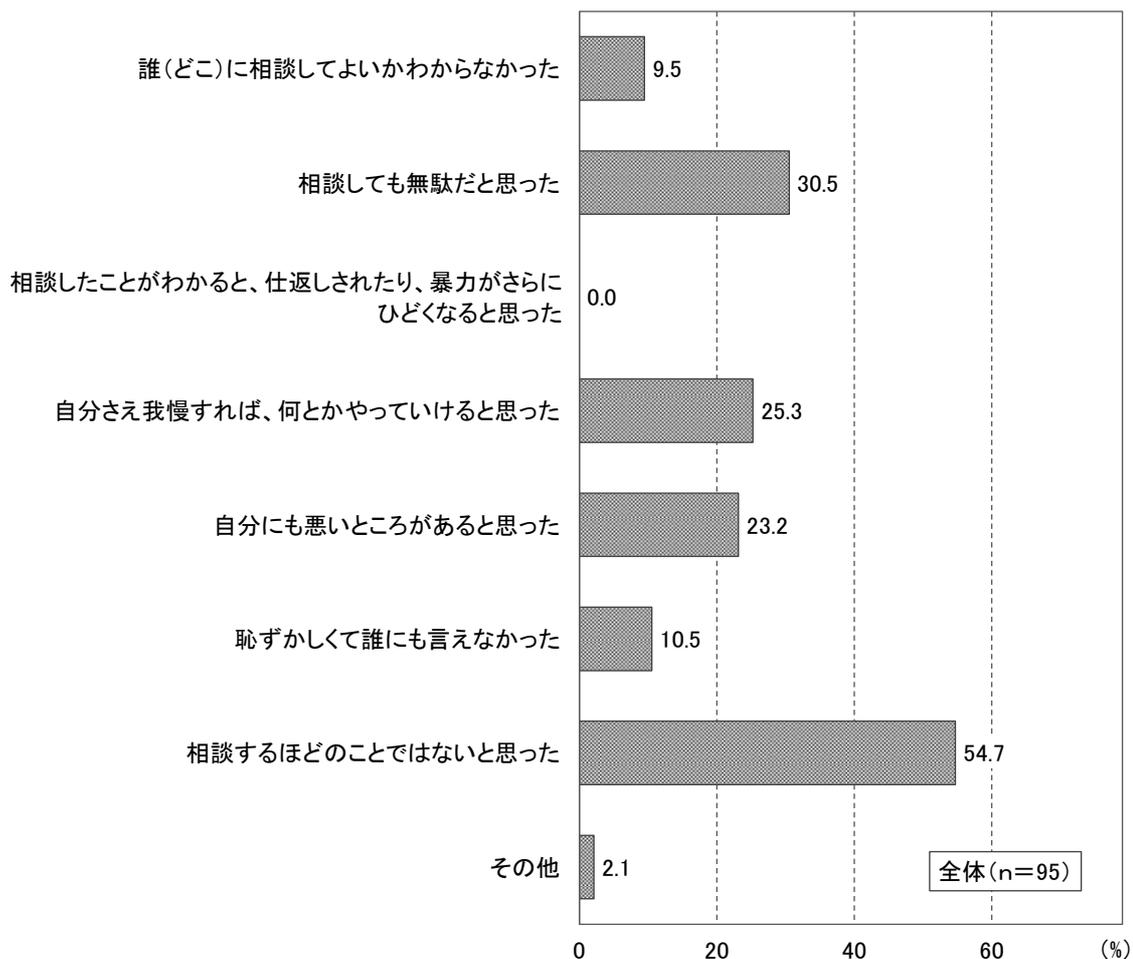
	(n=)	家族や親族に相談した	友人や知人に相談した	警察に連絡・相談した	法務局や県庁、市役所などに相談した	女性相談支援センター(配偶者暴力相談支援センター)に相談した	男女共同参画センターに相談した	医療関係者(医師・看護師など)に相談した	弁護士に相談した	その他
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体	41	21 51.2%	31 75.6%	2 4.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.4%	0 0.0%
性別	女性	13 56.5%	18 78.3%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	男性	7 41.2%	12 70.6%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%
年齢	10・20歳代	3 33.3%	7 77.8%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30歳代	3 27.3%	9 81.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	40歳代	7 63.6%	7 63.6%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%
	50歳代	7 77.8%	8 88.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	60歳以上	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

問 20-3

◆20-1 で、「2. 相談しなかった」と回答した方。
それはなぜですか。【複数回答可】

「相談するほどのことではないと思った」が 54.7%と最も高く、次いで、「相談しても無駄だと思った」(30.5%)、「自分さえ我慢すれば、何とかやっていけると思った」(25.3%)の順となっています。

前回調査とは変わりありません。

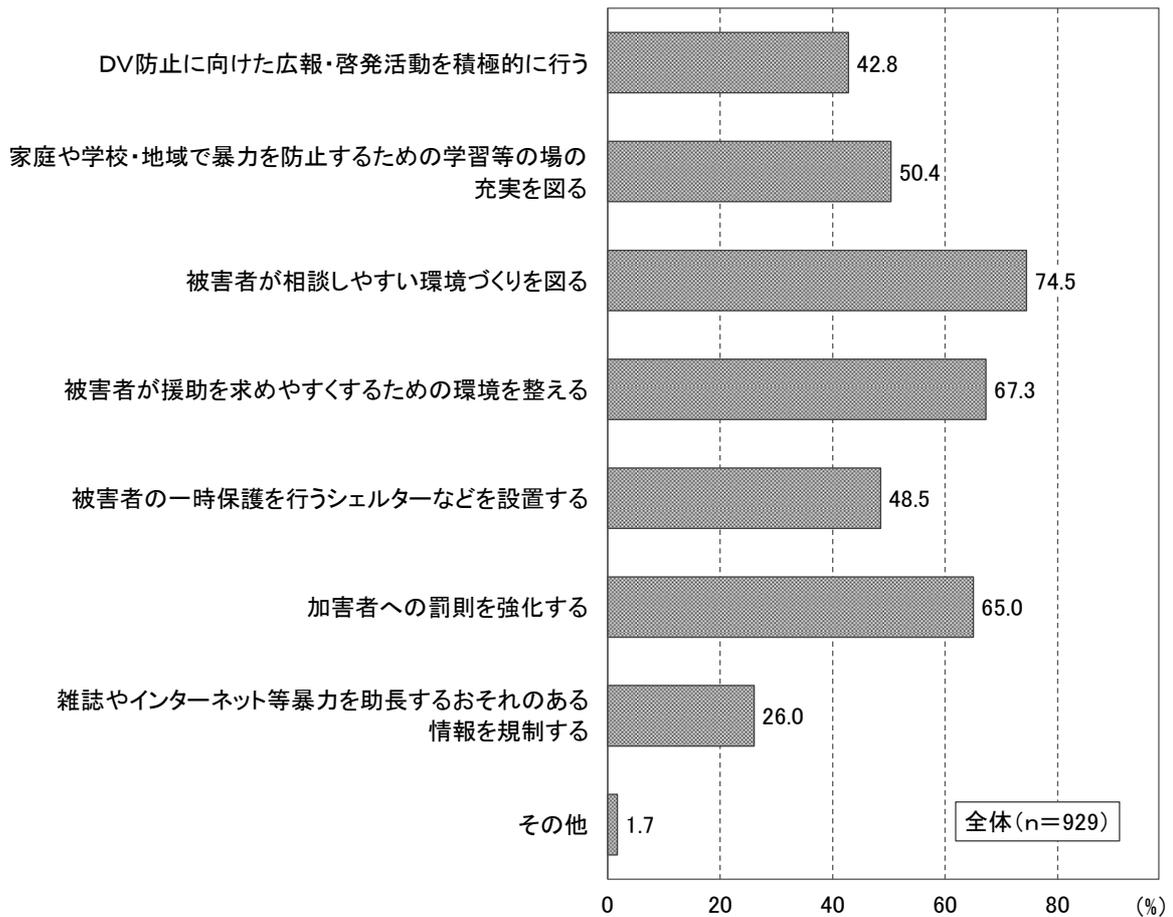


		(n=)	誰（どこ）に相談してよいかわからなかった	相談しても無駄だと思った	相談したことがわかると、仕返しされたり、ひどくなると思った	自分さえ我慢すれば、何とかやっていけると思った	自分にも悪いところがあると思った	恥ずかしくて誰にも言えなかった	相談するほどのことではないと思った	その他
全体		95	9 9.5%	29 30.5%	0 0.0%	24 25.3%	22 23.2%	10 10.5%	52 54.7%	2 2.1%
性別	女性	30	3 10.0%	8 26.7%	0 0.0%	9 30.0%	7 23.3%	5 16.7%	14 46.7%	1 3.3%
	男性	64	6 9.4%	20 31.3%	0 0.0%	15 23.4%	15 23.4%	5 7.8%	37 57.8%	1 1.6%
年齢	10・20歳代	6	2 33.3%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	3 50.0%	2 33.3%	3 50.0%	1 16.7%
	30歳代	15	0 0.0%	6 40.0%	0 0.0%	2 13.3%	2 13.3%	4 26.7%	6 40.0%	0 0.0%
	40歳代	38	2 5.3%	10 26.3%	0 0.0%	12 31.6%	9 23.7%	1 2.6%	25 65.8%	1 2.6%
	50歳代	30	4 13.3%	9 30.0%	0 0.0%	9 30.0%	5 16.7%	2 6.7%	15 50.0%	0 0.0%
	60歳以上	6	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%	1 16.7%	3 50.0%	0 0.0%

問 21

今後、ドメスティック・バイオレンス（DV）を防ぐためには、どのような取組が必要だと思いますか。【複数回答可】

「被害者が相談しやすい環境づくりを図る」が74.5%と最も高く、次いで、「被害者が援助を求めやすくするための環境を整える」(67.3%)、「加害者への罰則を強化する」(65.0%)の順となっています。



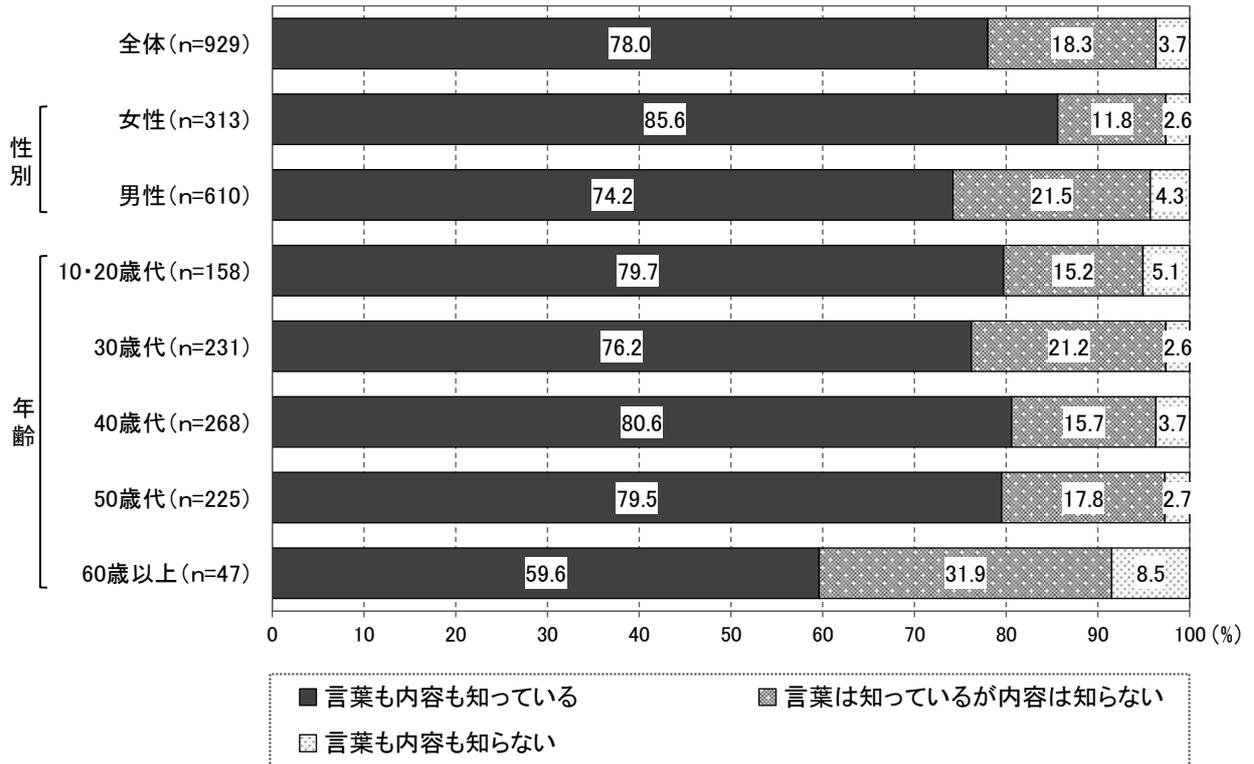
		(n=)	DV防止に向けた広報・啓発活動を積極的に行う	家庭や学校・地域で暴力を防止するための学習等の場の充実を図る	被害者が相談しやすい環境づくりを図る	被害者が援助を求めやすくするための環境を整える	被害者の一時保護を行うシェルターなどを設置する	加害者への罰則を強化する	雑誌やインターネット等暴力を助長するおそれのある情報を規制する	その他
全体		929	398 42.8%	468 50.4%	692 74.5%	625 67.3%	451 48.5%	604 65.0%	242 26.0%	16 1.7%
性別	女性	313	136 43.5%	173 55.3%	254 81.2%	235 75.1%	182 58.1%	207 66.1%	87 27.8%	10 3.2%
	男性	610	259 42.5%	292 47.9%	434 71.1%	384 63.0%	266 43.6%	394 64.6%	152 24.9%	6 1.0%
年齢	10・20歳代	158	51 32.3%	70 44.3%	113 71.5%	111 70.3%	79 50.0%	105 66.5%	33 20.9%	3 1.9%
	30歳代	231	91 39.4%	110 47.6%	165 71.4%	155 67.1%	116 50.2%	143 61.9%	53 22.9%	3 1.3%
	40歳代	268	130 48.5%	143 53.4%	199 74.3%	173 64.6%	123 45.9%	184 68.7%	70 26.1%	9 3.4%
	50歳代	225	109 48.4%	119 52.9%	179 79.6%	159 70.7%	115 51.1%	142 63.1%	70 31.1%	1 0.4%
	60歳以上	47	17 36.2%	26 55.3%	36 76.6%	27 57.4%	18 38.3%	30 63.8%	16 34.0%	0 0.0%

問 22

「LGBTQ^{プラス}」という言葉を知っていますか。

全体では、「言葉も内容も知っている」が78.0%と最も高く、次いで、「言葉は知っているが内容は知らない」(18.3%)、「言葉も内容も知らない」(3.7%)の順となっています。

前回調査とは変わりありません。

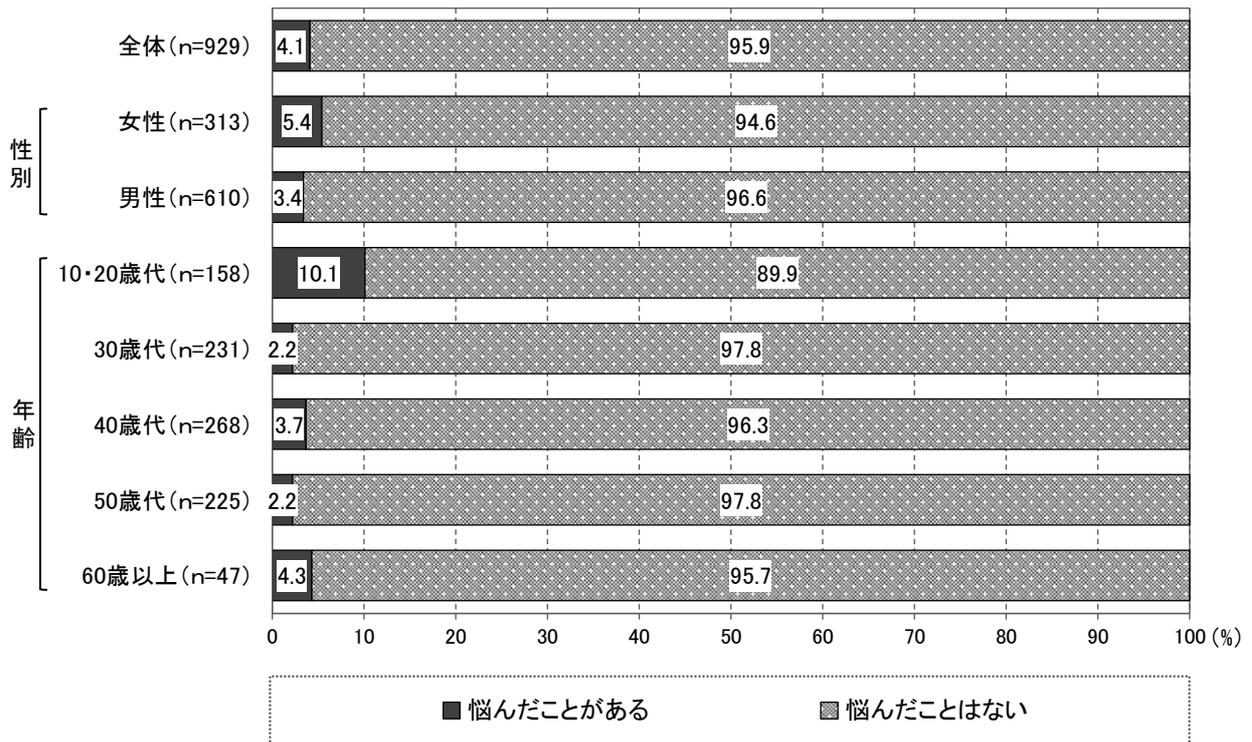


問 23

あなたは今までに自分のからだの性、こころの性または性的指向（同性愛など）に悩んだことがありますか。

全体では、「悩んだことはない」が95.9%と高く、「悩んだことがある」が4.1%となっています。

前回調査とは変わりありません。

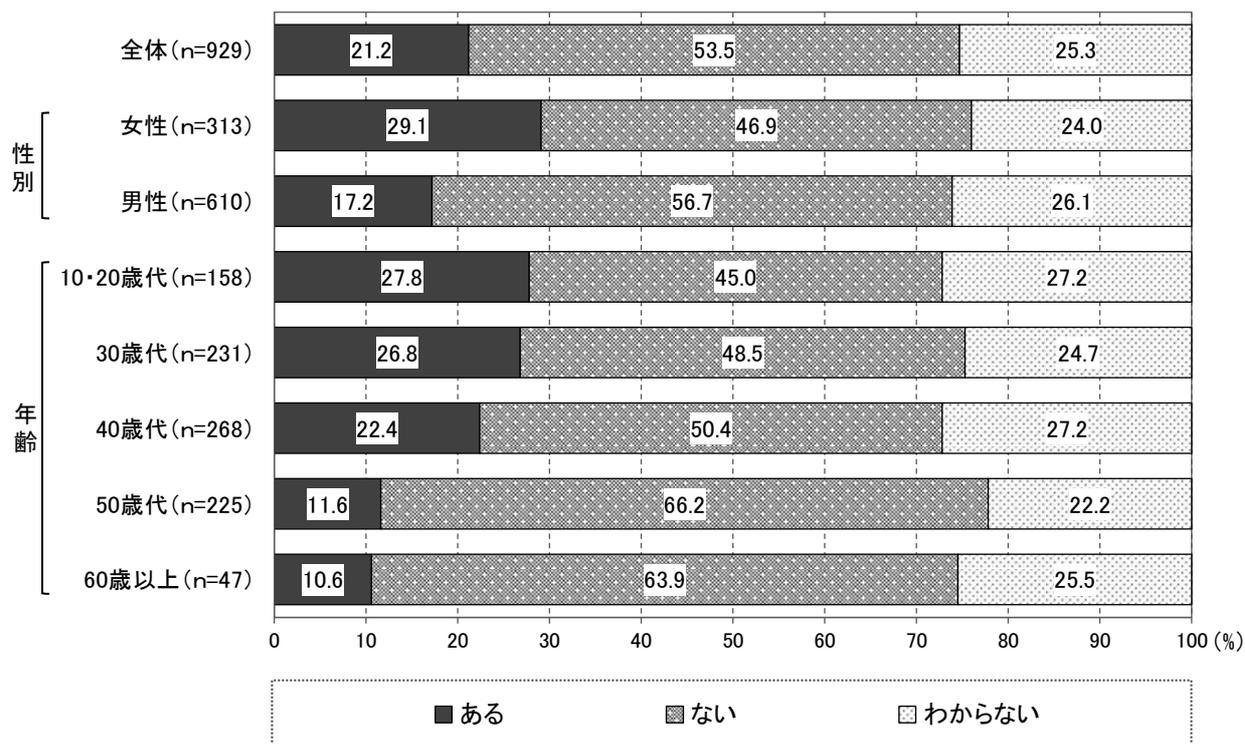


問 24

「LGBTQ+」に関する差別的な言動を受けたり、見聞きしたことはありますか。

全体では、「ない」が53.5%と最も高く、次いで、「わからない」(25.3%)の順となっています。

前回調査とは変わりありません。

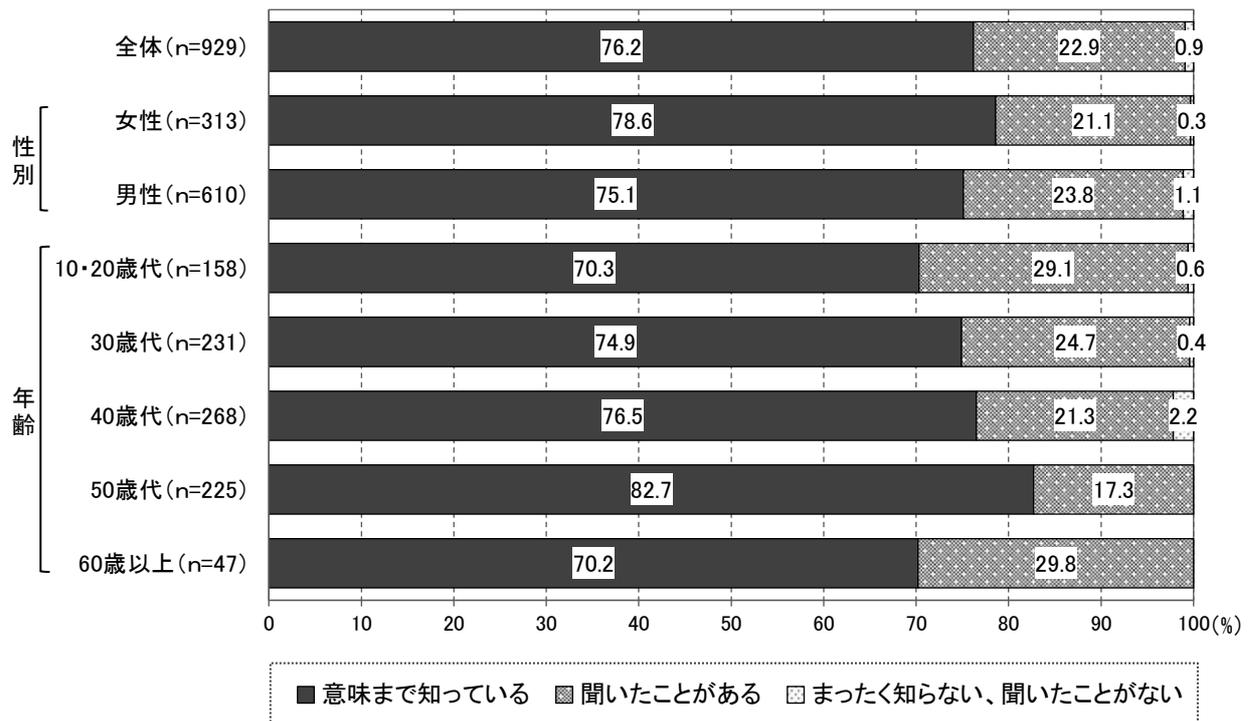


6. 男女共同参画について

問 25 あなたは次の言葉や取組をどのくらい知っていますか。

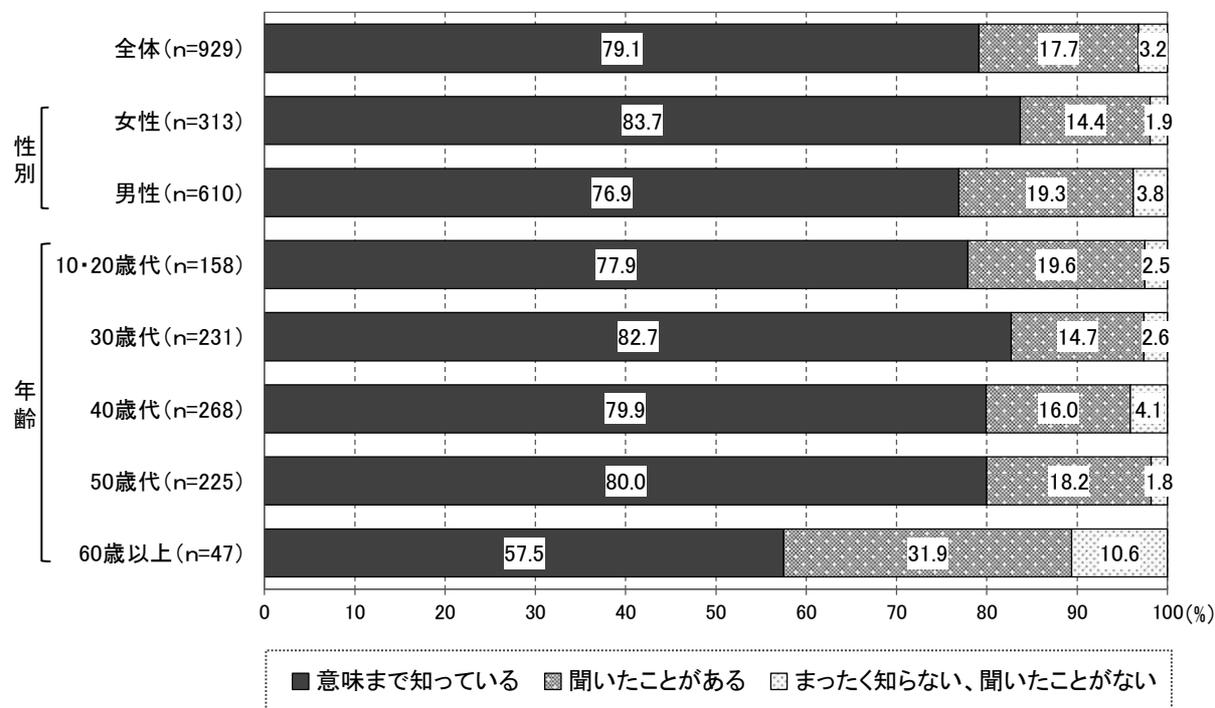
(1) 男女共同参画社会

全体では、「意味まで知っている」が 76.2%と最も高く、次いで、「聞いたことがある」(22.9%)、「まったく知らない、聞いたことがない」(0.9%)の順となっています。



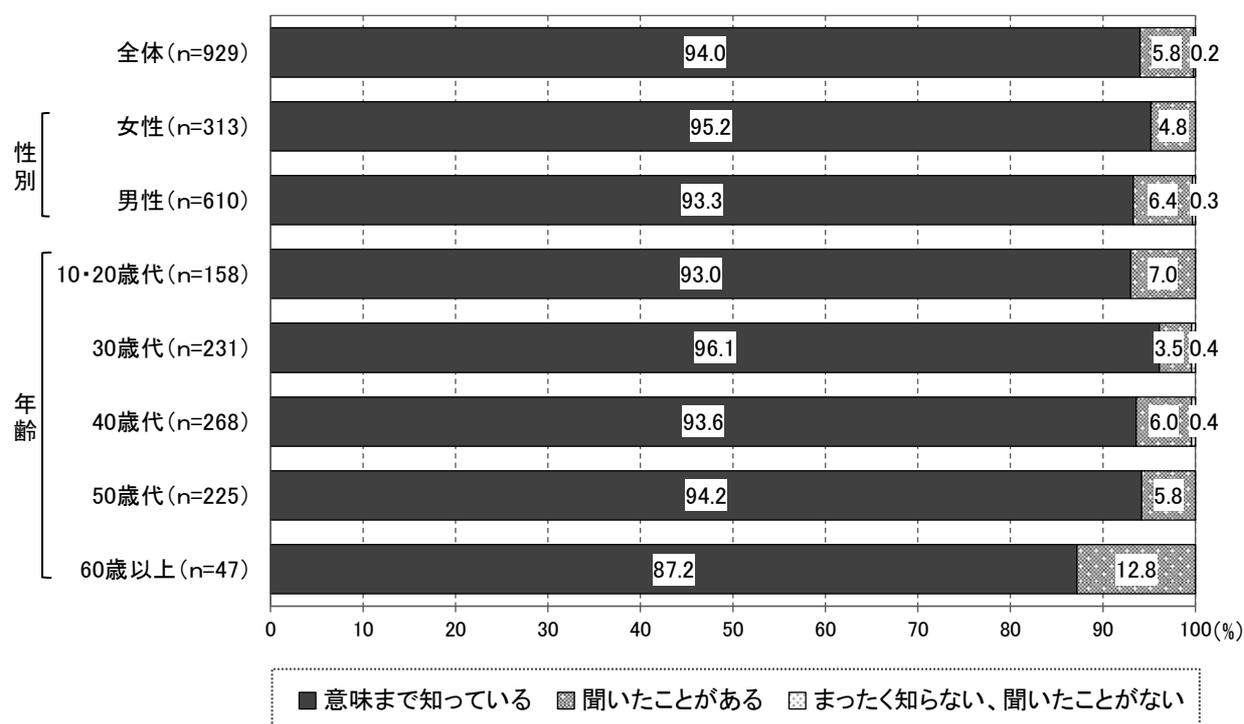
(2) ワーク・ライフ・バランス

全体では、「意味まで知っている」が 79.1%と最も高く、次いで、「聞いたことがある」(17.7%)、「まったく知らない、聞いたことがない」(3.2%)の順となっています。



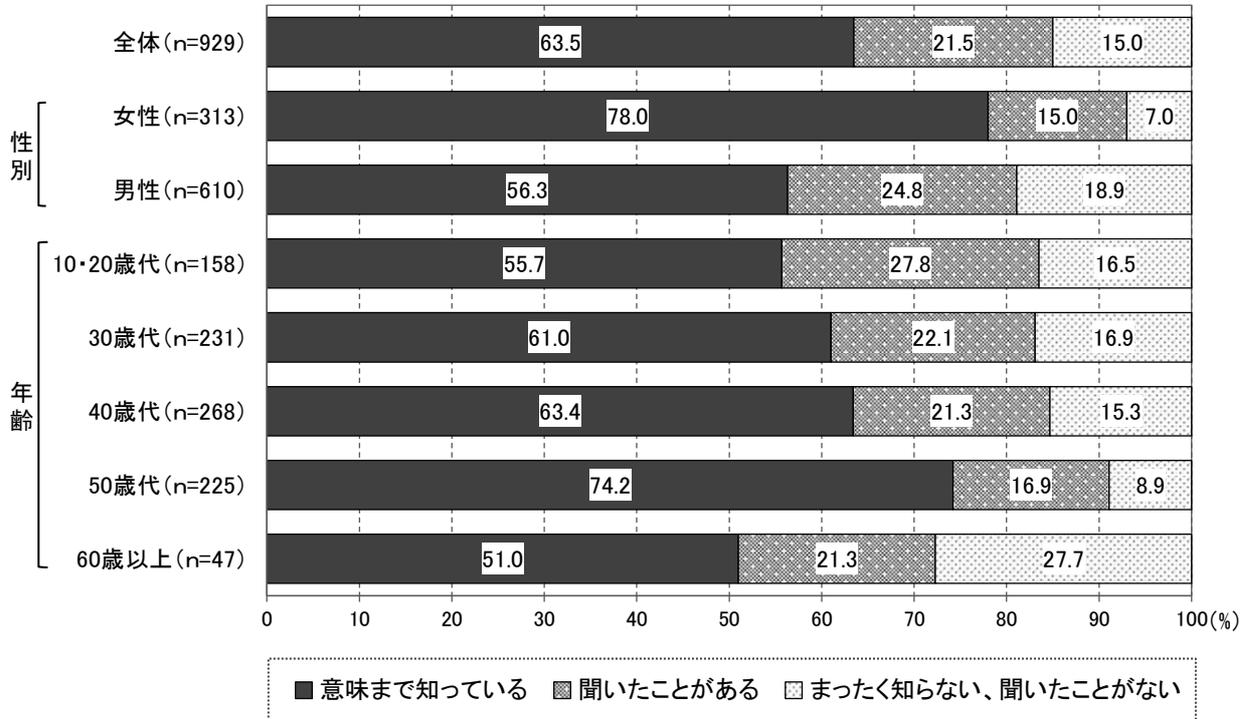
(3) DV (ドメスティック・バイオレンス)

全体では、「意味まで知っている」が 94.0%と最も高く、次いで、「聞いたことがある」(5.8%)、「まったく知らない、聞いたことがない」(0.2%)の順となっています。



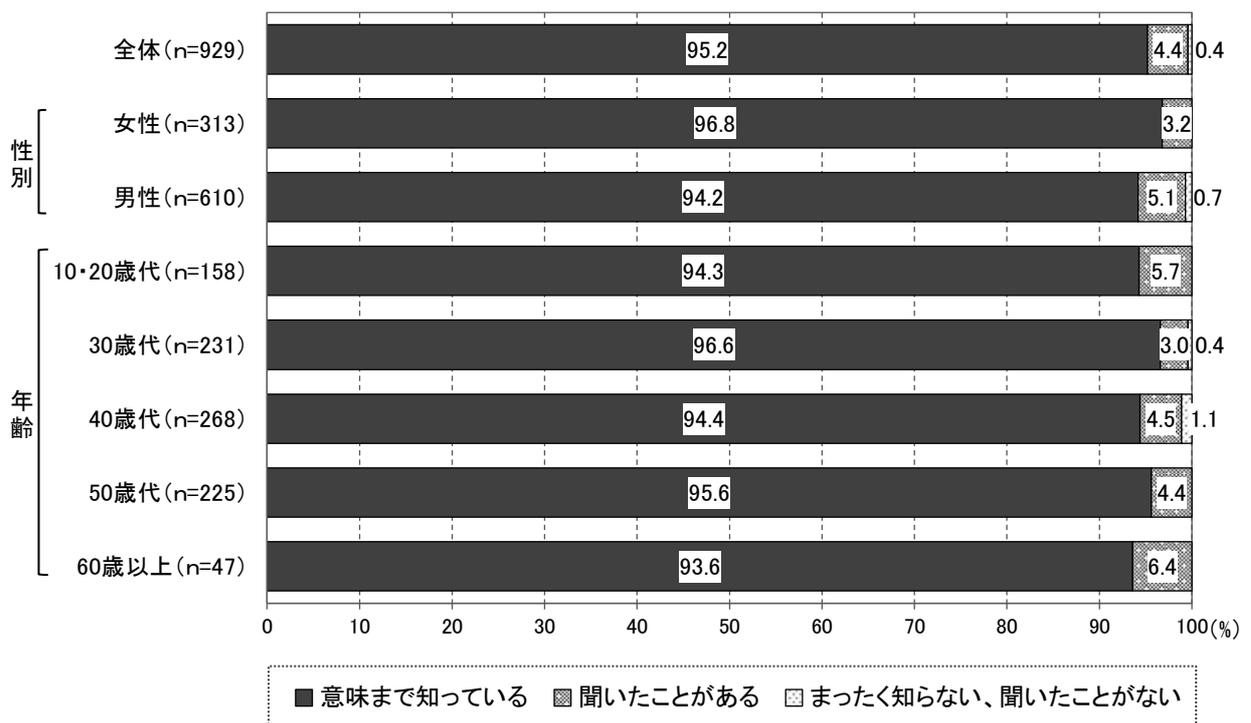
(4) デートDV

全体では、「意味まで知っている」が 63.5%と最も高く、次いで、「聞いたことがある」(21.5%)、「まったく知らない、聞いたことがない」(15.0%)の順となっています。



(5) セクシュアル・ハラスメント (セクハラ)

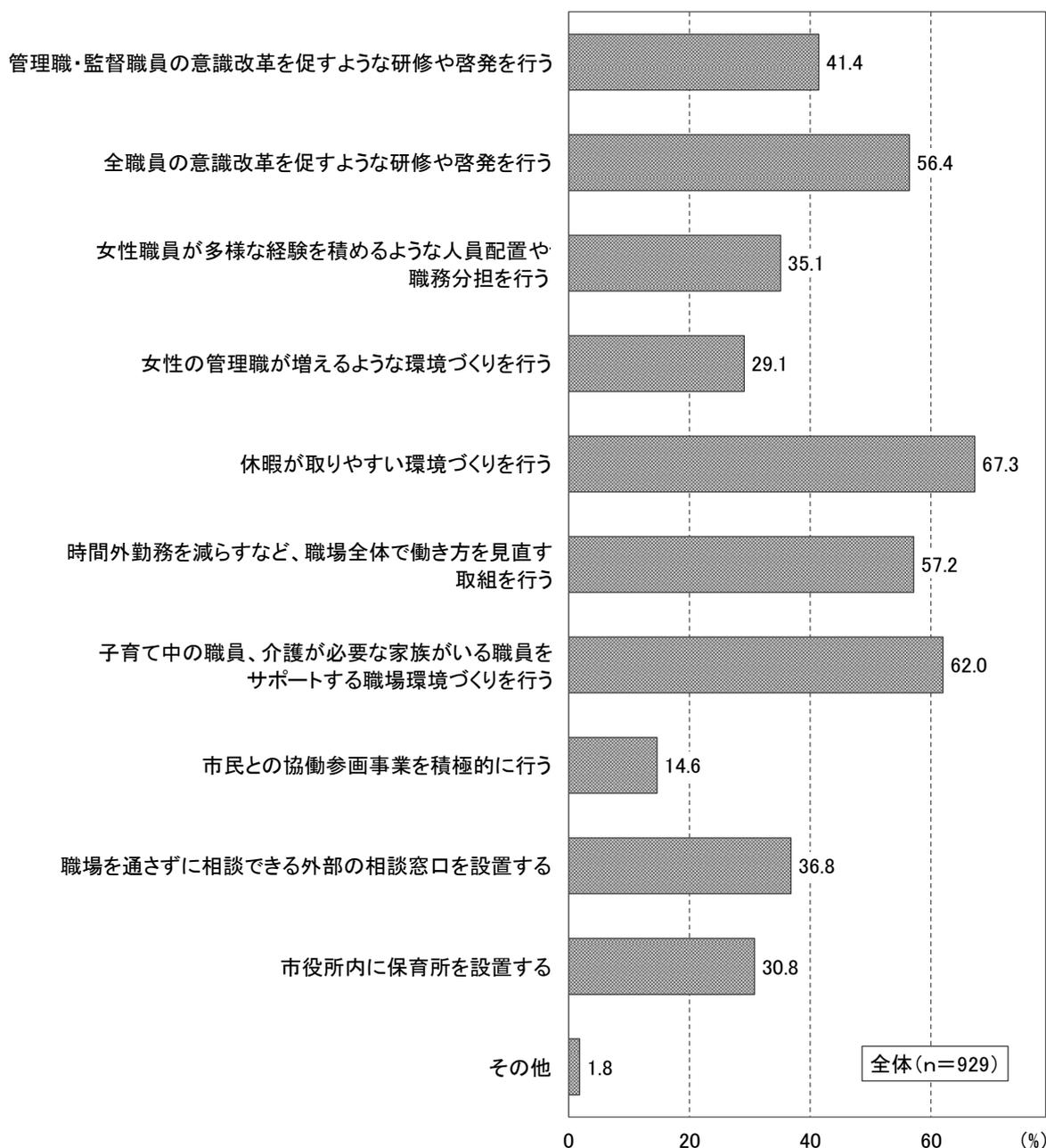
全体では、「意味まで知っている」が 95.2%と最も高く、次いで、「聞いたことがある」(4.4%)、「まったく知らない、聞いたことがない」(0.4%)の順となっています。



問 26

男女共同参画社会実現のために、市職員が意識を高め、率先して取り組む必要があります。そのためには、何が重要だと思いますか。【複数回答可】

「休暇が取りやすい環境づくりを行う」が67.3%と最も高く、次いで、「子育て中の職員、介護が必要な家族がいる職員をサポートする職場環境づくりを行う」(62.0%)、「時間外勤務を減らすなど、職場全体で働き方を見直す取組を行う」(57.2%)の順となっています。



		(n=)	管理職・監督職員の意識改革を促すような研修や啓発を行う	全職員の意識改革を促すような研修や啓発を行う	女性職員が多様な経験を積めるような人員配置や職務分担を行う	女性の管理職が増えるような環境づくりを行う	休暇が取りやすい環境づくりを行う	時間外勤務を減らすなど、職場全体で働き方を見直す取組を行う	子育て中の職員、介護が必要な家族がいる職員をサポートする職場環境づくりを行う	市民との協働参画事業を積極的に行う	職場を通さずに相談できる外部の相談窓口を設置する	市役所内に保育所を設置する	その他
全体		929	385 41.4%	524 56.4%	326 35.1%	270 29.1%	625 67.3%	531 57.2%	576 62.0%	136 14.6%	342 36.8%	286 30.8%	17 1.8%
性別	女性	313	128 40.9%	183 58.5%	99 31.6%	77 24.6%	220 70.3%	184 58.8%	221 70.6%	40 12.8%	134 42.8%	100 31.9%	3 1.0%
	男性	610	255 41.8%	338 55.4%	225 36.9%	191 31.3%	400 65.6%	343 56.2%	352 57.7%	94 15.4%	205 33.6%	184 30.2%	14 2.3%
年齢	10・20歳代	158	61 38.6%	88 55.7%	55 34.8%	50 31.6%	124 78.5%	96 60.8%	102 64.6%	25 15.8%	66 41.8%	58 36.7%	2 1.3%
	30歳代	231	106 45.9%	112 48.5%	76 32.9%	67 29.0%	166 71.9%	142 61.5%	158 68.4%	38 16.5%	91 39.4%	88 38.1%	3 1.3%
	40歳代	268	122 45.5%	148 55.2%	94 35.1%	83 31.0%	174 64.9%	154 57.5%	156 58.2%	37 13.8%	96 35.8%	80 29.9%	10 3.7%
	50歳代	225	76 33.8%	148 65.8%	86 38.2%	54 24.0%	136 60.4%	123 54.7%	134 59.6%	29 12.9%	80 35.6%	52 23.1%	2 0.9%
	60歳以上	47	20 42.6%	28 59.6%	15 31.9%	16 34.0%	25 53.2%	16 34.0%	26 55.3%	7 14.9%	9 19.1%	8 17.0%	0 0.0%

Ⅲ 調査票

報告書に調査票を掲載するかについて
ご検討下さい。
確定ワードデータを提供いただければ
対応いたします。

「第5次唐津市男女共同参画基本計画」
策定のための職員意識調査結果
《報告書》

令和6年3月

編集・発行 唐津市 地域交流部 男女共同参画課